

## P C 9 8 -

PC98-NX シリーズ **Mate** スリムタワー型 省スペース型 ミニタワー型

## Mate R スリムタワー型

(Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル) (Windows Meインストールモデル)

## 活用ガイド <u>ハードウェア編</u>

本体の構成各部

システム設定





このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、 それらを操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理 解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。 もし、あなたがパソコンにはじめて触れるのであれば、上記の基本 事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利 用になることをおすすめします。

この活用ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX**シリーズ**Mate

MA30V/B、MA25V/B、MA20V/B、MA17X/B、MA14H/E、 MA30Y/M、MA25V/M、MA20V/M (Windows XP Professionalインストールモデル)

(Windows 2000 Professional インストールモデル)

MA30V/B、MA25V/B、MA20V/B、MA17X/B、MA30Y/M、 MA25V/M、MA20V/M (Windows XP Home Editionインストールモデル)

MA14H/E (Windows Me**インストールモデル)** 

PC98-NXシリーズMate R MA20V/R、MA17X/R (Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル) (Windows Meインストールモデル)

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できる ようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。 仕様についての詳細は、「PART6 付録」をご覧ください。

- 2002年10月 初版
- 2002年12月 二版

#### このマニュアルの表記について

#### このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

います。



このマニュアルでは、本体の型ごとの説明をわかりやすくするために、次の記号を使っています。



このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NXシリーズMate MA30V/B、MA25V/B、MA20V/B、MA17X/B、MA14H/E、 MA30Y/M、MA25V/M、MA20V/M (Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル)
	MA30V/B、MA25V/B、MA20V/B、MA17X/B、MA30Y/M、 MA25V/M、MA20V/M (Windows XP Home Editionインストールモデル)
	MA14H/E (Windows Me <b>インストールモデル)</b>
	PC98-NX <b>シリーズ</b> Mate R MA20V/R、MA17X/R (Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル) (Windows Meインストールモデル)
	*本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかりま す。型番の調べ方・読み方については、『はじめにお読みくだ さい』をご覧ください。
本体	<b>ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、</b> MA30V/B、MA25V/B、MA20V/B、MA17X/B、MA14H/E、 MA30Y/M、MA25V/M、MA20V/M、MA20V/R、MA17X/Rを 指します。
スリムタワー型	<b>次の機種を指します。</b> MA30V/B、MA25V/B、MA20V/B、MA17X/B
省スペース型	<b>次の機種を指します。</b> MA14H/E
ミニタワー型	<b>次の機種を指します。</b> MA30Y/M、MA25V/M、MA20V/M
Mate R <b>スリムタワー型</b>	<b>次の機種を指します。</b> MA20V/R、MA17X/R
アプリケーションレス モデル	選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)がない状態でご購入いただいたモデルです。

Office XP Personal モデル	Office XP Personalがインストールされた状態でご購入いただ いたモデルです。
Office XP Professional モデル	Office XP Professionalがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
CD-ROM	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW またはDVD-RAMを指します。 書き分ける必要のある場合は、その媒体の種類を記載します。
「スタート」ボタン 「終了オプション」	Windows XPでログオンやログオフの方法を変更している場合 は、「終了オプション」のメニューが異なります。このマニュアル でばようこそ画面」を使用している場合を例に説明しています。
「スタート」ボタン 「コントロールパネル」	Windows XPの「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップ アップメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指 します。また、コントロールパネルはカテゴリ表示された状態 を指します。
「スタート ボタン 「設定」 「コントロールパネル」	Windows 2000またはWindows Meの「スタート」ボタンをクリッ クし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に 現れるサプメニューから「コントロールパネル」を選択する操作 を指します。 Windows Meでは、すべてのコントロールパネルのオプション が表示された状態「すべてのコントロールパネルのオプション を表示する。」がクリックされた状態」を指します。
[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
° a	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

## このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> XP Professional operating system 日本語版、Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> XP Home Edition operating system日本語版、Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> 2000 Professional operating system日本語版、Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> Millennium Edition operating system日本語版
Windows XP、	Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> XP Professional operating system
Windows XP Professional	<b>日本語版</b>
Windows XP Home,	Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> XP Home Edition operating system
Windows XP Home Edition	<b>日本語版</b>
Windows 2000,	Microsoft <sub>®</sub> Windows <sub>®</sub> 2000 Professional operating system
Windows 2000 Professional	<b>日本語版</b>

Windows NT Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版およびMicrosoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system <b>日本語版</b>
Windows 98、 Windows 98 SE	Microsoft $_{\ensuremath{\mathbb{B}}}$ Windows $_{\ensuremath{\mathbb{S}}}$ 98 Second Edition operating system 日本語版
Office XP Personal	Microsoft <sub>®</sub> Office XP Personal
Office XP Professional	Microsoft <sub>®</sub> Office XP Professional
MS-IME2002	Microsoft <sub>®</sub> IME 2002
MS-IME2000	$Microsoft_{\odot}$ IME 2000
Norton AntiVirus	Norton AntiVirus™ 2002
WinDVD 4	InterVideo <sup>®</sup> WinDVD <sup>®</sup> 4 for NEC
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX
DLA	VERITAS DLA
StandbyDisk	StandbyDisk 2000-XP Pro <b>日本語版</b>
StandbyDisk Solo	StandbyDisk Solo <b>日本語版</b>

#### このマニュアルの記載順序

- 1. 筐体別に次の順序で記載しています。 スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、Mate R スリムタワー型
- 2. 筐体が同じ場合、CPUの性能が高い順に記載しています。
- 3. OSは、次の順序で記載しています。 Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000、Windows NT 4.0、 Windows Me、Windows 98

このマニュアルで使用しているイラスト ・このマニュアルに記載のイラストは、実際のものとは異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、エネルギースター対応のモデルが国 際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化 推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品 の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度 となっています。

対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオ フィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

#### 技術基準等適合認定について

**電話回線**:A99-0794JP

この装置は、電気通信事業法第72条の2第1項の規定に基づく、端末機器の設計についての認証を 受けています。申請回線と認証番号は次の通りです。

省スペース型の場合 認証機器名:SF-DJP-ST

認証番号

Mate R スリムタワー型の場合 認証機器名:F-1156I/R12B 認証番号 電話回線:A02-0606JP

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国 のモードに設定してご使用になりますと電気通信事業法技術基準)に違反する行為となります。な お、ご購入時の使用国モード(初期値)ば日本モード」となっておりますので、設定を変更しないで そのままご使用下さい。

#### 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装 置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ ジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従っ て正しい取り扱いをしてください。

#### 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。 (社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基 づく表示)

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825 )クラス1適合のCD-ROM ドライ ブ、CD-R/RW ドライブ、CD-R/RW with DVD-ROM ドライブまたはDVD-RAM/R/RW ドライブ が搭載されています。

#### 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

#### ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連 絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかか わらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、Windows XP Home、 Windows 2000またはWindows Meおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用く ださい。
- (7) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、 著作権の侵害となります。
- (8) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (9) 本書に記載しているWebサイトや連絡先は、2002年11月現在のものです。

#### 輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。 本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業 省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせく ださい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC\*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC\*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

\*1: NEC Corporation, NEC Custom Technica, Ltd.

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、 Bookshelf、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およ びその他の国における商標または登録商標です。

VERITAS RecordNowおよびVERITAS DLAは、米国VERITAS Software Corp. の米国における 登録商標です。

InterVideo、InterVideoロゴおよびWinDVDは、InterVideo, Inc.の登録商標です。

 $Copyright \ 1999, \ 2002 \ InterVideo, \ Incorporated. \ All \ rights \ reserved.$ 

DuoCorはDuoCor, Inc.の登録商標です。

StandbyDisk Soloは、StandbySoft LLC/(株)ネットジャパンの商標です。

Symantec、Symantec**ロゴおよび**pcAnywhere**は**Symantec Corporationの登録商標であり、 Symantec Corporationの各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。

©2002 Symantec Corporation. All rights reserved.

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

#### YAMAHAは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

nVIDIA、nVIDIA**ロゴ**、GeForce4、GeForce2 MX、nViewは、nVIDIA社の商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、米国およびその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標あるいは登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager & with NEC Extensions は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

#### PS/2はIBM社が所有している商標です。

K56flexは、Lucent TechnologiesとCONEXANT SYSTEMSの商標です。

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。 その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2002 日本電気株式会社、NECカスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできま せん。 このマニュアルはPART1からPART6までの構成となっていますが、PART1から順に読んでいく必要はありません。

『はじめにお読みください』でセットアップが完了しましたら、必要に応じて このマニュアルを活用してください。

なお、各PARTの最初のページにも「この章の読み方」と「この章の内容」があり ますので、各PARTを読む前にご覧ください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載してい ます。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容( ♥ チェック?) 用語( ● ◎ ② )、メモ( 図目)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいます。

目次

索引

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 システム設定(スリムタワー型の場合)

スリムタワー型を利用する場合のBIOSセットアップメニューについて説明しています。

PART3 システム設定(省スペース型の場合) 省スペース型を利用する場合のBIOSセットアップメニューについて説明して います。

PART4 システム設定(ミニタワー型の場合)

ミニタワー型を利用する場合のBIOSセットアップメニューについて説明しています。

PART5 システム設定(Mate R スリムタワー型の場合) Mate R スリムタワー型を利用する場合のBIOSセットアップメニューについ て説明しています。

PART6 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	9
このマニュアルの構成・読み方	11
目次(このページです)	12
索引	19
本体の構成各部	
各部の名称	
	26
本体背面	33
<b>電源</b> (Windows XP <b>の場合)</b>	41
電源の状態と操作方法	41
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	43
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	45
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	48
電源の自動操作	50
<b>電源(</b> Windows XP Home <b>の場合 )</b>	53
電源の状態と操作方法	53
電源の入れ方/切り方( 電源の手動操作 )	55
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	57
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	60
電源の自動操作	62
<b>電源</b> (Windows 2000 <b>の場合)</b>	65
電源の状態と操作方法	65
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	67
スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)	69
休止状態/休止状態からの復帰( 電源の手動操作 )	72
電源の自動操作	75
<b>電源(</b> Windows Me <b>の場合)</b>	77
電源の状態と操作方法	77
電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)	79
スタンパイ/スタンパイからの復帰(電源の手動操作)	81
休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)	85

PART

目 次

電源の自動操作	87
キーボード	90
添付されるキーボードの種類	90
使用上の注意	91
PS/2 109 <b>キーボード</b> 、USB109 <b>キーボード</b>	92
テンキー付きPS/2小型キーボード、テンキー付きUSB小型キーボ・	<b>- ド</b> 94
日本語入力	96
USB <b>接続のキーボードの使用上の注意</b>	98
マウス	99
マウスについて	99
ディスプレイ	100
使用上の注意	100
表示能力	101
ディスプレイの省電力機能	106
デュアルディスプレイ機能について	107
別売のディスプレイを使う	109
ハードディスクドライブ	111
使用上の注意	111
ドライブ番号の割り当て	
<b>(</b> Windows XP <b>および</b> Windows XP Home <b>の場合)</b>	114
<b>ドライブ番号の割り当て(</b> Windows 2000 <b>の場合 )</b>	115
<b>ドライブ番号の割り当て(</b> Windows Me <b>の場合 )</b>	117
エラーチェックおよびスキャンディスクの操作手順	118
ハードディスクドライブ(IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合	) 122
使用上の注意	122
RAID <b>について</b>	123
ドライブ番号の割り当て	123
FastCheckモニタリングユーティリティについて	125
再セットアップ前の注意事項	127
フロッビーディスクドライブ	132
使用上の注意	132
使用できるフロッピーディスク	132
フロッピーディスクの内容の保護	134

CD-ROM <b>ドライブ</b>	135
<b>再生できる</b> CD <b>の種類</b>	135
CD-ROM <b>ドライブ使用上の注意( スリムタワー型、省スペース型の</b> ‡	<b>昜合)</b> 136
非常時のディスクの取り出し	136
CD-R/RW <b>ドライブ</b>	139
<b>再生できる</b> CD <b>の種類</b>	139
CD-R <b>および</b> CD-RW <b>への書き込みと</b> CD-RW <b>のフォーマッ</b>	<b>h</b> 139
CD-R/RW <b>ドライブ使用上の注意( スリムタワー型、省スペース型の</b>	<b>場合)</b> 140
非常時のディスクの取り出し	140
CD-R/RW with DVD-ROM <b>ドライブ</b>	141
<b>再生できる</b> CD <b>および</b> DVD <b>の種類</b>	141
CD-R <b>および</b> CD-RW <b>への書き込みと</b> CD-RW <b>のフォーマッ</b>	<b>h</b> 142
CD-R/RW with DVD-ROM <b>ドライブ使用上の注意</b>	143
非常時のディスクの取り出し	143
DVD-RAM/R/RW <b>ドライブ</b>	144
<b>再生できる</b> CD <b>および</b> DVD <b>の種類</b>	144
CD-R <b>および</b> CD-RW <b>への書き込みと</b> CD-RW <b>のフォーマッ</b>	<b>h</b> 145
DVD-R、DVD-RW <b>および</b> DVD-RAM <b>への書き込みと</b> DVD-	-RW
<b>および</b> DVD-RAM <b>のフォーマット</b>	146
非常時のディスクの取り出し	148
サウンド機能	149
音量の調節	149
LAN <b>( ローカルエリアネットワーク )ボード</b>	150
LAN <b>( ローカルエリアネットワーク )への接続</b>	150
LAN <b>の設定(</b> Windows XP <b>および</b> Windows XP Home <b>の</b> 均	<b>景合)</b> 151
LAN <b>の設定(</b> Windows 2000 <b>の場合 )</b>	153
LAN <b>の設定(</b> Windows Me <b>の場合 )</b>	155
ネットワークパスワードの変更	156
リモートパワーオン機能の設定	
<b>(</b> Windows XP <b>および</b> Windows XP Home <b>の場合)</b>	158
<b>リモートパワーオン機能の設定(</b> Windows 2000 <b>の場合 )</b>	163
リモートパワーオン機能の設定(Windows Me <b>の場合)</b>	168
FAX <b>モデムボード</b>	171

FAX <b>モデムボードについて</b>	171
FAX <b>モデムボードを使用するときの注意</b>	171
セキュリティ/マネジメント機能	174
セキュリティ/マネジメント機能の概要	174
セキュリティ機能	175
マネジメント機能	179
信頼性機能	182
システム設定 <sub>(スリムタワー型の場合)</sub>	185
BIOSセットアップメニューについて	
BIOS <b>セットアップメニューの起動と初期画面</b>	186
BIOS <b>セットアップメニューの終了</b>	187
工場出荷時の設定値に戻す	187
Main <b>の設定</b>	188
Main <b>の設定</b>	188
Advanced CMOS Setup <b>の設定</b>	190
Advanced CMOS Setup <b>の設定</b>	190
Advanced Chipset Setup <b>の設定</b>	192
Advanced Chipset Setup <b>の設定</b>	192
Power Management Setup <b>の設定</b>	194
Power Management Setup <b>の設定</b>	194
Peripheral Setup <b>の設定</b>	197
Peripheral Setup <b>の設定</b>	197
Hardware Monitor Setup <b>の設定</b>	200
Hardware Monitor Setup <b>の設定</b>	200
Security <b>の設定</b>	201
Security <b>の設定</b>	201
ハードディスクパスワードについて	202
パスワードの解除	204
Boot <b>の設定</b>	205
起動順位の設定	205

PART	システム設定(省スペース型の場合)	207
•	BIOS <b>セットアップメニューについて</b>	208
<b>'</b> २	BIOS <b>セットアップメニューの起動と初期画面</b>	208
U	BIOS <b>セットアップメニューの終了</b>	209
	工場出荷時の設定値に戻す	209
	Main <b>の設定</b>	210
	Main <b>の設定</b>	210
	Advanced <b>の設定</b>	213
	Advanced <b>の設定</b>	213
	Security <b>の設定</b>	220
	Security <b>の設定</b>	220
	パスワードの解除	225
	Power <b>の設定</b>	226
	Power <b>の設定</b>	226
	Boot <b>の設定</b>	230
	起動順位の設定	230
PART	システム設定(ミニタワー型の場合)	231
_	BIOSセットアップメニューについて	232
Λ	BIOSセットアップメニューの起動と初期画面	232
4	BIOS <b>セットアップメニューの終了</b>	233
	工場出荷時の設定値に戻す	233
	Main <b>の設定</b>	234
	Main <b>の設定</b>	234
	PCI Configurationの設定	236
	PCI Configurationの設定	236
	Peripheral Configurationの設定	238

Peripheral Configurationの設定	238
Peripheral Configuration <b>の設定</b>	238
Memory Configurationの設定	240
Memory Configuration <b>の設定</b>	240
Advanced Chipset Controlの設定	241
Advanced Chipset Controlの設定	

>	A	R	i
	F	-	

Α	R	T	

起動順位の設定	248
<b>システム設定</b> (Mate R スリムタワー型の場合)	249
BIOS <b>セットアップメニューについて</b>	250
BIOS <b>セットアップメニューの起動と初期画面</b>	250
BIOS <b>セットアップメニューの終了</b>	251
工場出荷時の設定値に戻す	251
Main <b>の設定</b>	253
Main <b>の設定</b>	253
Advanced BIOS Features <b>の設定</b>	255
Advanced BIOS Features <b>の設定</b>	255
Advanced Chipset Features <b>の設定</b>	260
Advanced Chipset Features <b>の設定</b>	260
Integrated Peripherals <b>の設定</b>	261
Integrated Peripherals <b>の設定</b>	261
Power Management Setup <b>の設定</b>	266
Power Management Setup <b>の設定</b>	266
PnP/PCI Configurations <b>の設定</b>	271
PnP/PCI Configurationsの設定	271
Security <b>の設定</b>	273
Security <b>の設定</b>	273
パスワードの解除	274
PC Health <b>の設定</b>	275
PC Health <b>の設定</b>	275

# PART

付 録	
機能一覧	
型番の読み方	278
仕様一覧	
割り込みレベル・DMAチャネル	290
本機のお手入れ	
マウスのクリーニング	296



## 英数字

100BASE-TX	150
100BASE-TX/10BASE-T <b>用コネクタ</b> .	36
100BASE-TX <b>接続ランプ</b>	. 37
109 <b>キーボード</b>	. 92
10BASE-T	150
1G <b>バイト</b>	113
1M <b>バイト</b>	113
3.5インチフロッピーディスクドライブ	29
AC-Link	246
AC-Power Lost	265
AC <b>電源コネクタ</b>	. 35
Assign HDD Password	223
AT <b>コマンド</b> 171,	289
Auto Suspend Timeout	227
BIOS Revision	212
BIOS Version189,	254
BIOS <b>セットアップメニュー</b>	208
Boot Up NumLock Status	257
Boot-time Diagnostic Screen 212,	242
BootUp Num-Lock	191
Case Open Warning	275
CD-R	139
CD-R/RW with DVD-ROMアクセ	2ス
ランプ	. 31
CD-R/RW <b>アクセスランプ</b>	. 31

CD-R/RW <b>ドライブ</b> 29,	139
CD-ROM	135
CD-ROM <b>アクセスランプ</b>	. 30
CD-ROM <b>ドライブ</b> 29,	135
CD-RW	139
Chassis Intrusion	245
Cover Open Check	223
Diskette Access221,	244
DMA <b>チャネル</b>	294
DMI Event Log	258
DMI Event Logging	217
DPMS	106
DV15A5102,	104
DVD-R	142
DVD-RAM/R/RW <b>ドライプ</b>	144
DVD-ROM	142
DVI	109
Event Log	190
Event Logging	217
Extended Memory212,	254
F15T52	101
F15T53-DV	103
F17R11101,	103
FastCheckモニタリングユーティリティ	125
FAX <b>機能</b>	289
FAX <b>モデムによる電源の自動操作</b> 52	, 76
FAX <b>モデムボード</b> 35,	171

FAX <b>モデムボード機能仕様</b>	289
FE791SB 102, 104,	105
FE991SB 102, 104,	105
Floppy Disk Controller	216
Full Screen LOGO Show	258
Hard Disk Timeout	228
HDD Power Down	268
I/O <b>ロック</b>	176
IDE Controller	239
IDE Primary Master	253
IDE Primary Slave	253
IDE Secondary Master	253
IDE Secondary Slave	253
IDE-RAID <b>ボード</b> 40,	122
IEC825	. 8
IRQ	213
IRQ Resources	272
ITU-T	171
JIS	. 8
K56flex	171
LAN	150
LAN <b>の設定</b> 151,	153
LAN <b>ボード</b> 35,	150
LAN <b>ボード機能仕様</b>	288
LCD1560V101,	105
LCD1760VM101,	105
Local Bus IDE adapter	216
MS-IME	. 96
Network Boot Setting	222
Numlook	212

Nキーロールオーパ	. 91
OFF state Alert II	181
Office XP	. 6
On PME	218
On-Chip IDE	192
OnBoard FDC	197
Password Check	201
Password On Boot	221
Password on boot	244
PC-9800	. 38
PCI Configuration213,	236
PCI <b>スロット</b>	. 39
PK-CA101	. 38
PK-CA102	. 39
PK-FP002M	175
Plug & Play O/S	213
Plug and Play Aware O/S	197
PME	218
PNP OS Installed	271
Power Button Function	195
Power On by Ring	269
Power Savings	226
Primary IDE Master	188
Primary IDE Slave	188
Primary Master211,	234
Primary Slave211,	235
PS/2 <b>接続キーボードコネクタ</b>	. 40
PS/2 <b>接続マウスコネクタ</b>	. 40
Quick Boot	190
Quick Power On Self Test	255

QuickBoot Mode	217
RAID122,	123
Removable Devices	230
Restore On AC/Power Loss	218
Restore on AC/Power Loss	195
Resume on PME	268
Resume On PME#	195
Resume On Ring	195
RS-232C <b>変換アダプタ</b>	. 39
Secondary IDE Master	188
Secondary IDE Slave	189
Secondary Master211,	235
Secondary Slave211,	235
Security Mode	221
Security Option	274
Set Master HDDs Security Password	202
Set Supervisor Password	
201, 220, 244,	273
Set User HDDs Security Password	202
Set User Password	
202, 221, 243,	273
Silent Boot	190
Suspend Mode	268
Suspend Time Out( Minute )	195
System backup reminder	223
System Memory	212
System Switch	
System Switch	228
Total Memory189,	228 254
Total Memory	228 254 212

USB <b>コネクタ</b> 31, 35
USB <b>ハプ</b> 98
VCCI 8
VESA 106
Virus check reminder 222
Wake On PME 241
Windows <b>キー</b>

## ア行

39
37
3, 95
7
178
100
100
,76
119
149

## カ行

解像度	101
書き込み禁止	134
型番の読み方	278
カバーセンサ	177
カバーをロック	176
キーボード	. 90
<b>起動順位</b>	230
<b>休止状態</b>	,72
<b>筐体ロック</b> 39,	176

クライアントモニタリング		181
ケーブルストッパ	32	, 40
工場出荷時の設定値		209
高調波電流規制		. 8

## サ行

サウンド機能	
自己診断画面	212
資産管理	
瞬時電圧低下	٤
省電力機能	106
シリアルコネクタ	39
信頼性機能	
スキップセクタ …	113
スクロールボタン	
スタピライザ	32
スタンバイ状態	41, 65
セキュリティ機能	174

## タ行

<b>タイマ</b> 50,	75
通風孔	. 39
データ通信機能	171
ディスクアクセスランプ	. 29
<b>ディスクアレイ</b> 123,	125
ディスクイジェクトボタン	. 29
ディスクトレイイジェクトボタン …	. 30
ディスプレイ	100
適用電話回線	171
デュアルディスプレイ機能	107

<b>電源</b>	65
電源スイッチ	28
電源ランプ	28
電波障害	8
電話回線用モジュラーコネクタ	37
電話機用モジュラーコネクタ	37
同期化	125
盗難防止	39
ドライブ番号	115

## ナ行

内蔵スピーカボリューム	. 29
日本語入力	. 96
認証番号	. 8
ネットワーク通信/ 接続ランプ	. 36
ネットワークブート機能	180

## 八行

ハードディスクアクセスランプ .	. 28
ハードディスクドライブ	111
<b>ハードディスクパスワード</b> 176,	225
ハイパワーデバイス	. 98
パケット	179
パスワード	175
バックアップ	111
ハブ	150
パラレルコネクタ	38
表示色	101
ファイルペイ	32
ファイルベイカバー	32

フォーマット1	32
<b>復帰</b> 42, 43, 66,	67
<b>不良セクタ</b> 1	13
プリンタインターフェース変換アダプタ:	38
フロッピーディスクドライブ 1	32
フロントマスク	32
<b>ヘッドホン端子</b>	31
ヘッドホンボリューム	31
本機	5
<b>本機のお手入れ</b> 2 <sup>-</sup>	95
本体	5

## マ行

マイクロホン端子	35
マウス	99
マネジメント機能	74
マルチポートリピータ ゲ	50
ミニDIN6ピン	40
ミニジャック	35
ミラーリング	23

## ヤ行

ユーサ	<sup>•</sup> パスワード	220
輸出		 . 9

## ラ行

ライトプロテクト	134
ライトプロテクトノッチ	134
ライン出力端子	. 35
ライン入力端子	. 35

リフレッシュレート	100
リモートコントロール	181
<b>リモートパワーオン機能</b> … 52, 76,	179
リンクケーブルの接続	151
ルーフカバーオープン検知	177
レーザ安全基準	. 8
ローパワーデバイス	. 98

## ワ行

割り込みレベル	 290



## 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア 全般の機能と取り扱いについて説明します。

### この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

## この章の内容

各部の名称	
<b>電源(</b> Windows XP <b>の場合)</b>	41
電源(Windows XP Homeの場合)	53
電源(Windows 2000の場合)	65
電源(Windows Meの場合)	77
キーボード	90
マウス	
ディスプレイ	100
ハードディスクドライブ	111
ハードディスクドライブ(IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合).	122
フロッピーディスクドライブ	132
CD-ROM ドライブ	135
CD-R/RW <b>ドライブ</b>	139
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ	141
DVD-RAM/R/RW <b>ドライブ</b>	144
サウンド機能	149
LAN( ローカルエリアネットワーク )ボード	150
FAX <b>モデムボード</b>	171
セキュリティ/マネジメント機能	174



## 各部の名称

スリムタワー型の場合

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の 取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページを ご覧ください。

## 本体前面





電源スイッチ(())

本体の電源の状態を変更(入れる、スタンバイ/スタンバイからの復帰、休止状態/休止状態からの復帰)するスイッチです。「電源(Windows XP の場合)(P.41)「電源(Windows XP Homeの場合)(P.53)「電源 (Windows 2000の場合)(P.65)「電源(Windows Meの場合)(P.77)

電源ランプ(①)

電源の状態を表示するランプです。電源が入っているときとスタンバイ 状態のときに点灯します。「電源(Windows XPの場合)(P.41)「電源 (Windows XP Homeの場合)(P.53)「電源(Windows 2000の場合)」 (P.65)「電源(Windows Meの場合)(P.77)

ハードディスクアクセスランプ(スリムタワー型、省スペース型: )または ハードディスク/光ディスクアクセスランプ(ミニタワー型、Mate R スリムタワー型: ())

スリムタワー型または省スペース型の場合、ハードディスクドライブが 読み書きしているときに点灯します。

ミニタワー型またはMate R スリムタワー型の場合、IDEデバイスが読み書きしているときに点灯します。

工場出荷時に内蔵されているIDEデバイスは、ハードディスクドライブ (プライマリマスタ)と、モデルによって異なりますが、増設ハードディス クドライブ(プライマリスレーブ)、CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライ ブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブまたはDVD-RAM/R/RWドラ イブ(セカンダリマスタ)があります。なお、オプションなどのCD-ROMド ライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブまた はDVD-RAM/R/RWドライブ(セカンダリスレーブ)などを増設した場 合、ドライブの種類によっては、点灯しないことがあります。

「ハードディスクドライブ(P.111)、「ハードディスクドライブ (IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合)(P.122)、「CD-ROM ドライブ(P.135)、「CD-R/RWドライブ(P.139)、「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ(P.141)、「DVD-RAM/R/RWドライブ」 (P.144)

チェック パードディスクアクセスランプまたはハードディスク/光ディスクアクセス
 ランプ点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容
 がこわれることがあります。

3.5インチフロッピーディスクドライブまたはなし

3.5インチのフロッピーディスクの読み書きをする装置です。 「フロッピーディスクドライブ(P.132)

ディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクを取り出します。

ディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブが動作しているときに点灯します。

- ディスクアクセスランプ点灯中は、電源スイッチを押したり、ディスクイジェクトボタンを押したりしてフロッピーディスクを取り出さないでください。 ディスクの内容がこわれることがあります。

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続する と内蔵スピーカからの音は出なくなります。ヘッドホンを耳にあてたま まジャックの抜き差しをしないでください。

内蔵スピーカ、またはヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。「サウンド機能(P.149)

CD-ROM**ドライブ**、CD-R/RW**ドライブ**、CD-R/RW with DVD-ROM ドライブまたはDVD-RAM/R/RW**ドライブ** 

CD-ROMや音楽CDのデータを読み出す装置です。

「CD-ROMドライブ(P.135) さらにCD-R/RWドライブでは、CD-RまたはCD-RWに大容量のデータを 書き込むことができます。「CD-R/RWドライブ(P.139) さらにCD-R/RW with DVD-ROMドライブでは、DVD-ROMのデータ を読み出すことができます。

「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ(P.141) さらにDVD-RAM/R/RWドライブでは、DVD-RAM、DVD-RまたはDVD-RWに大容量のデータを書き込むことができます。

「DVD-RAM/R/RW**ドライブ**(P.144) CD-ROM**ドライブ**、CD-R/RW**ドライブ**、CD-R/RW with DVD-ROMド ライブまたはDVD-RAM/R/RWドライブを取り外して、他のファイルベ イ用内蔵機器に交換することができます。『ハードウェア拡張ガイド』 1

本体の構成各部

CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROM ドライブまたはDVD-RAM/R/RWドライブ拡大図 機種によってボタン、ランプなどの位置が異なる場合があります。



湯売- **R**スリム

ミニタワー型、Mate R スリムタワー型の場合



-a ディスクトレイイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

-b CD-ROM**アクセスランプ** 

CD-ROM ドライブが動作しているときに点灯します。

-c CD-R/RW**アクセスランプ** 

CD-R/RW ドライブが動作しているときに点灯します。

[③兴-][省-云] -d CD-R/RW with DVD-ROMアクセスランプ

CD-R/RW with DVD-ROM ドライブが動作しているときに点灯します。

 CD-R/RW with DVD-ROMアクセスランプ点灯中は電源スイッチやディ スクトレイイジェクトボタンを押さないでください。CD-RやCD-RWの内容 がこわれたり、故障の原因になります。

【詩\_】 -e DVD-RAM/R/RW**アクセスランプ** 

DVD-RAM/R/RWドライブが動作しているときに点灯します。

- チェック // DVD-RAM/R/RWアクセスランプ点灯中は電源スイッチやディスクトレイ イジェクトボタンを押さないでください。CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD- RまたはDVD-RWの内容がこわれたり、故障の原因になります。
   ●
   ●
   ●
   ■
   ●
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
   ■
  - (房) R<sup>XVA</sup> -f ヘッドホン端子(へ)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。この端子で聞くことが できるのは、音楽CDの再生音だけです。また、ヘッドホンを耳にあてたま まジャックの抜き差しをしないでください。

「詩\_||(Rコリム) -g ヘッドホンボリューム

CD用ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。

USB**コネクタ(・-↔)** 

USB機器を接続します。

- (
  夢子) (
  夢子) (
  Ray 
  B2.0/1.1 機器に対応しています。USB2.0の転送速度を出すためには、
  USB2.0対応の機器を接続する必要があります。
  - (省☆) USB1.1機器に対応しています。USB2.0の機器を接続した場合は、USB1.1 の転送速度に制限されます。

「キーボード(P.90)

() ファイルベイおよびファイルベイカバー

ファイルベイ用内蔵機器を取り付けます。ファイルベイにはサイズの違いにより、3.5インチベイ、5インチベイの2種類があります。 ファイルベイに、リムーバブルメディア用の内蔵機器を取り付けるときには、このファイルベイカバーを取り外し、別売のファイルベイカバーを取り付けます。

- 参照 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。
- **R**<sup>スリム</sup> フロントマスク

本体前面のカバーです。

本体を安定させるための脚です。

USB機器のケーブルが抜けるのを防止します。

(
裂合) マイクロホン端子(ミニジャック) (
ふ)

市販のマイクロホンを接続します。

③ 通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。物を載せたり壁などでふさがないように注意してください。

## 本体背面

スリムタワー型の場合



#### 省スペース型の場合





Mate R スリムタワー型の場合



AC電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。 添付の電源ケーブルを接続します。

USB**コネクタ(・🛶 )** 

USB機器を接続します。

- - (省三〇) USB1.1機器に対応しています。USB2.0の機器を接続した場合は、USB1.1 の転送速度に制限されます。

「キーボード(P.90)

マイクロホン端子(ミニジャック)() 🔊 )

市販のマイクロホンを接続します。

ライン入力端子(ミニジャック)(())

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

ライン出力端子(ミニジャック)((+))

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

LAN**ボードまたは**FAXモデムボードまたは空き

逐時) 
留空 Rave PCIスロットにLANボードまたはFAXモデムボードが内蔵されていま
す。

LANボードが内蔵されているモデルでは、LAN(ローカルエリアネット ワーク)に接続することができます。

「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.150) FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、データ通信やFAXの送 受信などを行うことができます。「FAXモデムボード(P.171)

LAN**ボード拡大図** 

スリムタワー型でLANボードを選択した場合



#### 省スペース型でLANボードを選択した場合



-a 100BASE-TX/10BASE-T用コネクタ

### Mate R スリムタワー型でLANボード(ギガビットイーサネット対応) を選択した場合



-e 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T**用コネクタ** 

FAX モデムボード拡大図

省スペース型、Mate R スリムタワー型でFAXモデムボードを選択し た場合



-a 100BASE-TX/10BASE-T用コネクダ(品)

100BASE-TX/10BASE-Tのケーブルを接続します。

-b ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LNK)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点滅します。また、ハ ブ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。

-c ネットワーク通信/接続ランプ(ACT/LINK)

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生すると点滅します。また、八 ブ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯し ます。

・100Mbpsネットワーク接続時は緑色に点滅/ 点灯します。

・10Mbpsネットワーク接続時は黄色に点滅/点灯します。

ただし、必ずしも本機の読み込み/書き込みとは限りません。
-d 100BASE-TX**接続ランプ** 

100Mbpsでネットワークが接続されていて、ハブ(マルチポートリピー タなど)からリンクパルスを受信すると点灯します。10Mbpsでネット ワークが接続されている場合は点灯しません。

-e 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T**用コネクダ(**品)

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tのケーブル(エンハンスドカテ ゴリ5以上の使用を推奨)を接続します。

-f 通信速度ランプ

ネットワーク上で読み込み/書き込みが発生するとネットワークの通信 速度に応じて点灯または点灯しません。

・1000Mbpsネットワーク接続時は黄色に点灯します。

- ・ 100Mbpsネットワーク接続時は緑色に点灯します。
- ・10Mbpsネットワーク接続時は点灯しません。
  - -e 電話機用モジュラーコネクタ(行)

電話機を接続します。

-f 電話回線用モジュラーコネクタ( \_\_\_\_ )

電話回線を接続します。

アナログRGBコネクタまたはなし(〇)

アナログインタフェースに接続します。

「ディスプレイ (P.100)

GeForce4 MX440を選択しないスリムタワー型、GeForce2 MXを選 択しない省スペース型、ミニタワー型(MA30Y/M、MA25V/M) Mate R スリムタワー型の場合

アナログRGBコネクタに接続します。

GeForce2 MXを選択した省スペース型、ミニタワー型(MA20V/M)の 場合

アナログインタフェースのディスプレイを接続する場合は、本機に添付 のDVI-アナログ-コネクタ変換ケーブルを利用し、DVI-Iコネクタに接続 します。GeForce2 MXを選択した省スペース型のアナログRGBコネク タは利用できません。 (
浮音)
(
習会)
(
房三) DVI-Dコネクタ、DVI-Iコネクタ、LFHコネクタまたはなし(
回またはDVI)

デジタルインタフェースに接続します。

「ディスプレイ (P.100)

GeForce4 MX440を選択したスリムタワー型

アナログインタフェースのディスプレイを接続する場合は、本機に添付のLFH-アナログ分岐ケーブル(デュアルディスプレイ機能用)を利用し、LFHコネクタに接続します。本体のアナログRGBコネクタは利用できません。

GeForce2 MXを選択した省スペース型の場合 DVI-IコネクタとDVI-Dコネクタの2種類あり、DVI-Iコネクタに接続し

ます。なお、DVI-Dコネクタは利用できません。

GeForce2 MXを選択しない省スペース型、ミニタワー型(MA30Y/M、 MA25V/M )の場合 DVI-Dコネクタに接続します。

ミニタワー型(MA20V/M)の場合 DVI-Iコネクタに接続します。

デェック アナログRGBコネクタとDVIコネクタは、同時に利用できません。また、DVI-DコネクタとDVI-Iコネクタも同時に利用できません。

メモ

GeForce4 MX440を選択したスリムタワー型でデジタルインタフェー スのディスプレイを接続する場合は、別売のLFH-デジタル分岐ケーブル (デュアルディスプレイ機能用)を利用し、LFHコネクタに接続します。

パラレルコネクタ( 🖹 )

プリンタなどの機器を接続します。

チェック ・ PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインターフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。

 パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでく ださい。 シリアルコネクタ1.2(10001.20001) またはシリアルコネクダ (0001)

モデムやISDN TAなどの機器を接続します。

 ✓ チェック // ・ PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダ プタ(PK-CA102)が必要です。

- ・ RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)は、シリアルコネクタ1のみで使用で きます。
- ・ 周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがありま。 す。また、隣り合ったコネクタに同時に変換アダプタを接続すると、変換ア ダプタ同士がぶつかり合って接続できない場合があります。

筐体ロック( 🕅 )

ロック付き盗難防止ケーブルを取り付けます。

「セキュリティ/マネジメント機能(P.174)

アース端子( 🕀 )

アース線を接続します。

通風孔.

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。壁などでふさがないように注 意してください。



- に本体上部の通風孔は物などを置いてふさがないよう十分注意してくだ さい。
  - ・ミニタワー型の場合、本体電源内部のファンは、温度によって回転数が変 わります。そのため、低温時に電源を入れたとき、数分間ファンが動作しな い場合があります。

PCIZONE

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入する スロットです。モデルによっては、LANボード、FAXモデムボード、 IDE-RAIDボードなどが挿入されています。

「LAN( ローカルエリアネットワーク )ボード ( P.150 ) 「FAXモデム ボード(P.171)

参照 / 本機の機能を拡張するためのさまざまな機器の取り付け/取り外しについて は、『ハードウェア拡張ガイド』をご覧ください。

PS/2接続キーボードコネクタ( ==== )

PS/2接続のキーボードのモデルでは、PS/2接続のキーボード(ミニDIN6 ピン)を接続します。「キーボード(P.90)

PS/2接続マウスコネクタ(ウ)

PS/2 109キーボードのモデルでは、PS/2接続のマウス(ミニDIN6ピン) を接続します。テンキー付きPS/2小型キーボードのモデルでは、キー ボードのケーブルがキーボード用とマウス用に分岐しているので、マウ ス用のケーブルを接続します。なお、PS/2接続のマウスはキーボードに 接続します。「マウス(P.99)

ヘッドホン端子( ( )

ミニプラグのステレオヘッドホンを接続します。なお、ヘッドホンを耳に あてたままジャックの抜き差しをしないでください。

ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。スリムタワー型および省スペース型の場合は、 添付品収納箱に入っています。『ハードウェア拡張ガイド』

> LAN用モジュラーコネクタが内蔵されているので、LAN(ローカルエリ アネットワーク)に接続することができます。 「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード(P.150)

【ジー】(ジー) IDE-RAID**ボードまたは空き** 

RAID 1(ミラーリング)によって、2つのハードディスクドライブに同じ 内容のデータを書き込みます。片方のハードディスクドライブが故障し ても、もう一方のハードディスクドライブにもデータが保存されるため、 安全です。「ハードディスクドライブ(IDE-RAIDボードを搭載したモ デルの場合)(P.122)

本体のルーフカバーを固定します。

参照 ルーフカバーの取り付け/取り外しについては、『ハードウェア拡張ガイド』を ご覧ください。



# 電源(Windows XPの場合)

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

# 電源の状態と操作方法

#### 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



#### 電源が切れている状態

Windows XPを終了するなどして本体を使用していない状態です。

## 電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

## スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

## 休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライプに保存した後で、本体の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

## 電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯

## 使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

#### 電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源について の記載をご覧ください。

## 電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
LANによるリモートパワーオン機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## 電源を切る

電源の操作方法
Windows XPの「スタート」ボタン 「 終了オプション」ボタンをクリックし、「 電源を
切る」ボタンをクリックする
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows XPの「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリックし、「スタン
バイ」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」の「電
源設定」で設定する

## スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

#### 休止状態にする

	電源の操作方法	
電源スイッチを押す		
「コントロールパネル」	「パフォーマンスとメンテナンス」	「電源オプション」の「電
源設定」で設定する		

## 休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

# 電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

## 電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

▼チェック! 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

- 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと を確認する
- 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
- 3 本体の電源スイッチを押す
- ◆チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
   されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって次のように変わってきます。

スリムタワー型の場合

512MBのメモリを2枚増設した場合、約7秒かかります。

省スペース型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約9秒かかります。

ミニタワー型の場合

512MBのメモリを4枚増設した場合、約9秒かかります。

Mate R スリムタワー型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約5秒かかります。

#### 電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の手順を行ってください。

 ◆チェック!
 「 電源投入後、Windows XPの起動中やアプリケーションの起動中には、電源 を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、お よびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯してい ないことを確認してから電源を切るようにしてください。

## 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

- ◆チェック! FAXモデムボードを搭載したモデルで通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを終了させてから、電源を切ってください。通信 状態のまま電源を切ると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算され る場合があります。
  - 2 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
  - 3 「電源を切る」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
  - 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

## ⚠注意

Windows XPの動作中は、電源スイッチを押して電源を切らないでく ださい。ソフトウェアなどのエラーでWindows XPが操作できなくなって しまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A (Windows XP、Windows 2000 Professional)」「電源を切ろうと したが…」をご覧ください。

## メモ

- 「電源オプション」では次の設定が行えます。
- ・電源スイッチの変更(スリープ、休止状態、シャットダウン)
- ・ 電源の自動操作(システムスタンパイ、システム休止状態)

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

## スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する 必要があります。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

 ✓ チェック パイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- **1** 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
- 2 「スタンパイ」をクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

電源スイッチによる方法

電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

▲注意
電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを4秒
以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的
に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

## スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、 次の方法があります。なお、本機をキーボード/マウスによってスタンバ イ状態から復帰するには、キーボード/マウスのプロパティの「電源の管 理」タブにある「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除 できるようにする」がチェックされている必要があります。

- チェック? ・ USB接続のキーボード/マウスのモデルで「このデバイスで、コンピュータ のスタンバイ状態を解除できるようにする」がチェックされている場合、 スタンバイ状態での消費電力が増加します。
  - ・省スペース型のUSB接続のキーボード/マウスのモデルでは、本体背面に あるUSBコネクタ1またはUSBコネクタ2に接続した場合のみ、入力デバ イスによるスタンバイ状態からの復帰が可能です。
  - 参照/「キーボード」または「マウス」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

入力デバイスによる方法

マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から復帰します。

電源スイッチによる方法

電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から復帰します。

## ⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続ける と強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき スタンパイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・ 停電が起きたとき
- 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき

スタンパイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンパイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンパイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンバイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中のとき
- ・ Windows XPの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

## その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・省スペース型では、スタンバイ状態で定期的に装置本体内のファンが作動します。

 ・スリムタワー型の場合、スタンバイ状態で装置本体内のファンが作 動する場合があります。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンパイ機能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

# 休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって 休止状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する必要があり ます。

参照 「電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順があり ます。

1 電源スイッチを押す

作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

## ⚠注意

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

#### 休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

## 1 電源スイッチを押す

Windows XPが起動し、前回休止状態機能を使用して電源を切ったときと同じ状態に復元されます。

#### 休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときの作業中のデータが失われた り、元通りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき

休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作業中のデータは保証されません。

- ・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・ Windows XPの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状 態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。

- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しく休止状態から復帰できない場合があります。このような場合は、休止状態にしないでください。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- 休止状態にする前の内容に復帰できない

・電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

## 電源の自動操作

タイマ(「電源オプション」、Timer-NX)、LAN、回線からのアクセス(リ モートパワーオン機能、リング機能)によって、自動的に電源の操作を行 うことができます。

 チェック // タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を 行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も 表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキー ボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。 「電源オプション」

「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック し、「電源オプション」の「システムスタンパイ」を設定しておくと、設定し た時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電 源を切ったり、スタンパイ状態にすることができます。

また、「電源オプション」の「システム休止状態」を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的に休止状態にするこ とができます。工場出荷時の「電源オプション」は次のように設定されて います。

「電源オブション」 の設定 本体	モニタの 電源を切る	ハードディスク の電源を切る	システム スタンバイ	システム 休止状態
工場出荷時の設定値	約20分	約30分	約20分	なし

約30分で切れるように設定されていますが、約20分後にはスタンパイ 状態に移行して、ハードディスクドライブの電源が切れます。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows XPのヘルプ

メモ

本機はエネルギースターに対応していますので、省エネルギーのため工 場出荷時にスタンバイ状態になるように設定してあります。

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加
(Windows XP Professional、Windows XP Home Edition)」Timer-NX、Timer-NXのヘルプ リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・「セキュリティ/マネジメント機能」マネジメント機能」リモートパワー オン機能(Remote Power On機能)(P.179)
  - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)(P.158)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態または休止状態から復帰することができます。電 源を入れることはできません。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加
(Windows XP Professional、Windows XP Home Edition)」
Timer-NX
、Timer-NXのヘルプ

# **電源(**Windows XP Home**の場合)**

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

# 電源の状態と操作方法

#### 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



## 電源が切れている状態

Windows XP Homeを終了するなどして本体を使用していない状態 です。

#### 電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

## スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

#### 休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

## 電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯

## 使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

#### 電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源について の記載をご覧ください。

## 電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
LANによるリモートパワーオン機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## 電源を切る

電源の操作方法
Windows XP Homeの「スタート」ボタン 「 終了オプション」ボタンをクリックし、
「電源を切る」ボタンをクリックする
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows XP Homeの「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリックし、
「スタンバイ」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」「電源オプション」の「電
源設定」で設定する

## スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

#### 休止状態にする

	電源の操作方法	
電源スイッチを押す		
「コントロールパネル」	「パフォーマンスとメンテナンス」	「電源オプション」の「電
源設定」で設定する		

## 休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

# 電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

## 電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

▼チェック! 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

- 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと を確認する
- 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
- 3 本体の電源スイッチを押す
- チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
   されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって次のように変わってきます。

スリムタワー型の場合

512MBのメモリを2枚増設した場合、約7秒かかります。

ミニタワー型の場合

512MBのメモリを4枚増設した場合、約9秒かかります。

Mate R スリムタワー型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約5秒かかります。

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の手順を行ってください。

- - 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- ◆チェック!? FAXモデムボードを搭載したモデルで通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを終了させてから、電源を切ってください。通信 状態のまま電源を切ると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算され る場合があります。
  - 2 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
  - 3 「電源を切る」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
  - 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

## ⚠注意

Windows XP Homeの動作中は、電源スイッチを押して電源を切らな いでください。ソフトウェアなどのエラーでWindows XP Homeが操作 できなくなってしまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブ ル解決Q&A(Windows XP、Windows 2000 Professional)」「電 源を切ろうとしたが…」をご覧ください。

## メモ

- 「電源オプション」では次の設定が行えます。
- ・電源スイッチの変更(スリープ、休止状態、シャットダウン)
- ・ 電源の自動操作(システムスタンパイ、システム休止状態)

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

## スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する 必要があります。

参照 / 「電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

 ✓ チェック パイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- **1** 「スタート」ボタン 「終了オプション」ボタンをクリック
- 2 「スタンパイ」をクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

▲注意 電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを4秒 以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的 に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、 次の方法があります。なお、本機をキーボード/マウスによってスタンパ イ状態から復帰するには、キーボード/マウスのプロパティの「電源の管 理」タブにある「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除 できるようにする」がチェックされている必要があります。  ◆チェック!! USB接続のキーボード/マウスのモデルでは、「このデバイスで、コンピュー タのスタンバイ状態を解除できるようにする」がチェックされている場合、ス タンバイ状態での消費電力が増加します。

参照 / 「キーボード」またば マウス」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

入力デバイスによる方法

マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から復帰します。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態から復帰します。

⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続ける と強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・停電が起きたとき
- 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき

スタンパイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンパイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンパイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンバイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中のとき
- ・ Windows XP Homeの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

## その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・省スペース型では、スタンバイ状態で定期的に装置本体内のファンが作動します。

・スリムタワー型およびミニタワー型の場合、スタンバイ状態で装置
 本体内のファンが作動する場合があります。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンパイ機能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップメニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

## 休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって 休止状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する必要があり ます。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の手順があり ます。

1 電源スイッチを押す

作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

#### ∕∖注意

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

#### 休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

## 1 電源スイッチを押す

Windows XP Homeが起動し、前回休止状態機能を使用して電源 を切ったときと同じ状態に復元されます。

#### 休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときの作業中のデータが失われた り、元通りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき

休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作業中のデータは保証されません。

- ・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・ Windows XP Homeの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状 態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。

- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しく休止状態から復帰できない場合があります。このような場合は、休止状態にしないでください。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・休止状態にする前の内容に復帰できない

・電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

## 電源の自動操作

タイマ(「電源オプション」、Timer-NX)、LAN、回線からのアクセス(リ モートパワーオン機能、リング機能)によって、自動的に電源の操作を行 うことができます。

 チェック // タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を 行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も 表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキー ボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。 「電源オプション」

「コントロールパネル」「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック し、「電源オプション」の「システムスタンパイ」を設定しておくと、設定し た時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電 源を切ったり、スタンパイ状態にすることができます。

また、「電源オプション」の「システム休止状態」を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的に休止状態にするこ とができます。工場出荷時の「電源オプション」は次のように設定されて います。

「電源オブション」 の設定 本体	モニタの 電源を切る	ハードディスク の電源を切る	システム スタンバイ	システム 休止状態
工場出荷時の設定値	約20分	約30分	約20分	なし

約30分で切れるように設定されていますが、約20分後にはスタンパイ 状態に移行して、ハードディスクドライブの電源が切れます。

参照 「電源オプション」の設定の変更 Windows XP Homeのヘルプ

メモ

本機はエネルギースターに対応していますので、省エネルギーのため工 場出荷時にスタンバイ状態になるように設定してあります。

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加
(Windows XP Professional、Windows XP Home Edition)」Timer-NX、Timer-NXのヘルプ リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・「セキュリティ/マネジメント機能」マネジメント機能」リモートパワー オン機能(Remote Power On機能)(P.179)
  - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)(P.158)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態または休止状態から復帰することができます。電 源を入れることはできません。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加
(Windows XP Professional、Windows XP Home Edition)」
Timer-NX
、Timer-NXのヘルプ

# **電源(**Windows 2000の場合)

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

# 電源の状態と操作方法

#### 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っ ている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



## 電源が切れている状態

Windows 2000を終了するなどして本体を使用していない状態です。

## 電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

## スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

## 休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体 の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

## 電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯

使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

## 電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源について の記載をご覧ください。

電源を入れる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
LANによるリモートパワーオン機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## 電源を切る

電源の操作方法
Windows 2000の終了メニューから「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをク
リックする
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## スタンバイ状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows 2000の終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリッ
クする
「コントロールパネル」 「 電源オプション 」の「 詳細 」 で設定する

## スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

| 本体の構成各部

休止状態にする

電源スイッチを押す

電源の操作方法

Windows 2000の終了メニューから「休止状態」を選択し、「OK」ボタンをクリッ クする

「コントロールパネル」 「 電源オプション」の「 詳細」 で設定する

## 休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

# 電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

#### 電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

● チェック // 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

- 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと を確認する
- 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
- 3 本体の電源スイッチを押す
- チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
   されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって次のように変わってきます。

スリムタワー型の場合

512MBのメモリを2枚増設した場合、約7秒かかります。

省スペース型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約9秒かかります。

ミニタワー型の場合

512MBのメモリを4枚増設した場合、約9秒かかります。

Mate R スリムタワー型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約5秒かかります。

電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の手順を行ってください。

◆チェック? 電源投入後、Windows 2000の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、およびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。

## 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

- ◆チェック!? FAXモデムボードを搭載したモデルで通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを終了させてから、電源を切ってください。通信 状態のまま電源を切ると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算され る場合があります。
  - 2 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
  - 3 「シャットダウン」を選択して「OK」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終了 処理中に電源スイッチを押さないでください。
  - 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

## ⚠注意

Windows 2000の動作中は、電源スイッチを押して電源を切らないで ください。ソフトウェアなどのエラーでWindows 2000が操作できなくなっ てしまった場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A (Windows XP、Windows 2000 Professional)」「電源を切ろうと したが…」をご覧ください。

## メモ

- 「電源オプション」では次の設定が行えます。
- ・電源スイッチの変更(スタンパイ、休止状態、電源オフ)
- ・電源の自動操作(システムスタンパイ、システム休止状態)

参照 / 「電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

## スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンバイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンバイ状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する 必要があります。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

 ✓ チェック パイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンバイ状態にするには、次の方法 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- **1** 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 2 「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンパイ状態になります。

▲注意 電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを4秒 以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的 に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、 次の方法があります。なお、本機をキーボード/マウスによってスタンパ イ状態から復帰するには、キーボード/マウスのプロパティの「電源の管 理」タブにある「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除 できるようにする」がチェックされている必要があります。 参照 / 「キーボード」またば マウス」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

入力デバイスによる方法

 マウスを動かすか、キーボードのキーを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から 復帰します。

電源スイッチによる方法

 電源スイッチを押す
 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンパイ状態から 復帰します。

∕∖注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると 強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

## スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・ 停電が起きたとき
- 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき

スタンパイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンパイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンパイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンバイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中のとき
- ・ Windows 2000の起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

## その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときにスタンパイ状態にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- ・ CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・省スペース型では、スタンバイ状態で定期的に装置本体内のファンが作動します。

- ・スリムタワー型およびミニタワー型の場合、スタンバイ状態で装置
   本体内のファンが作動する場合があります。
- ・スタンバイ状態から復帰させた場合、USB接続機器(キーボード、マウス、プリンタ等)が動作しないことがあります。この場合は一度USB機器を抜き差ししてください。また、印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。 なお、ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンパイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機 能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できな かったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源 ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップ メニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必 要な場合は、再設定してください。

## 休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって 休止状態にするには、「電源オプション」の設定を変更する必要があります。

参照 / 電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

## 休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の方法があり ます。
「スタート」ボタンによる方法

- **1** 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリック
- 2 「休止状態」を選択して「OK」ボタンをクリック 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、 休止状態になります。

⚠注意

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上 押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

1 電源スイッチを押す

Windows 2000が起動し、前回休止状態機能を使用して電源を切ったときと同じ状態に復元されます。

#### 休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときの作業中のデータが失われた り、元通りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき 休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

- ・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・Windows 2000の起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状 態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しく休止状態から復帰できない場合があります。このような場合は、休止状態にしないでください。
- ・休止状態から復帰させた場合、USB接続機器(キーボード、マウス、 プリンタ等)が動作しないことがあります。この場合は一度USB機器を抜き差ししてください。また、印刷中にプリンタが停止し、「印刷 キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのド キュメントを一度キャンセルし、プリンタに接続しているUSBケー ブルを抜き差ししてから再度印刷してください。

なお、ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- 休止状態にする前の内容に復帰できない

・電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

## 電源の自動操作

タイマ(「電源オプション」、Timer-NX)、LAN、回線からのアクセス(リ モートパワーオン機能、リング機能)によって、自動的に電源の操作を行 うことができます。

◆チェック? タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を 行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も 表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキー ポードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。

「電源オプション」

「コントロールパネル」「電源オプション」の「システムスタンパイ」を 設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードから の入力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自 動的にディスプレイの電源を切ったり、スタンパイ状態にすることがで きます。

また、「電源オプション」の「システム休止状態」を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディ スクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的に休止状態にするこ とができます。工場出荷時の「電源オプション」は次のように設定されて います。

「電源オブション」 の設定 本体	モニタの 電源を切る	ハードディスク の電源を切る	システム スタンバイ	システム 休止状態
工場出荷時の設定値	約20分	約30分	約20分	なし

約30分で切れるように設定されていますが、約20分後にはスタンバイ 状態に移行して、ハードディスクドライブの電源が切れます。

参照/「電源オプション」の設定の変更 Windows 2000のヘルプ

#### メモ

本機はエネルギースターに対応していますので、省エネルギーのため工 場出荷時にスタンバイ状態になるように設定してあります。

#### Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加 (Windows 2000 Professional)」Timer-NX 」Timer-NXのヘルプ

## リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・「セキュリティ/マネジメント機能」マネジメント機能」リモートパワー オン機能 Remote Power On機能)(P.179)
  - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows 2000の場合)(P.163)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態または休止状態から復帰することができます。電 源を入れることはできません。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加 (Windows 2000 Professional )」Timer-NX」Timer-NXのヘルプ



# 電源(Windows Meの場合)

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機がこわれてしまうことがあるので、特に注意してください。

# 電源の状態と操作方法

#### 電源の状態

本体の電源の状態には次のように「電源が切れている状態」電源が入っ ている状態」スタンバイ状態」休止状態」の4つの状態があります。



### 電源が切れている状態

Windows Meを終了するなどして本体を使用していない状態です。

#### 電源が入っている状態

通常、本体を使用している状態です。

#### スタンバイ状態

作業中のデータを一時的にメモリへ保存し、ハードディスクドライブ などのモータを停止する、ディスプレイを省電力の状態にするなどし て消費電力を抑えますが、メモリ内のデータを保持するための電力は 供給されている状態です。作業中の内容がメモリ内に保存されている ため、スタンバイ状態から復帰するときは素早く元の状態に戻ります。

#### 休止状態

メモリの情報をすべてハードディスクドライブに保存した後で、本体 の電源を切ります。もう一度電源を入れると、電源を切ったときと同じ 状態で復元されます。本体の電源を切るため、「休止状態からの復帰」は 「スタンパイからの復帰」より遅くなります。

## 電源の状態によるランプとディスプレイの表示は、次の通りです。

電源の状態	電源ランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
電源が入っている	緑色に点灯	表示される	緑色に点灯
電源が切れている	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
スタンバイ状態	オレンジ色に点灯	表示されない	オレンジ色に点灯
休止状態	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯

## 使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

### 電源の操作方法

電源を操作するには次の方法があります。詳しくは、後述の電源について の記載をご覧ください。

## 電源を入れる

電源の操作方法			
電源スイッチを押す			
LANによるリモートパワーオン機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)			

#### 電源を切る

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows Meの終了メニューから「終了」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオフ機能を利用する(Mate R スリムタワー型を除く)

## スタンバイ状態にする

電源の操作方法			
電源スイッチを押す			
Windows Meの終了メニューから「スタンバイ」を選択し、「OK」ボタンをクリック			
する			
「コントロールパネル」 「電源の管理」の「システムスタンバイ」で設定する			

## スタンバイ状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
マウスを動かす。またはキーボードのキーを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

休止状態にする

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Windows Meの終了メニューから「休止状態」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
「コントロールパネル」 「電源の管理」の「システム休止状態」で設定する

## 休止状態から復帰させる

電源の操作方法
電源スイッチを押す
Timer-NXを利用する
LANによるリモートパワーオン機能を利用する
FAXモデムによるリング機能を利用する

# 電源の入れ方/切り方(電源の手動操作)

### 電源を入れる

電源が切れている状態から電源を入れるには、必ず次の手順に従って正 しく電源を入れてください。

- チェック / 電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔をあけて行ってください。
  - 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと を確認する
  - 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる
  - 3 本体の電源スイッチを押す
- チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
   されるまでの時間は、メモリの組み合わせによって次のように変わってきます。

省スペース型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約9秒かかります。

Mate R スリムタワー型の場合

256MBのメモリを2枚増設した場合、約5秒かかります。

#### 電源を切る

電源が入っている状態から電源を切るには、次の方法があります。

▼チェック? 電源投入後、Windows Meの起動中やアプリケーションの起動中には、電源 を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、お よびハードディスクアクセスランプやディスクアクセスランプが点灯してい ないことを確認してから電源を切るようにしてください。

「スタート」ボタンによる方法

1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

- FAXモデムボードを搭載したモデルで通信アプリケーションを使用中の 場合は、通信アプリケーションを終了させてから、電源を切ってください。 通信状態のまま電源を切ると、回線が接続されたままになり、電話料金が 加算される場合があります。
  - 2 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
  - 3 「終了」を選択して「OK」ボタンをクリック 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れますので、終 了処理中に電源スイッチを押さないでください。
  - 4 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび 周辺機器の電源を切る

電源スイッチによる方法

- 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する
- **2** 電源スイッチを押す

自動的に電源が切れます。

電源スイッチを押して電源を切る場合は、電源スイッチを4秒以上押 さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的に電 源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

## 3 本体の電源が切れたことを確認したら、ディスプレイおよび 周辺機器の電源を切る

## ⚠注意

Windows Meの動作中は、電源スイッチを押して電源を切らないでく ださい。ソフトウェアのエラーでWindows Meが操作できなくなってしまっ た場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A(Windows Me)」「電源を切ろうとしたが…」をご覧ください。

## ×E

「電源の管理」では次の設定が行えます。

- ・電源スイッチの変更(スタンパイ、休止状態、電源オフ)
- ・ 電源の自動操作(システムスタンバイ、システム休止状態)
- 参照/「電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ

## スタンバイ/スタンバイからの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、スタンパイ状態にすることによっ て電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチに よってスタンパイ状態にするには、「電源の管理」の設定を変更する必要 があります。

- 参照/「電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ
- チェック パ スタンバイ/スタンバイ状態から復帰する操作は、電源ランプの色が変わって
   から5秒以上の間隔をあけて行ってください。

スタンバイ状態にする

電源が入っている状態から手動でスタンパイ状態にするには、次の方法 があります。

 チェック // リモートパワーオン機能を使用するため、「デバイスマネージャ」のネット ワークアダプタのプロパティで、「電源の管理」タブにおいて「コンピュータの スタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」をチェックした場合、ネット ワーク状態を最新の状態に更新するため不定期にスタンパイ状態が解除され る場合があります。 「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリック 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチによる方法

1 雷源スイッチを押す 電源ランプがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

電源スイッチを押してスタンバイ状態にする場合は、電源スイッチを
4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると
強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の 方法があります。

入力デバイスによる方法

- チェック//・省スペース型のUSB接続のキーボード/マウスのモデルでは、本体省面に あるUSBコネクタ1またはUSBコネクタ2に接続した場合にのみ、入力デ バイスによるスタンバイ状態からの復帰が可能です。
  - PS/2マウスによるスタンバイからの復帰はできない場合があります。た だし、PS/2接続のキーボードからは復帰できます。
    - 1 マウスを動かすか、キーボードのキーを押す 電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態か ら復帰します。

▼チェック // 一度操作しても画面が元に戻らない場合は、もう一度マウスを動かすか、 キーボードのキーを押してください。

電源スイッチによる方法

**1** 電源スイッチを押す

電源ランプがオレンジ色から緑色に変わり、スタンバイ状態か ら復帰します。

## ⚠注意

電源スイッチを押してスタンバイ状態から復帰する場合は、電源スイッ チを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続け ると強制的に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまい ます。

スタンバイ機能を使用するときの注意

スタンバイ機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと、スタンバイ状態にするときの作業中のデータが 失われたり、元通りに復帰できないこともあります。

スタンバイ状態にする前の内容が失われるとき

スタンバイ状態のときに次のことが起きると、スタンバイ状態にする ときの作業中のデータは失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体やACコンセントから外れたとき
- ・ 停電が起きたとき
- ・電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

スタンバイ状態からの復帰が保証されないとき スタンバイ状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または スタンバイ状態からの復帰中に次のようなことを行うと、スタンバイ 状態にするときの作業中のデータは保証されません。

フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき

また、次のような状態でスタンバイ状態にすると、作業中のデータは保 証されません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- スタンバイ機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- スタンバイ機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中のとき

- ・ Windows Meの起動処理中、終了処理中のとき
- 通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

その他の注意

- 通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、スタンバイ状態にしてください。通信状態のまま スタンバイ状態にすると、回線が接続されたままになり、電話料金 が加算される場合があります。
- CD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにスタンバイ状態
   にした場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。
- CDの再生中にスタンバイ状態にした場合、CDは再生され続ける場合 があります。スタンバイ状態にする前にCDの再生を止めてください。
- SCSIインタフェースボードを使用している場合、接続されている機器によっては正しくスタンバイ状態から復帰できない場合があります。このような場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- スタンバイ状態からの復帰を行った場合、本体はスタンバイ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・省スペース型では、スタンバイ状態で定期的に装置本体内のファン が作動します。

スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、スタンバイ状態からの復帰が正しく実行されな かったことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・スタンバイ状態にする前の内容を復元できない
- ・マウス、キーボード、電源スイッチを押してもスタンバイ状態から 復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用中には、スタンバイ機 能は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できな かったときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源 ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップ メニューの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必 要な場合は、再設定してください。

## 休止状態/休止状態からの復帰(電源の手動操作)

本機での作業を長時間中断する場合は、休止状態にすることによって電力の消費を節約することができます。なお、本機を電源スイッチによって 休止状態にするには、「電源の管理」の設定を変更する必要があります。

参照/「電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ

休止状態にする

電源が入っている状態から手動で休止状態にするには、次の方法があり ます。

 ◆チェック // リモートパワーオン機能を使用するため、「デバイスマネージャ」のネット ワークアダプタのプロパティで、「電源の管理」タブにおいて「コンピュータの スタンパイ解除の管理をこのデバイスで行う」をチェックした場合、ネット ワーク状態を最新の状態に更新するため不定期に休止状態が解除される場合 があります。

「スタート」ボタンによる方法

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリック
- 2 「休止状態」を選択して「OK」ボタンをクリック 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、休止状態になります。

電源スイッチによる方法

1 電源スイッチを押す 作業状態をハードディスクドライブに保存し、本機の電源が切れ、休止状態になります。

⚠注意	

電源スイッチを押して休止状態にする場合は、電源スイッチを4秒以 上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると強制的 に電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。

#### 休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、次の手順が あります。

## 1 電源スイッチを押す

Windows Meが起動し、前回休止状態機能を使用して電源を切ったときと同じ状態に復元されます。

#### 休止状態機能を使用するときの注意

休止状態機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを 守っていただけないと休止状態にするときの作業中のデータが失われた り、元通りに復帰できないこともあります。

休止状態からの復帰が保証されないとき

休止状態にするときの作業中のデータを保存中のとき、または休止状 態からの復帰中に次のようなことを行うと、休止状態にするときの作 業中のデータは保証されません。

- ・フロッピーディスクやCD-ROMを取り出したり、交換したとき
- ・周辺機器の構成を変更(取り付け/取り外し)したとき

また、次のような状態で休止状態にすると、作業中のデータは保証され ません。

- ・システム変更作業(ドライバの設定やプリンタの追加)中のとき
- ・プリンタへ出力中のとき
- ・音声または動画を再生しているとき
- ・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- CD-ROMなどを読み取り中のとき
- 休止状態機能に対応していないアプリケーションを使用中のとき
- 休止状態機能に対応していない周辺機器や拡張ボードを使用中の とき
- ・Windows Meの起動処理中、終了処理中のとき
- ・通信用ソフトウェアでFAXモデムまたはLANなどを使ってネット ワークに接続しているとき

## その他の注意

- ・通信アプリケーションを使用中の場合は、通信アプリケーションを 終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状 態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- CD-ROM ドライブにフォトCDが入っているときに休止状態にした 場合は、復帰するときに多少の時間がかかることがあります。

- 休止状態からの復帰を行った場合、ディスプレイに何も表示されない状態になることがあります。この場合は、マウスを動かすかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- ・ SCSIインタフェースボードを使用している場合、休止状態にできま せん。SCSI機器をご利用になる場合は、本機が自動的に休止状態に ならないように設定を変更してください。

休止状態からの復帰が正しく実行されないときの解決方法 次のような場合には、休止状態からの復帰が正しく実行されなかった ことを表しています。

- アプリケーションが動作しない
- ・休止状態にする前の内容に復帰できない

・電源スイッチを押しても休止状態から復帰できない このような状態になるアプリケーションを使用中には、休止状態機能 は使わないでください。万一、電源スイッチを押しても復帰できなかっ たときには、電源スイッチを約4秒以上押し続けてください。電源ラン プが消え、電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップメニューの内容が工場出荷時の状態に 戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

## 電源の自動操作

タイマ(「電源の管理」、Timer·NX)、LAN、回線からのアクセス(リモート パワーオン機能、リング機能)によって、自動的に電源の操作を行うこと ができます。

 チェック! タイマ、LAN、FAXモデムの自動操作によるスタンバイ状態からの復帰を 行った場合、本体はスタンバイから復帰しているのに、ディスプレイには何も 表示されない状態になることがあります。この場合、マウスを動かすかキー ボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されます。 「電源の管理」

「コントロールパネル」「電源の管理」の「システムスタンバイ」を設定し ておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力お よびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的に ディスプレイの電源を切ったり、スタンバイ状態にすることができます。 また、「コントロールパネル」「電源の管理」の「システム休止状態」を設 定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入 力およびハードディスクドライブへのアクセスなどがない場合、自動的 に休止状態にすることができます。工場出荷時の「電源オプション」は次 のように設定されています。

「電源の管理」 の設定 本体	モニタの 電源を切る	ハードディスク の電源を切る	システム スタンバイ	システム 休止状態
工場出荷時の設定値	約15分	約30分	なし	約20分

約30分で切れるように設定されていますが、約20分後には休止状態に 移行して、ハードディスクドライブの電源が切れます。

参照/「電源の管理」の設定の変更 Windows Meのヘルプ

メモ

本機はエネルギースターに対応していますので、省エネルギーのため工 場出荷時に休止状態になるように設定してあります。

Timer-NX

「Timer-NX」のタイマ機能およびオフタイマ機能を使って、指定した時刻 に電源を切る、またはスタンバイ状態/休止状態から復帰することができ ます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加 (Windows Me)」「Timer-NX」Timer-NXのヘルプ リモートパワーオン機能(LANによる電源の自動操作)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を操作する機能です。

- 参照 ・ 「セキュリティ/マネジメント機能」「マネジメント機能」」リモートパワー オン機能 Remote Power On機能)(P.179)
  - ・「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード」リモートパワーオン機能の 設定(Windows Meの場合)(P.168)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)

FAXモデムボードが内蔵されているモデルでは、FAXや電話を受信した 場合にスタンバイ状態または休止状態から復帰することができます。電 源を入れることはできません。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加 (Windows Me)」「Timer-NX」、Timer-NXのヘルプ

キーボード

ここでは、さまざまなキーボード、日本語入力、キーボードの使用上の注 意について説明します。

参照 キーボード Windowsのヘルプ

# 添付されるキーボードの種類

本機に添付されるキーボードには、接続するインタフェース、キー配列、 収納方法などの違いにより、次の種類のキーボードがあります。

+	ーボードの種類・名称	インタフェース	キー配列	収納方法
PS/ 2 接 続	PS/2 109キーボード		109配列	横置き
のキーボード	テンキー付きPS/2小型キーボード	P5/2	109準拠	縦置き
USB接続の	USB109キーボード		109配列	横置き
キーボード	-ボード テンキー付きUSB小型キーボード		109準拠	縦置き

収納方法

本機に添付されるキーボードには、キーボードを使わないときの収納方 法として、縦置き収納型と横置き収納型の2つがあります。

#### 縦置き収納型

#### 横置き収納型





縦置き収納型は、キーボードを使わないときに、キーボードを縦置きにす ることができるタイプ(スタンドタイプ)で、机上のスペースを広くする ことができます。横置き収納型は、キーボードを使わないときも、横置き のままのタイプです。

## 使用上の注意

Nキーロールオーバ

Nキーロールオーバとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力 したキーが有効になる機能です。ただし、本機のキーボードは、疑似Nキー ロールオーバのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示さ れないことや、有効にならないことがあります。

USB接続のキーボードの抜き差し

電源が入った状態でUSB接続のキーボードを抜き差しする場合、USB接 続のキーボードが取り外されたことや取り付けられたことを、本体が認 識するためには数秒~10秒程度必要です。瞬間的な抜き差しを繰り返す とキーボード入力ができなくなることがあります。 キーボード入力ができなくなってしまった場合は、USB接続のキーボー ドを正しく接続した後に、電源スイッチを4秒以上押し続けて強制的に電 源を切り、Windowsを再起動してください。

# PS/2 109**キーボード**、USB109**キーボード**

#### キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使 う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。



テンキー





キーをロックする

【Caps Lock 】Num Lock 】Scroll Lock 】は、ロックされているときと、 ロックされていないときでキーの機能が異なります。 それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点 灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき	
	英字が大文字で入力され	英字が小文字で入力され	
LCaps Lock	ます。	ます。	
	キー前面に表示されてい	キー上面の文字が入力さ	
【Num Lock】	る数字や記号が入力され	れます。	
	ます。		
[Scroll Lock]	アプリケーションによって	幾能が異なります。	

## テンキー付きPS/2小型キーボード、テンキー付きUSB小型キーボード

#### キーの名称

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、ソフトウェアの操作に使 う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するソフトウェア によって異なります。







キーをロックする

キーのロックについては、「キーをロックする (P.93)をご覧ください。

1

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを 使います。本機では各モデルごとに以下の日本語入力プログラムが使用 できます。

Windows XPおよびWindows XP Homeの場合

日本語入力 プログラム	アプリケーション レスモデル	Office XP Personalモデル および Office XP Professionalモデル
MS-IME2002		

# :インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム

Windows 2000およびWindows Meの場合

日本語入力 プログラム	アプリケーション レスモデル	Office XP Personalモデル および Office XP Professionalモデル
MS-IME2000		
MS-IME2002		

- :インストールされており、工場出荷時に標準で使用する設定になっている日本語入力プログラム
- : インストールされている日本語入力プログラム

日本語入力のオン/オフ

日本語入力のオン/オフを切り替えるには次の方法があります。

- ・キーボードの【半角/全角/漢字】を押す
- タスクパーの右下の をクリックし、表示されるメニューから選択する

✓ チェック // MS-IME2002をお使いの場合、 // は表示されません。

## 日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。詳しくは、MS-IMEのヘル プをご覧ください。

## メモ

日本語変換のヘルプを表示するには、ツールバーのヘルプアイコンをクリックしてください。

## USB 接続のキーボードの使用上の注意

USB接続のキーボード(USB 109キーボード、テンキー付きUSB小型キー ボード)の裏面には、USB機器を接続するためのハブが装備されていま す。1つは標準添付のスクロールボタン付きマウスを接続してください。 ハブを2つ装備しているキーボードの残りの1つには別売のUSB機器を接 続できますが、次の制限があります。



## 電源容量による接続の制限

・USB接続のキーボードのUSBハブは、USBバスパワードハブと呼ばれるハブで、電源が接続先から供給されて動作するハブです。 USB機器には、接続先に要求する電源の容量によって、「ハイパワーデバイス」と「ローパワーデバイス」の2種類に分類されます。USB接続のキーボードに接続できるUSB機器は、ローパワーデバイス」のものに限られます。

## **メ**モ ハイパワーデバイス、ローパワーデバイス

ハイパワーデバイス:接続先に500mA以下の電源を要求するUSB機器。 ローパワーデバイス:接続先に100mA以下の電源を要求するUSB機器。

- USBの仕様では、USB機器は最大5段まで縦列接続が可能ですが、実際のシステム運用上では2段までの縦列接続でご使用になってください。
- (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )
  (
  )
  )



# マウスについて

本機に添付されるマウスは、スクロールボタン付きマウスです。



マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して離す操作です。特に指定がない場合は左ボタンを使います。

スクロールボタン付きマウスのスクロールボタンの使い方

通常はスクロールボタンを上に押し続けたり、手前へ引き続けることで 上下にスクロールします。

また、スクロールボタンをクリックしたり、押し続けたときにスクロール アイコンが表示されます。その場合は、三角マークの方向にマウスを動か すと画面を上下にスクロールさせることができます。スクロールボタン を再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

# ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お 使いの用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

参照) ディスプレイ Windowsのヘルプ

## 使用上の注意

- ・リフレッシュレード(垂直走査周波数)の設定値はセットアップが完了 したときに、本体とディスプレイの組み合わせで最も適した値に自動 的に設定されます。通常ご使用になるときは設定を変更しないでくだ さい。機種によってはリフレッシュレード(垂直走査周波数)の設定を 「画面のプロパティ」で変更できる場合がありますが、ディスプレイが サポートしていないリフレッシュレートを設定すると画面が乱れるこ とがあります。
- ・使用するディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、画面の位置、サイズなどの調整が必要な場合があります。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。なお、アナログ液晶ディスプレイの場合は、「液晶ディスプレイ調整ツール」を利用すると簡単に画面の調整が行えます。ただし、15型液晶ディスプレイ(LCD1560V)および17型液晶ディスプレイ(LCD1760VM)では、液晶ディスプレイ調整ツール」は利用できませんので、ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。デジタル液晶ディスプレイの場合は不要です。
- 参照 液晶ディスプレイ調整ツール 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケー ションの概要と削除/追加」の「液晶ディスプレイ調整ツール」
  - デジタルインタフェースを持つディスプレイとアナログインタフェー スを持つディスプレイを同時に利用することはできません。
  - 次の別売のディスプレイは使用できません。

PC-KM174 PC-KM212

# 表示能力

本機で表示可能な解像度、表示色、水平走査周波数、垂直走査周波数の関係は次の表の通りです。

スリムタワー型

## 液晶ディスプレイの場合

	本機の衰	長示能力		セレク	ションメニ ディスプレ	ューで選折 イとの対応	できる
解像度 [ドット]	表示色	水平走査 周波数	垂直走査 周波数	15型 液晶ディス プレイ	15型 液晶ディス プレイ	17型 液晶ディス プレイ	17型 液晶ディス プレイ 2
		[KHz]	[Hz]	F15T52	LCD1560V	LCD1760VM	F17R11
	256色 <sup>1</sup>	31.5	60				
640×480 <sup>1</sup>	65,536色	37.5	75				2
	1,677万色	43.3	85	×	×	×	×
	256色 <sup>1</sup>	37.9	60				
800×600	65,536色	46.9	75				2
	1,677万色	53.7	85	×	×	×	×
	256色 <sup>1</sup>	48.4	60				
1,024×768	65,536色	60.0	75				2
	1,677万色	68.7	85	×	×	×	×
	256色 <sup>1</sup>	64.0	60	×	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×	2	2
	1,677万色	91.1	85	×	×	×	×
	256色 <sup>1</sup>	75.0	60	×	×	×	×
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×	×	×
	1,677万色	106.	85	×	×	×	×

1 Windows XPおよびWindows XP Homeでは640×480ドットおよび256色の表示には設定の変更が必要。

2 アナログ液晶ディスプレイとして使用した場合。

## CRTディスプレイの場合

	本機の表	長示能力	セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応			
解像度	表示色	水平走査 周波数	垂直走査 周波数	15型 CRTディ スプレイ	17型 CRTディ スプレイ	19型 CRTディ スプレイ
[ドット]		[ KHz ]	[Hz]	DV15A5	FE791SB	FE991SB
	256色	31.5	60			
640×480	65,536色	37.5	75			
	1,677万色	43.3	85			
	256色	37.9	60			
800×600	65,536色	46.9	75			
	1,677万色	53.7	85			
	256色	48.4	60			
1,024×768	65,536色	60.0	75			
	1,677万色	68.7	85			
	256色	64.0	60	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×		
	1,677万色	91.1	85	×		
	256色	75.0	60	×		
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×		
	1,677万色	106.3	85	×	×	×

Windows XPおよびWindows XP Homeでは640×480ドットおよび 256色の表示には設定の変更が必要。

## 省スペース型およびミニタワー型

## 液晶ディスプレイの場合

	本機の表		セレクションン できるディスス	くニューで選択 プレイとの対応		
解像度	表示色	水平走査 周波数	垂直走査 周波数	15型 デジタル 液晶 ディスプレイ	17型 液晶 ディスプレイ	
[ אשר ]		[ KHz ]	[ Hz ]	F15T53-DV	F17R11	
	256色 3	31.5	60	1	1 2	
640×480	65,536色	37.5	75	×	2	
	1,677万色	43.3	85	×	×	
	256色 3	37.9	60	1	1 2	
800×600	65,536色	46.9	75	×	2	
	1,677万色	53.7	85	×	×	
	256色 3	48.4	60	1	1 2	
1,024×768	65,536色	60.0	75	×	2	
	1,677万色	68.7	85	×	×	
	256色 3	64.0	60	×	1 2	
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	2	
	1,677万色	91.1 85		×	×	
	256色 3	75.0	60	×	×	
1,600×1,200	65,536色 4	93.8	75	×	×	
	1,677万色 4	106.3	85	×	×	

- 1 デジタル液晶ディスプレイの垂直走査周波数の設定は、60Hz固定 です。
- 2 アナログ液晶ディスプレイとして使用した場合。
- Windows XPおよびWindows XP Homeでは640×480ドットおよび256色の表示には設定の変更が必要。
- 4 GeForce2 MXを選択しない省スペース型の場合は表示不可。

## CRTディスプレイの場合

	本機の表	長示能力	セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応			
解像度	表示色	水平走査 周波数	垂直走査 周波数	15型 CRTディ スプレイ	17型 CRTディ スプレイ	19型 CRTディ スプレイ
[ドット]		[ KHz ]	[ Hz ]	DV15A5	FE791SB	FE991SB
	256色 1	31.5	60			
640×480 1	65,536色	37.5	75			
	1,677万色	43.3	85			
	256色 1	37.9	60			
800×600	65,536色	46.9	75			
	1,677万色	53.7	85			
	256色 1	48.4	60			
1,024×768	65,536色	60.0	75			
	1,677万色	68.7	85			
	256色 1	64.0	60	×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×		
	1,677万色	91.1	85	×		
	256色 1	75.0	60	×		
1,600×1,200	65,536色 2	93.8	75	×		
	1,677万色 2	106.3	85	×	×	×

1 Windows XPでは640×480ドットおよび256色の表示には設定の 変更が必要。

2 GeForce2 MXを選択しない省スペース型の場合は表示不可。

## Mate R スリムタワー型

本機の表示能力				セレクションメニューで選択できる ディスプレイとの対応					
解像度	表示色	水平走査 周波数	垂直走査 周波数	15型 液晶ディ スプレイ	15型 液晶ディ スプレイ	17型 液晶ディ スプレイ	15型 CRT ディス プレイ	17型 CRT ディス プレイ	19型 CRT ディス プレイ
נרשרן		[KHz]	[Hz]	F15T52	LCD1560V	LCD1760VM	DV15A5	FE791SB	FE991SB
	256色 1	31.5	60						
640×480 1	65,536色	37.5	75						
	1,677万色	43.3	85	×	×	×			
	256色 1	37.9	60						
800×600	65,536色	46.9	75						
	1,677万色	53.7	85	×	×	×			
	256色 1	48.4	60						
1,024×768	65,536色	60.0	75						
	1,677万色	68.7	85	×	×	×			
	2.56色 1	64.0	60	×	×		×		
1,280×1,024	65,536色	80.0	75	×	×	2	×		
	1,677万色	91.1	85	×	×	×	×		
	256色 1	75.0	60	×	×	×	×		
1,600×1,200	65,536色	93.8	75	×	×	×	×		
	1,677万色	106.3	85	×	×	×	×	×	×

1 Windows XPでは640×480ドットおよび256色の表示には設定の 変更が必要。

2 アナログ液晶ディスプレイとして使用した場合。

# ディスプレイの省電力機能

本機は、VESA(Video Electronics Standards Association)で定義され ているディスプレイの省電力モード(DPMS:Display Power Management System)に対応しています。

工場出荷時の設定は、次のようになっており、マウスやキーボードからの 入力がない状態が続くと、ディスプレイの省電力モードになります。

本体	Windows XP、Windows XP Home、 Windows 2000の場合	Windows の場合	Мe
工場出荷時の設定値	約20分 1	約15分	2

- 1 約20分後にはスタンバイ状態に移行して、ディスプレイの省電力機 能が働き続けます。
- 2 約20分後には休止状態に移行して、ディスプレイの省電力機能が働き続けます。

参照 ディスプレイの省電力機能 Windowsのヘルプ

- チェック // ・ 省電力機能に対応していないディスプレイでは、本機能は使用できませ
   ん。ディスプレイに損傷を与える可能性がありますので、ご利用の前に
   ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
  - 「電源の管理のプロパティ」の「モニタの電源を切る」と「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブの「スクリーンセーバー」の「待ち時間」
     に同じ時間を設定しないでください。

メモ

本機はエネルギースターに対応していますので、省エネルギーのため工 場出荷時にスタンバイ状態になるように設定してあります。

## デュアルディスプレイ機能について



- ・水平スパン …2台のディスプレイに横方向の表示をする
- ・ 垂直スパン …2台のディスプレイに縦方向の表示をする
- チェック? ・デュアルディスプレイ機能利用時(クローン、水平スパン、垂直スパン)に、 プライマリモニタとセカンダリモニタで個別の解像度・色数の設定はでき ません。
  - ・ネイティブ解像度(1024×768あるいは1280×1024)以下の解像度を選 択した場合は、ビデオカード側でフルスクリーンに拡大(スケーリング)表 示されます。
  - OpenGL 3DをAPIとするアプリケーションはデュアルディスプレイ機能 は利用できません。
  - ・動画の再生中やアプリケーション使用中に表示モードを変更しないでく ださい。いったん終了してから表示モードを変更してください。
  - デュアルディスプレイ機能利用時に、スタンバイ状態で一方のディスプレイの接続を取り外さないでください。スタンバイからの復帰後に正常に表示されません。

デュアルディスプレイ機能の使い方

デュアルディスプレイ機能のモードの変更方法については、次の手順で 行ってください。

チェック? 2台目のディスプレイを接続した後、はじめて起動したときに「NVIDIA nViewセットアップウィザードへようこそ!」と表示されます。以降、説明を読みながら必要な機能の選択を行ってください。

#### Windows XP**の場合**

- **1** 「スタート」ボタン 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックし、「画面」をクリック
- 3 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリック
- **4** 「nView」タブをクリックし、「標準」、「クローン」、「水平スパン」、 「垂直スパン」から切り替えたいモードをクリック
- 5 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック
- 6 「OK」ボタンをクリック

以上で選択したモードで表示されます。

Windows 2000の場合

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」をダブルクリック
- 3 「設定」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリック
- **4** 「nView」タブをクリックし、「標準」、「クローン」、「水平スパン」、 「垂直スパン」から切り替えたいモードをクリック
- 5 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリック
- **6** 「OK」ボタンをクリック

以上で選択したモードが表示されます。
### 表示可能なディスプレイの組み合わせについて

### 表示可能なディスプレイの組み合わせについては次の表のとおりです。

	15型液晶ディ	15型液晶ディ	17型液晶ディ	17型液晶ディ
	スプレイ	スプレイ	スプレイ	スプレイ
	F15T52	LCD1560V	LCD1760VM	F17R11
15型液晶ディスプレイ				
F15T52				
15型液晶ディスプレイ				
LCD1560V				
17型液晶ディスプレイ				
LCD1760VM				
17型液晶ディスプレイ				
F17R11				

アナログ液晶ディスプレイとして使用した場合

# 別売のディスプレイを使う

本機には別売のディスプレイも接続することができます。別売のディス プレイを使用する場合は、「表示能力(P.101)を参考に、適合するディス プレイを使用してください。

インタフェースは、機種によって異なり次のように4通りに分けられま すので、ご利用の機種にあわせて、適合するディスプレイを使用してく ださい。

参照 / 接続するDVIコネクタ 「本体背面 (P.33)

#### メモ

DVI(Digital Visual Interface)は、新しく作成された業界標準仕様のビ デオ信号用インタフェースです。DVI-I(Integrated)は、デジタルビデオ 信号とアナログビデオ信号を、同じコネクタ内に収容し、出力することが できます。DVI-D(Digital)は、デジタル信号のみ出力することができま す。

GeForce4 MX440を選択したスリムタワー型 デジタルインタフェースの場合は、DVIに準拠したデジタル液晶ディ スプレイを別売のLFH-DVI分岐ケーブル(デュアルディスプレイ機能 用)に接続してください。アナログインタフェースの場合は、アナログ インタフェースのディスプレイを本機に添付のLFH-アナログ分岐 ケーブル(デュアルディスプレイ機能用)に接続してください。 GeForce2 MXを選択した省スペース型、ミニタワー型(MA20V/M) の場合

デジタルインタフェースの場合は、DVIに準拠したデジタル液晶ディ スプレイを、DVI-Iコネクタに接続してください。

アナログインタフェースの場合は、本機に添付のDVI-アナログ変換 ケーブルを利用し、アナログインタフェースのディスプレイを、DVI-I コネクタに接続してください。

GeForce2 MXを選択しない省スペース型、ミニタワー型(MA30Y/M、 MA25V/M )の場合

デジタルインタフェースの場合は、DVIに準拠したデジタル液晶ディ スプレイを、DVI-Dコネクタに接続してください。

アナログインタフェースの場合は、アナログインタフェースのディス プレイをアナログRGBコネクタに接続してください。

GeForce4 MX440を選択しないスリムタワー型、Mate R スリムタ ワー型

アナログインタフェースのディスプレイを、アナログRGBコネクタに 接続してください。

×E

本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレ イに何も表示されないことがあります。

# ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密 な装置です。振動や衝撃などが加わらないよう、取り扱いにご注意くださ い。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生する こともありますが、軽い障害であればエラーチェックプログラムを使っ て修復できる場合があります。また、大切なデータを保護するため、定期 的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

# 使用上の注意

# <u>∧</u>注意

 ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。
 温度、湿度条件を守ってください。
 温度10 ~35 、湿度20%~80%(ただし結露しないこと)
 ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
 電源が入っているときは、本体に衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
 電源を切るときは、Windowsの「スタート」ボタンから電源を切ってください。正常な 終了手順に従わずに電源を切ると、ディスク上のデータがこわれてしまうことがあります。
 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られ ています。毎分数千回転するディスク面と情報を読み取る磁気ヘッドの 間は、わずかしか空いていません。このため、データを読み書きしている ことを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を 与えても故障の原因となることがあります。

また、温度、湿度条件を守れない環境での使用が続いた場合は、ハード ディスクドライブ内部で使用している部品から極微量なガスが発生しま す。このガスは、磁気ヘッドに付着したり、二次的にマイクロダストを発 生し、磁気ヘッドの姿勢を乱すなど故障の原因となることがあります。 ハードディスクドライブが故障すると、大切なデータが一瞬にして使え なくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作 れないような大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおす すめします。本機にはハードディスクをバックアップするアプリケー ション「Masty Data Backup」が添付されています。なお、Mate R スリ ムタワー型には添付されていません。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の
「Masty Data Backup」

また、その他にも本機にはハードディスクドライブをバックアップする 次のアプリケーションが添付されています。

- XP [2000] ハードディスクドライブのバックアップ、および障害時の復元
  - 参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「StandbyDisk」
- XP 2000 ハードディスクドライブ内のパーティションのバックアップ、および 障害時の復元
  - 参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「StandbyDisk Solo」
- XP 2000 RAID1(ミラーリング)による2つのハードディスクドライブに同じ内 容を書き込んでパックアップをとる
  - 参照「ハードディスクドライブ(IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合)」 (P.122) Mate/Mate R 電子マニュアルの「FastCheckモニタリングユー ティリティ」について」

アプリケーションで作成したデータは、アプリケーションによっては自動的に保存場所が決められている場合がありますので、バックアップを とる場合はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。 不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。パソコンは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、エラーチェックを実行すると、「不良セクタ」ま たば、スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セク タ、スキップセクタを使わないように予防されていたことを表しており、 異常ではありません。なお、「不良セクタ」またば、スキップセクタ」が表示 された場合でも、「全ディスク領域」またば、全ディスク容量」のバイト数 が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけ ます。

内蔵ハードディスク	正常値
30Gバイト	30,000,000,000バイト以上
60Gバイト	60,000,000,000バイト以上
80Gバイト	80,000,000,000バイト以上

表の正常値は、領域を分割しない場合の値です。

### メモ

ハードディスクの記憶容量は、1M/T + =1,000,000/T +、1G/T + = 1,000,000,000/T + で計算したときのM、G/T + 値を示してあります。 OSによっては、1M/T + =1,048,576/T + でM/T + 値を、1G/T + =1,073,741,824/T + でG/T + 値を計算していますので、この値より も小さな値で表示されます。

ハードディスクドライブの動作音について

ハードディスクドライブの動作中、本体から小さな音がする場合があり ますが、異常ではありません。 ドライブ番号の割り当て(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」またば「ドライブ 文字」といいます。 工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。 なお、領域を変更する場合は、システム管理者などディスクの管理に詳し いユーザの元で行ってください。

 チェック!! 「ディスクの管理」ではドライブ番号の割り当てられていない領域が存在しますが、不用意に削除しないでください。これは再セットアップする場合に必要な「再セットアップ領域」であるため、ドライブ番号を割り当てていません。この領域の削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 PART2 付録」をご覧ください。

参照 ディスクの管理 Windowsのヘルプ

ドライブ番号はモデルによって異なり、2通りあります。

増設ハードディスクドライブが搭載されていない場合および増設ハー ドディスクドライブ(StandbyDiskあり)が搭載の場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、10GB、NTFS)
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、NTFS)
Eドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with
	DVD-ROMドライブまたはDVD-RAM/R/RWドライブ 注

注 CD-R/RW with DVD-ROMドライブはスリムタワー型および省ス ペース型で選択できます。DVD-RAM/R/RWドライブはミニタワー 型(Windows XPの場合のみ)で選択できます。

### 増設ハードディスクドライブが搭載されている場合(StandbyDiskあ りを除く)

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、10GB、NTFS)
Dドライブ	増設ハードディスクドライブ
	(プライマリスレーブ、第1パーティション、全ディスク領域、NTFS)
Eドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、NTFS)
Fドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with
	DVD-ROMドライブまたはDVD-RAM/R/RWドライブ 注

注 CD-R/RW with DVD-ROM ドライブはスリムタワー型および省ス ペース型で選択できます。DVD-RAM/R/RW ドライブはミニタワー 型(Windows XPの場合のみ)で選択できます。

# ドライブ番号の割り当て(Windows 2000の場合)

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」またば「ドライブ 文字」といいます。 工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。 なお、領域を変更する場合は、システム管理者などディスクの管理に詳し いユーザの元で行ってください。

- チェック??「ディスクの管理」ではドライブ番号の割り当てられていない領域が存在しますが、不用意に削除しないでください。これは再セットアップする場合に必要な「再セットアップ領域」であるため、ドライブ番号を割り当てていません。この領域の削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 PART2 付録」をご覧ください。
  - 参照 ディスクの管理 Windowsのヘルプ

ドライブ番号はモデルによって異なり、2通りあります。

### 増設ハードディスクドライブが搭載されていない場合および増設ハー ドディスクドライブ(StandbyDiskあり)が搭載の場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)注1
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、NTFS)
Eドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW
	with DVD-ROMドライブ 注2

注1 ミニタワー型の場合は10GBになります。

### 増設ハードディスクドライブが搭載されている場合(StandbyDiskあ りを除く)

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)注1
Dドライブ	増設ハードディスクドライブ
	(プライマリスレーブ、第1パーティション、全ディスク領域、NTFS)
Eドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、NTFS)
Fドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW
	with DVD-ROMドライブ 注2

注1 ミニタワー型の場合は10GBになります。

注2 CD-R/RW with DVD-ROMドライブはスリムタワー型および省ス ペース型で選択できます。

**注**2 CD-R/RW with DVD-ROM **ドライブはスリムタワー型および省ス** ペース型で選択できます。

# ドライブ番号の割り当て(Windows Meの場合)

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ 呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」または「ドライブ 文字」といいます。 工場出荷時に割り当てられているドライブ番号は次の通りです。 なお、領域を変更するには、FDISKコマンドを使用します。FDISKコマン ドについては『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。 ドライブ番号はモデルによって異なり、2通りあります。

ジチェック パ ドライブ番号の割り当てられていない領域が存在しますが、不用意に削除しないでください。これは再セットアップする場合に必要な「再セットアップ領域」であるため、ドライブ番号を割り当てていません。
 この領域の削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 PART2
 付録」をご覧ください。

増設ハー	ドデ	ィスク	ドライ	ブナ	が搭載されてし	ハない場合	⋛
------	----	-----	-----	----	---------	-------	---

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)
Dドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)
Eドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW
	with DVD-ROMドライブ 注

注 CD-R/RW with DVD-ROM ドライブは省スペース型で選択でき ます。

### 増設ハードディスクドライブが搭載されている場合

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第1パーティション、4GB、FAT32)
Dドライブ	増設ハードディスクドライブ
	(プライマリスレーブ、第1パーティション、全ディスク領域、FAT32)
Eドライブ	ハードディスクドライブ
	(プライマリマスタ、第2パーティション、残りすべての領域、
	FAT32)
Fドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW
	with DVD-ROMドライブ 注

注 CD-R/RW with DVD-ROM ドライブは省スペース型で選択でき ます。

# エラーチェックおよびスキャンディスクの操作手順

Windows XPおよびWindows XP Homeの場合

- **1** 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- **2** エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」「プロパティ」をクリック
- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」ボタンをクリック
- 6 「チェックディスクオプション」を選択する

### メモ

「ファイルシステムエラーチェックを自動的に修復する」にチェックを付けると、ディスクチェック中に発見したエラーを自動的に修復します。 「不良セクタをスキャンし、回復する」にチェックを付けると、ディスクの 表面検査を行い、不良セクタを検出したときは使用しないようにします。

# 7 「開始」ボタンをクリック

ジチェック // 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないこと
 を確認してください。

Windows 2000の場合

- **1** デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリック
- **2** エラーチェックするハードディスクのアイコンをクリック
- 3 「ファイル」「プロパティ」をクリック
- 4 「ツール」タブをクリック
- 5 「チェックする」ボタンをクリック
- 6 「チェックディスクのオプション」を選択する
- メモ

「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」にチェックを付けると、 ディスクチェック中に発見したエラーを自動的に修復します。「不良なセ クタをスキャンし、回復する」にチェックを付けると、ディスクの表面検 査を行い、不良セクタを検出したときは使用しないようにします。

7 「開始」ボタンをクリック

父チェック // 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーがないこと
 を確認してください。

Windows Meの場合

スキャンディスクを使用すると、ハードディスクのファイルやフォルダ にデータエラーがないかチェックできます。

Windows が起動している場合(通常の場合)

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」「スキャンディスク」をクリック
- 2 エラーをチェックするドライブを選択する

- 3 「チェック方法」で「標準」を選択する
- 4 「エラーを自動的に修復」をクリックしてチェックを付ける
- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 「結果レポート」が表示されたらレポートを読み、エラーが発見されなかった場合は、「閉じる」ボタンをクリック エラーが発見された場合は、画面の指示に従ってください。
- 7 もう一度 閉じる ボタンをクリック

Windowsが起動できなかった場合(異常があった場合)

- 1 本体の電源を入れる
- 2 すぐにフロッピーディスクドライブに Windows Me起動 ディスク」をセットする 「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示され ます。
- 3 「Start computer with CD-ROM support.」を選択して、 【Enter】を押す しばらくすると「キーボードのタイプを判定します。」と表示されます。
- 4 【半角/全角】を押す
- 5 コマンドプロンプトから次のように入力する scandisk [ドライブ名:]【Enter】
- 6 エラーが発生した場合は、ファイルに変換する」等を選択して修復する
- 7 「クラスタスキャンを実行しますか?」のメッセージが表示 されたら、矢印キーで「いいえ」を選択し、【Enter】を押す
- 8 【X】を押してスキャンディスクを終了する

# ダチェック!

ことを確認してください。 メンテナンスウィザードを利用すると、定期的にスキャンディスクを起動 することができます。メンテナンスウィザードの起動方法は次の通りです。 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」 「メンテナンスウィザード」をクリック スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は再

定期的にスキャンディスクを起動して、ハードディスク上にエラーがない

スキャンティスクの結果、システムに重人な同題が発見されに場合は特 セットアップが必要になります。その場合は『活用ガイド 再セットアッ プ編』をご覧ください。

×E

「Windows Me起動ディスク」は、「スタート」ボタン 「設定」「コント ロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」で「起動ディスク」タ ブの「ディスクの作成」ボタンをクリックして作成します。

# ハードディスクドライブ(IDE-RAID ボードを搭載したモデルの場合)

### 使用上の注意

ハードディスクドライブを使用するにあたっての基本的な注意について は、「ハードディスクドライブ」「使用上の注意(P.111)を参照してくださ い。

バックアップについて

本機は、2つのハードディスクドライブに常に同じデータを保持すること によってデータ保護を行いますが、システムファイル自体に問題がある 場合はバックアップした他方のハードディスクドライブからもWindows を立ち上げることができなくなります。そのため、重要なデータファイル については、添付の「Masty Data Backup」などによって、CD-R、CD-RW、 またはサーバなどにバックアップを取ることをお勧めします。

参照 パックアップ 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と 削除/追加」の「Masty Data Backup」、Windowsのヘルプ

不良セクタ、スキップセクタについて

スキップセクタについては、スキャンディスクやデフラグでファイルを 正常に戻した内容もバックアップされますので、RAIDを意識することな くご利用いただけます。

- ジチェック
  // IDE-RAIDボードを搭載した本機では、ハードディスクパスワード機能は利用できません。
  - 参照 ハードディスクパスワード機能「PART2 システム設定(スリムタワー型 の場合)」「Securityの設定(P.201)、「PART4 システム設定(ミニタワー型 の場合)」「Securityの設定(P.246)

本機は、ミラーリング(RAID 1)機能によって、2台のハードディスクドラ イブに同じ内容のデータをリアルタイムで書き込みます。そのため、片方 のハードディスクドライブが故障しても、データはもう一方のハード ディスクドライブにも書き込まれるため、作業を継続して行うことがで き、ハードディスクドライブ内の情報を安全に保存できます。

### メモ

RAID について

RAID (Redundant Arrays of Independent (Inexpensive ) Disks ) Lt. ハードディスクドライブなどの記憶装置を複数台組み合わせて同じ容量 のデータを安全に保存したり、読み書きの速度を高速化するための技術 です。RAIDには、以下の種類(RAIDレベル)があります。

- RAID ((ストライピング))
- ・ RAID 1(ミラーリング)
- RAID 0+1(RAID 10) ミラー化ストライピング)
- ・ RAID 5(分散パリティ付ストライピング)

# ドライブ番号の割り当て

IDE-RAIDボードを搭載したモデルの工場出荷時に割り当てられている ドライブ番号は次のとおりです。

- グを行う2台のハードディスクドライブを1台として見せているため、ディ スクアレイの構築)RAID用の増設ハードディスクドライブ(第2チャネル のマスタ)の内容およびパーティション構成は、エクスプローラでは見れ ません。エクスプローラからは、ハードディスクドライブ(第1チャネルの) マスタ)のみ確認できます。
  - ・「ディスクの管理」ではドライブ番号の割り当てられていない領域が存在 しますが、不用意に削除しないでください。これは再セットアップする場 合に必要な「再セットアップ領域」であるため、ドライブ番号を割り当てて いません。

この領域の削除方法については、『活用ガイド 再セットアップ編』 「PART2 付録」をご覧ください。

### Windows XP**の場合**

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ(第1チャネルのマスタ、第一パーティショ
	ン、10GB、NTFS)
Dドライブ	ハードディスクドライブ(第1チャネルのマスタ、第二パーティショ
	ン、残り全ての領域、NTFS )
Eドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with
	DVD-ROMドライプまたはDVD-RAM/R/RWドライブ 注

注 CD-R/RW with DVD-ROMドライブはスリムタワー型で選択でき ます。DVD-RAM/R/RWドライブはミニタワー型で選択できます。

Windows 2000**の場合** 

ドライブ番号	ドライブの種類
Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
Cドライブ	ハードディスクドライブ(第1チャネルのマスタ、第一パーティショ
	ン、4GB、FAT32)注1
Dドライブ	ハードディスクドライブ( 第1チャネルのマスタ、第二パーティショ
	ン、残り全ての領域、NTFS)
Eドライブ	CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW
	with DVD-ROMドライブ 注2

- 注1 ミニタワー型の場合は10GBになります。
- 注2 CD-R/RW with DVD-ROM ドライブはスリムタワー型で選択できます。

# FastCheckモニタリングユーティリティについて

「FastCheckモニタリングユーティリティ」は、ディスクアレイの管理を するユーティリティです。工場出荷時では、スタートアップ時に起動する ように設定されています。通常は、タスクトレイのアイコンとして表示さ れます。ディスクアレイの管理をする場合は、このアイコンをダブルク リックしてください。なお、「FastCheckモニタリングユーティリティ」の 詳細については、「Mate/Mate R 電子マニュアル」の「FastCheckモニタ リングユーティリティ」について」をご覧ください。

 ◆チェック // 本機を起動中は、「FastCheckモニタリングユーティリティ」を終了しないで ください。

ディスクアレイの同期化

ミラーリングしている2つのハードディスクドライブの内容が完全に一 致するかを確認するため、定期的にディスクアレイの同期化(シンクロナ イズ)を行う必要があります。ディスクアレイの同期化は、ハードディス クドライブの物理的エラーを自動的にチェックしますので、できるだけ 定期的に行ってください。

- 1 「FastCheckモニタリングユーティリティ」の「アレイ」タブを クリック
- 2 「アレイ」アイコンをクリック
- 3 マウスの右ボタンをクリック
- 4 「シンクロナイズ」をクリック
- **5** 「はい」ボタンをクリック ディスクアレイの同期化が始まります。

 ジチェック ??
 ・ 同期化中は FastCheck モニタリングユーティリティ」を終了させないで ください。

ディスクアレイの同期化で不一致が検出された場合、以降の作業に悪影響がありますので本機の信頼性を確保するために、必要なデータのバックアップを行った後、できるだけ早く再セットアップを行ってください。

参照・再セットアップ前の注意「再セットアップ前の注意事項(P.127)
 ・再セットアップ 『活用ガイド 再セットアップ編』

エラーメッセージが出た場合

ハードディスクドライブが故障した旨のエラーメッセージが出た場合 は、できるだけ早く新しいハードディスクドライブと交換した後、ディス クアレイを再構築(リビルド)する必要があります。ハードディスクドラ イブの交換およびディスクアレイの再構築については、ご購入元、または NECにご相談ください。なお、事前に「FastCheckモニタリングユーティ リティ」の「アレイ」タブで、故障したハードディスクドライブのチャネル 番号を確認しておいてください。

⚠注意

本機はHot Swap(電源が入ったまま故障したハードディスクドライブを 交換)に対応していませんので、ハードディスクドライブを交換する場合 は、本体の電源をいったん切り、電源プラグをコンセントから抜く必要が あります。電源を入れたままハードディスクドライブの交換を行うと、本 機が故障したり、感電の原因になりますので十分ご注意ください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

### 再セットアップ前の注意事項

IDE-RAIDボードを搭載したモデルにおいて再セットアップを行う場合、 Windowsの再セットアップ作業に入る前に以下の作業を完了しておい てください。

参照 再セットアップ 『活用ガイド 再セットアップ編』

IDE-RAIDのArray情報が正しく設定されている場合

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面の後で、 「Press <Ctrl-F> to enter FastBuild (tm)Utility..」と表示 されたら【Ctrl】+【F】を押す 正常にFastBuild (tm)Utilityが起動すると、以下の「Main Menu」

が表示されます。

[Main Menu]
Auto Setup ••••••••••••••••••••••••••••••••••••
View Drive Assignments•••••••[2]
Define Array •••••••••••••••••••••••••••••••••••
Delete Array •••••••[4]
Rebuild Array••••••[5]
Controller Configuration ••••••••••••••••••••••••••••••••••••

2 「Define Array」の【3】を押す

以下のように表示されていることを確認()してください。 「RAID Mode」が「Mirror」「Status」が「Functional」となってい

RAID Mode が Minor Y Status が Functional となうてい ることを確認する

(Capacity(MB):ハードディスク容量)

[ Define Array Menu ]				
Array No	RAID Mode	Total Drv	Capacity <b>(</b> MI	B) Status
<b>*</b> Array 1	Mirror	2	XXXXX	Functional
Array 2				
Array 3				
Array 4				

⚠注意

1で「Define Array」の【3】を押し、以下のメッセージが表示された場合は、ハードディスクドライブが故障している可能性があります。ご購入元、またはNECに相談ください。

No Disk is found. Please check the Power and data cable connection. <Press Any Key to Exit>

- 参照 / NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』
  - 3 【ESC 】を押して Main Menu 」に戻る

### 4 再び[ESC]を押す 以下のメッセージが表示されます。

System is going to REBOOT! Are You Sure? Y Reboot / Any Key Back

5 「Reboot」の【Y】を押す 再起動します。

以上の確認を行うことができれば、正常なミラーリング設定がされてい ますので、以降継続して再セットアップを行ってください。再セットアッ プについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

RAIDのArray情報が正しく設定されていない場合

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面の後で、 「Press <Ctrl-F> to enter FastBuild (tm)Utility..」と表示 されたら【Ctrl】+【F】を押す 正常にFastBuild (tm)Utility が起動すると、「Main Menu」が表示 されます。

# 2 「Define Array」の【3】を押す

以下のように表示されていることを確認()してください。 「RAID Mode」が Mirror」「Status」が Functional」となってい ることを確認する (Capacity(MB):ハードディスク容量)

3 「Status」が Functional 表示とは異なる場合()は、以下の操作を行う

「Status」が Critical / ---- 」と表示されている

	[ Defir	ne Array Men	u ]	
Array No	RAID Mode	Total Drv	Capacity <b>(</b> MB	) Status
<b>*</b> Array 1	Mirror	2	xxxxx	Critical
Array 2				
Array 3				
Array 4				

- 4 【ESC 】を押して Main Menu 」に戻る
- 5 「Main Menu」で「Delete Array」の【4】を押す 「Delete Array Menu」でArray情報が無い場合には、4へ進んでく ださい。

[ Define Array Menu ]				
Array No	RAID Mode	Total Drv	Capacity( MB)	) Status
* Array 1	Mirror	2	XXXXX	Critical
Array 2				
Array 3				
Array 4				

6

# Array**情報を削除するために**[Delete]を押す 以下のメッセージが表示されます。

Are you sure you want to delete this array? Press Ctrl-Y to Delete, or others to abort...

# 7 「Save 」の【Ctrl 】+【Y】を押す

父チェック
 夕 オーマック
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で
 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 で

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水 か

 水

**8** 【ESC 】を押す

[Main Menu]へ戻ります。

# **9**「Auto Setup」の【1】を押す

[Auto Setup Options Menu]が表示されます。

Auto Setup OptionsHerrorOptimize Array for:PerformanceTypical Application to use:DESKTOP

10 「Optimize Array for」の設定を【 】を押して「Security」へ 変更(ミラーリングの設定)する

# 11 【Ctrl】+【Y】を押す 以下のメッセージが表示されます。



- Duplicated to another?(Yes/No)
- Y Create and Duplicate
- N Create Only
- 12 「Create and Duplicate 」の【Y】を押す 以下のメッセージが表示されます。

Please Select A Source Disk				
Channel:ID	Drive Model	Capacity( MB )		
1:xx	XXXX	XXXX		
2:xx	xxxx	XXXX		

# **13** 【Enter】を押す 以下のメッセージが表示されます。

Start to duplicate the image... Do you want to continue? (Yes / No) Y - Continue. N - Abort

# 14 【Y】を押す 以下のメッセージが表示されます。

Please	e Wait \	While Dup	licating T	he Image
				xx % Completed

### ジチェック! Duplicate作業には30~60分程度かかります。Duplicate終了後、以下のメッ セージが表示されます。

Disk duplication completed... Any Key to Reboot the System!

# **15** 何かキーを押す 再起動します。

<u>
小注意</u>
以上の操作を行い、「Status」の「Critical」の表示が変わらない場合
は、ハードディスクドライブが故障している可能性があります。ご購入元、
またはNECに相談ください。

参照 NEC のお問い合わせ先 『NEC PC あんしんサポートガイド』

以降継続して再セットアップを行ってください。再セットアップについ ては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

# フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに 書き込んで保存することができます。

# 使用上の注意

- フロッピーディスクに飲み物等をこぼした場合は使用しないでくだ さい。
- フロッピーディスクは、利用するときにだけフロッピーディスクドラ イブに入れてください。フロッピーディスクをフロッピーディスクド ライブに入れたままで使用すると、ほこりによって読み書きエラーの 原因になります。
- ・同じフロッピーディスクを連続して使用しないでください。連続使用 によりフロッピーディスクに劣化が生じ、読み書きエラーの原因にな ります。

### ⚠注意

フロッピーディスクドライブのディスクイジェクトボタンは、指の腹の部分で押してください。爪の先でディスクイジェクトボタンを押しますと、爪と指先の間にディスクイジェクトボタン が入ってケガの原因となります。

# 使用できるフロッピーディスク

フロッピーディスクには2DD、2HDの2種類の媒体があります。本機で読み書きまたはフォーマットできるフロッピーディスクは次の通りです。

フロッピーディ 容量		Windows Windows	XPおよび XP Home	Window	s 2000	Windo	ws Me
		読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット
200	640KB	×	×	×	×	×	×
	720KB		×				
200	1.2MB		×				×
	1.44MB						

チェック!! 1.2MBの媒体を利用する場合()3モード対応フロッピーディスクドライ パのセットアップが必要です。セットアップ方法については、「補足説明」に記 載されています。以下の方法でご覧ください。

Windows XPおよびWindows XP Homeの場合

・「スタート」ボタン「すべてのプログラム」「補足説明」

- Windows 2000およびWindows Meの場合
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」「補足説明」
- Windows Meの場合、1.2MBのフロッピーディスクは、Windowsの「ディ スクのコピー」でバックアップがとれません。また、「ディスクのコピー」の コピー先で使用するフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディス クと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してくだ さい。(これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です。)
- Windows Meの場合、未フォーマットのフロッピーディスクをフォーマットする場合、ディスクのチェックに時間がかかる場合があります。 フォーマット開始後にフロッピーディスクドライブのアクセスランプがつきっぱなしになった場合は、しばらくするとフォーマット処理が開始されます。
- Windows Meの場合、マイコンピュータまたはエクスプローラで2DDの フロッピーディスクを720KBでフォーマットした場合、フロッピーディス クをドライブから一度取り出し、再度入れてからご使用ください。フォー マット後、フロッピーディスクを取り出さずにファイルを書き込もうとす ると、フォーマットが正常に終了していてもエラーが発生する場合があり ます。クイックフォーマットされたフロッピーディスクにはこの手順は必 要ありません。
- 参照 フロッピーディスクのフォーマット Windowsのヘルプ

#### メモ

- 1.2MBは、1.2MB(512バイト/セクタ)と1.25MB(1,024バイト/セクタ)の2種類があります。1.25MB(1,024バイト/セクタ)は、PC-9800シリーズでサポートしているモードです。
- ・未使用のフロッピーディスクをフォーマットするには多少時間がかか ります。

# フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないように するために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになってい ます。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み 出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要 なデータの入っているフロッピーディスクは、ライトプロテクトしてお く習慣をつけましょう。ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く 方にスライドさせると、書き込み禁止になります。

書き込み可能 き込み禁止

# CD-ROM**ドライブ**

CD-ROM**はデータやプログラムが書き込まれている**CD**です。本機では音** 楽用のCDを再生することもできます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号 面(文字などが印刷されていない面)に傷を付けないようにしてください。

### <u>小警告</u>

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音 量によって耳に障害を被ったリスピーカがこわれたりする原因となります。またCD-R、 CD-RWがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

## 再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-ROMドライプでは、ISO9660に準拠したCD、または下記の表中のCDを再生・表示することができます。CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。

- ジチェック ?? ・ コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Disc の規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDについては、音楽の再生や音楽 CDの作成ができないことがあります。
  - 本機で音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの 規格準拠を示す(CD ロゴ」アークの入ったディスクを使用してください。
  - CD(Compact Disc) 規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができな かったり、音質が低下したりすることがあります。

CD**のサイズ** 

木体の刑	CDのサイズ		
本体の空	8センチ	12センチ	
スリムタワー型、省スペース型			
ミニタワー型、Mate R スリムタワー型			

Mate R スリムタワー型で8センチCDを利用する場合は、横置きにしてください。

ミニタワー型を横置きにして8センチCDを利用する場合は、5インチベ イ用内蔵機器の向きを変更してください。詳しくは『ハードウェア拡張 ガイド』をご覧ください。

### CD**の規格**

規格	概要
CD-DA( CD-Digital Audio )	一般の音楽CD。プログラム用のCD-ROMでは
	音楽トラックの部分のこと
CD-ROM	パソコンで利用するための情報が入ったCD
(CD-Read Only Memory)	
CD-ROM XA	CD-Iで提案されたマルチメディアシステムを、
(CD-ROM eXtended Architecture)	既存のパーソナルコンピュータでも実現できる
	ようにした規格
ビデオCD	MPEG1という圧縮方式を用いて記録された動
	画用のCD-ROM
CD Extra( CD PLUS )	一般の音楽CDに文字や画像などを記録できる
	ようにした規格
Photo CD マルチセッション	写真を最大100枚まで記録できる追記型のCD
CD-R( CD-Recordable )	書き込みができるCD。マルチセッション対応の
	場合は、複数回に分けての書き込みも可能
CD-RW(CD-ReWritable)	書き込み/書き換えができるCD

# CD-ROMドライブ使用上の注意(スリムタワー型、省スペース型の場合)

CD-ROM ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れ によって、データが正しく読み取れなくなるおそれがあります。

# 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、次の手順で強制 的に取り出すことができます。

スリムタワー型、省スペース型の場合

▼チェック // 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

# 1 細くて丈夫な針金を用意する

ペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 非常時ディスク取り出し穴(直径約1.5mm)に針金を差し込み、 強く押す

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む



ミニタワー型、Mate R スリムタワー型の場合

▼チェック // 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

 細くて丈夫な針金を用意する ペーパークリップを伸ばしたものが使えます。



2 非常時ディスク取り出し穴(直径約1.5mm)に針金を差し込み、
 強く押す

ディスクトレイが15mmほど飛び出します。



3 ディスクトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



4 ディスクトレイをドライブの中に押し込む



# CD-R/RW**ドライブ**

CD-R/RW(Compact Disc Recordable/Compact Disc ReWritable) ドライブが標準で搭載されているモデルでは、CD-ROMドライブの機能 に加えてCD-RおよびCD-RWへ大量のデータやプログラムを記録する ことができます。なお、CDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印刷 されていない面)に傷を付けないようにしてください。

### ⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RWは、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。 大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。また、 CD-R、CD-RWがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

# 再生できるCDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-R/RWドライブでは、ISO9660に準拠したCDを再生・表示することができます。CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。再生できるCDについては、「CD-ROMドライブ」「再生できるCDの種類(P.139)の表をご覧ください。

# CD-RおよびCD-RWへの書き込みとCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているCD-R/RWドライブは、CD-ROMドライブの機能 に加えて、CD-Rへの書き込み機能とCD-RWへの書き換え機能を加えた ものです。

### 使用できるディスク

CD-RおよびCD-RWについては、Orange Book Part2(CD-R)およびPart3 (CD-RW)に準拠したディスクをご利用ください。また、本機ではOrange Book Part3 Volume2と 拠したHigh-Speed CD-RWディスクへの書 き込み/書き換えおよびフォーマット(4倍速/8倍速/10倍速に対応)もで きます。また、本機では記憶容量650MBおよび700MBのCD-RおよびCD-RWが利用できます。

書き込みできる容量は、使用するソフトウェアによって異なります。詳し くは、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/ 追加」の「RecordNow DX」または、DLA」をご覧ください。 使用するソフトウェア

本機のCD-R/RWドライブを使って、CD-Rへの書き込み、CD-RWへの フォーマット/書き換えをするには、「RecordNow DX」または「DLA」が 必要です。使用方法については『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリ ケーションの概要と削除/追加」の「RecordNow DX」または「DLA」をご 覧ください。

- チェック : 書き込みに失敗したCD-Rは再生できなくなります。書き損じによるCD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
  - データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどう かを確認してください。
  - 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他のCD-ROMドライブ、CD-Rドライブ、CD-R/RWドライブでは使用できない場 合がありますのでご注意ください。
  - ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCDなどの複製や改変を 行う場合、オリジナルのCD等について著作権を保有していなかったり、著 作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法または利用許 諾条件に違反することがあります。複製等の際は、オリジナルのCD-ROM などの利用許諾条件や複製等に関する注意事項に従ってください。
  - ・コピーコントロールCDなどでは音楽CDを作成できない場合があります。

## CD-R/RW ドライブ使用上の注意(スリムタワー型、省スペース型の場合)

CD-R/RW ドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れ によって、データが正しく読み取れなくなるおそれがあります。

### 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」 常時のディスクの取り出し(P.136)をご覧ください。

# CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ

CD-R/RW with DVD-ROM ドライブが標準で搭載されているモデルで は、CD-R/RW ドライブの機能に加えて、DVD(Digital Versatile Disc) に記録された音楽や動画映像を再生することもできます。なお、CDや DVDにラベルを貼ったり、信号面(文字などが印刷されていない面)に傷 を付けないようにしてください。

### ▲ 警告

CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-Rは、対応プレーヤ以外では絶対に 使用しないでください、大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたり する原因となります。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合 があります。

# 再生できるCDおよびDVDの種類

本機に標準で内蔵されているCD-R/RW with DVD-ROM ドライブでは、 ISO9660に準拠したCDおよびDVDを再生・表示することができます。な お、再生できるCDについては「CD-ROMドライブ」「再生できるCDの種 類(P.131)の表をご覧ください。本機のCD-R/RW with DVD-ROMドラ イブを使ってDVDを再生するには、「WinDVD 4」をご利用ください。使 用方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの 概要と削除/追加 of WinDVD 4 をご覧ください。



- Support GeForce2 MXを選択しない省スペース型でDVD-Videoを見る場合は、 解像度を1024 × 768 ドット以下、リフレッシュレートを75Hz以下に設定 してください。
  - ・ CD TEXTのテキストデータ部は、読み出せません。
  - ・本機では、日本国内向け、リージョン2)および地域制限なし、リージョン0 (ゼロ))以外のリージョンコードのDVDは再生できません。

DVD**のサイズ** 

DVDのサイズ		
8センチ 12センチ		

Sチェック// 市販の12cmCDへの変換アダプタを使用すると、ドライブやCDを破損する 恐れがありますので、使用しないでください。

### DVD**の容量**

 DVDの容量			
DVD-5	DVD-9	DVD-10	DVD-18
片面一層	片面二層	両面一層	両面二層
(4.7GB)	(8.5GB)	(9.4GB)	(17GB)

#### DVD**の規格**

規格	概要
DVD-ROM	パソコンで利用するための情報が入った
(DVD-Read Only Memory)	DVD
DVD-Video	MPEG2という圧縮方式を用いて記録され
	た動画用のDVD-ROM
DVD-Audio	音楽用のDVD-ROM。CD-DAよりも広いレ
	ンジで音声が収録されています。
DVD-R	書き込みができるDVD
(DVD-Recordable)	
DVD-RW(DVD-ReWritable)	書き込み/書き換えができるDVD

専用のドライブとライティングソフトウェアがなければ書き込みはで きません。

# CD-RおよびCD-RWへの書き込みとCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているCD-R/RW with DVD-ROMドライブは、CD-R/ RWドライブの機能に加えてDVD-ROMの再生機能を加えたものです。使 用できるCD-R、CD-RWおよびソフトウェアについては、「CD-R/RWドラ イブ」「CD-RおよびCD-RWへの書き込みとCD-RWのフォーマット」 (P.135)をご覧ください。また、本機ではOrange Book Part3 Volume2 に準拠したHigh-Speed CD-RWディスクへの書き込み/書き換えおよび フォーマット(4倍速/8倍速/10倍速に対応)もできます。また、本機では 記憶容量650MBおよび700MBのCD-RおよびCD-RWが利用できます。な お、コピーコントロールCDなどでは、音楽CDを作成できない場合があり ます。

# CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ使用上の注意

CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ内のレンズには触れないでくださ い。指紋などの汚れによって、データが正しく読み取れなくなるおそれが あります。

# 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ」非 常時のディスクの取り出し(P.136)をご覧ください。

# DVD-RAM/R/RW **ドライブ**

DVD-RAM/R/RW**ドライブが標準で搭載されているモデルでは、**CD-R/ RW with DVD-ROM**ドライブの機能に加えて、**DVD-R(DVD-Recordable), DVD-RW(DVD-ReWritable)およびDVD-RAM(DVD-Randam Access Memory)へ大量のデータやプログラムを記録する ことができます。なお、CDやDVDにラベルを貼ったり、信号面(文字など が印刷されていない面)に傷を付けないようにしてください。

### ⚠警告

CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAMは、対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったりスピーカがこわれたりする原因となります。また、ディスクがこわれて書き込むことができなくなる場合があります。

# 再生できるCDおよびDVDの種類

本機に標準で内蔵されているDVD-RAM/R/RWドライブでは、ISO9660 に準拠したCDおよびDVDを再生・表示することができます。なお、再生 できるCDについては「CD-ROMドライブ」「再生できるCDの種類(P.91) の表をご覧ください。本機のDVD-RAM/R/RWドライブを使ってDVDを 再生するには、「WinDVD 4」をご利用ください。使用方法については、『活 用ガイド ソフトウェア編』『アプリケーションの概要と削除/追加」の 「WinDVD 4」をご覧ください。



・ 本機では、日本国内向け(リージョン2)および地域制限なし(リージョン0
 (ゼロ))以外のリージョンコードのDVDは再生できません。

DVD-ROMのサイズ

DVD-ROMのサイズ		
8センチ	12センチ	

 ジチェック // 市販の12cmCDへの変換アダプタを使用すると、ドライブやCDを破損する 恐れがありますので、使用しないでください。
#### DVD**の容量**

DVDの容量				
DVD-5 DVD-9 DVD-10 DVD				
片面一層片面二層		両面一層	両面二層	
(4.7GB)	(8.5GB)	(9.4GB)	(17GB)	

#### DVD**の規格**

規格	概要		
DVD-ROM	パソコンで利用するための情報が入った		
(DVD-Read Only Memory)	DVD		
DVD-Video	MPEG2という圧縮方式を用いて記録され		
	た動画用のDVD-ROM		
DVD-Audio	音楽用のDVD-ROM。CD-DAよりも広いレ		
	ンジで音声が収録されています。		
DVD-R( For General )	書き込みができるDVD。コピープロテクショ		
(DVD-Recordable)	ン機能を持っています。		
DVD-RW(DVD-ReWritable)	書き込み/書き換えができるDVD		
DVD-RAM	書き込み/書き換えができるDVD		
	一般のDVDプレーヤでは再生できません。		

## CD-RおよびCD-RWへの書き込みとCD-RWのフォーマット

本機に内蔵されているDVD-RAM/R/RWドライブは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブの機能に加えてDVD-R、DVD-RWおよびDVD-RAM への書き込み/書き換えおよびフォーマット機能を加えたものです。使用 できるCD-R、CD-RWおよびソフトウェアについては、「CD-R/RWドライ ブ」「CD-RおよびCD-RWへの書き込みとCD-RWのフォーマット」 (P.139)をご覧ください。また、本機ではOrange Book Part3 Volume2 に準拠したHigh-Speed CD-RWディスクへの書き込み/書き換えおよび フォーマット(4倍速/8倍速に対応)もできます。また、本機では記憶容量 650MBおよび700MBのCD-RおよびCD-RWが利用できます。

## DVD-R、DVD-RWおよびDVD-RAMへの書き込みとDVD-RWおよびDVD-RAMのフォーマット

本機に内蔵されているDVD-RAM/R/RWドライブは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブの機能に加えて、DVD-Rへの書き込み機能とDVD-RWおよびDVD-RAMの書き換え機能を加えたものです。

#### 使用できるディスク

DVD-Rについては、DVDレコーダブルディスク規格DVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクをお使いください。DVD-RWについては、 DVDリライタブルディスク規格DVD-RW for General Ver.1.1に準拠 したディスクをお使いください。DVD-RAMについては、DVD-RAM規格 Ver.2.1に準拠したディスクをお使いください。

DVD-R、DVD-RWおよびDVD-RAMの書き込み/書き換え/フォーマットについて

	面・層	片面	片面	両面	両面
DVDの種類	記録容量	2.6GB	4.7GB	5.2GB	9.4GB
	サイズ	1 2 0 m m	1 2 0 m m	1 2 0 m m	1 2 0 m m
	読み込み				
DVD-R	書き込み				
DVD-RW	読み込み				
	書き込み/書き換え				
	フォーマット				
	読み込み				
DVD-RAM	書き込み/書き換え	×		×	
	フォーマット	×		×	

- - ・ 本機はDVD-Rの2倍速の書き込みに対応しています。
  - DVD-RおよびDVD-RAMディスクには、著作権法の定めにより私的録画 補償金およびコピープロテクション(CPRM:Copy Protection for Recordable Media)が含まれたディスク(for Video)と含まれないディス ク(for Data)がありますので、ご購入の際ご注意ください。
  - ・ 両面9.4GB DVD-RAMディスクは4.7GB/面ごとの記録・再生、両面5.2GB DVD-RAMディスクは2.8GB/面ごとの再生、両面2.8GB DVD-RAMディ スクは1.4GB/面ごとの再生が可能です。同時に両面への記録・再生はでき ませんので、ディスクを取り出して、裏返しにし、装着してから使用してく ださい。
  - ・ DVD-RAMには、カートリッジなし、TYPE1(ディスク取り出し不可)、 TYPE2(ディスク取り出し可能)、TYPE4(ディスク取り出し可能)があり ます。本機ではカートリッジなし、あるいはカートリッジからディスクを 取り出せるタイプ(TYPE2、TYPE4)のみ扱えるので、ご購入の際ご注意く ださい。
  - 本機にて、DVD+RおよびDVD+RWディスクによる再生、書き込みおよび フォーマットはできませんのでご注意ください。

#### 使用するソフトウェア

本機のDVD-RAM/R/RWドライブを使って、DVD-Rへの書き込み、DVD-RWおよびDVD-RAMへのフォーマット/書き換えをするには、 「RecordNow DX」または「DLA」が必要です。使用方法については『活用 ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の 「RecordNow DX」または「DLA」をご覧ください。



- Sfrund + 書き込みに失敗したDVD-Rは再生できなくなります。書き損じによる DVD-Rの補償はできませんのでご注意ください。
  - データの書き込みを行った後に、データが正しく書き込まれているかどう。 か確認してください。
  - 作成したメディアのフォーマット形式や装置の種類などにより、他の DVD-ROM F > 17, DVD-R/RW F > 17, DVD-RAM/R/RW F > 17 などでは使用できない場合がありますのでご注意ください。
  - ・お客様がオリジナルのCD-ROM、音楽CD、ビデオCD、DVD-Videoなどの 複製や改変を行う場合、オリジナルのCD等について著作権を保有してい なかったり、著作権者から複製・改変の許諾を得ていない場合は、著作権法 または利用許諾条件に違反することがあります。複製等の際は、オリジナ ルのCD-ROMなどの利用許諾条件や複製等に関する注意事項に従ってく ださい。

## 非常時のディスクの取り出し

停電やソフトウェアの異常動作などにより、ディスクトレイイジェクト ボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、強制的に取り出 すことができます。

非常時のディスクの取り出し手順については、「CD-ROMドライブ「非 常時のディスクの取り出し(P.136)をご覧ください。

## サウンド機能

本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。 音声は内蔵スピーカまたは外部のオーディオ機器などから再生すること ができます。

- 参照 / ボリュームコントロールのヘルプ
- ▼チェック/ ミニタワー型およびMate R スリムタワー型をご利用の場合、再生には外 付けスピーカが必要です。

#### 音量の調節

音量の調節には内蔵スピーカボリューム(スリムタワー型および省ス ペース型の場合 はたば ボリュームコントロール による方法がありま す。どちらかの方法で音量が最小になっていると、音が出ないので注意し てください。

- チェック // ・メニューバーの「オプション」「トーン調整」を選択すると「トーン」ボタ ンがボリュームコントロール画面に追加表示され、それをクリックすると トーン調整画面で調整が行えますが、スリムタワー型、ミニタワー型、 Mate R スリムタワー型では、そのほかの調整のみ調整可能です。その場 合、高音、低音の調整はできません。
  - Windows XPおよびWindows XP Homeの場合、「オプション」「トー ン調整」が選択できない場合、以下の手順を行ってください。
    - 「オプション」「プロパティ」をクリック
    - 「音量の調節」で「再生」をクリック
    - 「表示するコントロール」で全てのチェックをつける
    - 「OK ボタンをクリック
  - Windows Meの場合、本機のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、 CD-R/RW with DVD-ROM ドライブの工場出荷時の設定は、デジタル設 定になっています。

次のような場合には、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A (Windows Me)の「音がおかしい…」をご覧の上、デジタル設定をアナロ グ設定に変更してください。

- ・ CD-ROM ドライブのヘッドホン端子から音楽CDを聞く場合
- ・ ダイレクトサウンドを使用するアプリケーションを利用中に音が飛ぶ 場合
- ・録音方法をデジタル設定からアナログ設定に変更する場合

# LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード

LANボードおよびLAN用モジュラーコネクタを搭載したモデルでは、 LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続することにより、離れた所に あるコンピュータ同士で、データやプログラムなどを共有したり、メッ セージを送受信することができます。ここではLANへの接続手順を簡単 に説明します。

## LAN( ローカルエリアネットワーク )への接続

#### 接続前の確認

LANボードおよびLAN用モジュラーコネクタを搭載したモデルでは、 1000BASE-T、100BASE-TXまたは10BASE-Tに対応したLANに接続す ることができます。本機のLAN用モジュラーコネクタとLANボードとの 組み合わせは次の表のとおりです。

本機をネットワークに接続するには、別売のマルチポートリピータ(ハ ブ)と、別売の専用ケーブル(リンクケーブル)が必要です。100BASE-TX で使用するためには、カテゴリ5のリンクケーブルが必要です。 1000BASE-Tで使用するには、カテゴリ5以上(エンハンスドカテゴリ5以 上を推奨)のリンクケーブルが必要です。

参照 PART5 付録 【機能一覧 (P.278)

		スリム	省スペー	31	Mate R
		タワー型	ス型	タワー型	スリムタワー型
LAN用モジュラーコネクタ	1000BASE-T/100BASE-				
(マザーボード組み込み)	TX/10BASE-T( ギガビットイーサ				
	ネット対応 )				
	100BASE-TX/10BASE-T				
LANボード	1000BASE-T/100BASE-				
(PCIスロット挿入)	TX/10BASE-T( ギガビットイーサ				
	ネット対応 )	$\bigvee$	$\checkmark$	$\bigvee$	
	100BASE-TX/10BASE-T				

…標準装備 …選択可能

接続方法

リンクケーブルの接続方法については『はじめにお読みください』をご覧 ください。

- ♥ チェック//・本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク 管理者の指示に従って、リンクケーブルの接続を行ってください。
  - ・
     搭載されているLANボードは、
     接続先の機器との通信速度(1000Mbps/
     100Mbps/10Mbps を自動検出して最適な通信モードで接続するオート ネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了 したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接 続先の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、 「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わ せるか、接続先の機器の通信モードを半二重(Half Duplex )に設定してく ださい。

## LANの設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方 法を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については、Windows XP のヘルプの中にあるネットワーク関連の項目をご覧ください。

ネットワークソフトウェアをセットアップする

- ✓チェック// 工場出荷時は、ネットワークプロトコル TCP/IP が設定されています。
  - 1 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
  - 2 「その他」の「マイ ネットワーク」をクリック
  - 3 「ネットワークタスク」の「ネットワーク接続を表示する」をク リック
  - Δ 「ローカル エリア接続 をクリック
- ▼チェック! スリムタワー型、Mate R スリムタワー型でLANボードを選択した場合は、 接続アイコンの右側に表示されるアダプタ名を参考にして、設定したいネッ トワーク接続を選択してください。それぞれのアダプタ名は以下のようにな ります。

スリムタワー型の場合

- 内蔵LANアダプタ(ギガビットイーサネット対応) Intel(R)82540EM Based Network Connection
- ・ 増設LANボード(OFF state Alert 対応) Intel(R)PRO/100 S Desktop Adapter

Mate R スリムタワー型の場合

- ・内蔵LANアダプタ Intel(R)PRO/100 VE Network Connection
- ・ 増設LANボード(ギガビットイーサネット対応) Intel(R)PRO/1000 MT Desktop Adapter
- 5 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック ここで「サービス」、「プロトコル」、「クライアント」をセットアップ できます。必要な構成要素を追加してください。

#### ХŦ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワー クの管理者に相談してください。

- **6** 「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリック
- 7 「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック
- 8 「コンピュータ名」タブをクリック
- 9 「変更」ボタンをクリック
- **10** 「コンピュータ名の変更」の画面が表示されたら、「コンピュータ 名」、「ワークグループ」または「ドメイン(Windows XPの場 合)に必要な情報を入力する

#### メモ

コンピュータ名などがわからない場合は、システム管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- **11** 「OK」ボタンをクリック
- 12 再起動を促すメッセージが表示された場合はコンピュータを 再起動する

以上で完了です。

## LANの設定(Windows 2000の場合)

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方 法を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については、Windows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』のネットワーク関連の項目を ご覧ください。

ネットワークソフトウェアをセットアップする

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリック
- 3 「ローカルエリア接続」をクリック

スリムタワー型の場合

- 内蔵LANアダプタ(ギガビットイーサネット対応)
   Intel(R)82540EM Based Network Connection
- ・増設LANボード(OFF state Alert 対応) Intel(R)PRO/100 S Desktop Adapter

Mate R スリムタワー型の場合

- ・内蔵LANアダプタ Intel(R)PRO/100 VE Network Connection
- ・ 増設LANボード(ギガビットイーサネット対応) Intel(R)PRO/1000 MT Desktop Adapter

4 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリック ここで「サービス」、「プロトコル」、「クライアント」をセットアップ できます。必要な構成要素を追加してください。

メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システムの管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- 5 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 6 「システム」をダブルクリック
- 7 「ネットワークID」タブをクリック
- 8 「プロパティ」ボタンをクリック
- 9 「コンピュータ名」、「ワークグループ」またばドメイン」に、必要な情報を入力する

メモ

コンピュータ名などがわからない場合は、システム管理者またはネット ワークの管理者に相談してください。

- 10 入力を終えたら「OK」ボタンをクリック
- 11 再起動を促すメッセージが表示された場合はコンピュータを 再起動する

以上で完了です。

## LANの設定(Windows Meの場合)

ここではLANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法 を簡単に説明します。必要な構成要素の詳細については次の通りです。 Windows Meの「ヘルプとサポート」の中にあるオンライン形式の 「Windows Millennium Editionを使う」の中にある「Windows Meスター トガイド」のネットワーク関連の項目をご覧ください。

ネットワークのセットアップ

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「ネットワークの設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 4 必要な機能を追加する

ネットワーク上で自分のコンピュータを認識させる

- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「ネットワーク設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 4 共有サービスを追加する
- 5 「識別情報」タブをクリック
- 6 「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」 に、必要な情報を入力する
- **7** 「OK」ボタンをクリック
- ◆チェック // 設定方法がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に
   相談してください。

## ネットワークパスワードの変更

ここではWindows MeがLAN(ローカルエリアネットワーク)に接続す るためのパスワードの変更方法について説明します。ご利用になってい るネットワークの設定によって、操作方法が異なりますのでネットワー クの設定にあった説明を参照してください。

「Microsoftネットワーククライアント」で「Windows NTのドメイン にログオンする」を設定している場合で、Windowsパスワードと同一 のパスワードを使用する場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 2 「パスワード」をダブルクリック
- 3 「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windowsパスワードの変更」ボタンをクリック
- 4 「Windowsパスワードの変更」の画面で「Microsoftネット ワーク」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 5 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパ スワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、 「OK」ボタンをクリック
- 6 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

「Microsoftネットワーククライアント」で「Windows NTのドメイン にログオンする」を設定している場合で、Windowsパスワードと異な るパスワードを使用する場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 2 「パスワード」をダブルクリック

- **3** 「パスワードの変更」タブをクリックし、「ほかのパスワードの変更」ボタンをクリック
- 4 「パスワードの選択」の画面で Microsoftネットワーク」を選 択し、「変更」ボタンをクリック
- 5 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパ スワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、 「OK」ボタンをクリック
- 6 「パスワードが変更されました」と表示されたら、「OK」ボタ ンをクリック

「Microsoftネットワーククライアント」で Windows NTのドメイン にログオンする」を設定していない場合

- 1 「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をク リック
- 2 「パスワード」をダブルクリック
- 3 「パスワードの変更」タブをクリックし、「Windowsパスワードの変更」ボタンをクリック
- 4 「パスワードの変更」の画面で「古いパスワード」、「新しいパ スワード」、「新しいパスワードの確認入力」を正しく入力し、 「OK」ボタンをクリック
- 5 「Windowsパスワードが変更されました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリック

## リモートパワーオン機能の設定 Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については次の表の通 りです。

リモートパワーオン	スリムタワー型	省スペース型	ミニタワー型	Mate Rスリムタワー型
電源が切れている状態から電				,
源を入れる				×
スタンバイ状態から復帰する				
休止状態から復帰する				

- ◆チェック??
   ・前回のシステム終了(電源を切る、スタンバイ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、リモートパワーオンを行うことはできません。一度電源スイッチを押してWindows XPを起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。
  - ・ スリムタワー型、Mate R スリムタワー型でLANボードを選択した場合、 これらの選択したLANボードではリモートパワーオン機能は使用できません。これらのLANボードが属するネットワークセグメントにはマジック パケット(リモートパワーオンのための特殊なパケット)を送信しないようにしてください。

電源が切れている状態からのリモートパワーオンの設定

電源が切れている状態からのリモートパワーオン機能を利用するには、 以下の設定を行ってください。

 チェック ? ミニタワー型では、電源が切れている状態からのリモートパワーオンを有効 にすると、同時に休止状態からのリモートパワーオンも有効になります。どち らか一方のみを有効にすることはできません。

## 1 電源を入れる

- 2 「NEC」のロゴ画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す
- 3 以下の設定を行う

## スリムタワー型の場合

メニューバーの「Advanced」「Power Management Setup」「Resume On PME#」を「Enabled」に設定する

#### 省スペース型の場合

メニューバーの「Advanced」「On PME」を「Power On」に 設定する

#### ミニタワー型の場合

メニューバーの「Advanced」「Advanced Chipset Control」「Wake On LAN/PME」を「Enabled」に設定する

- **4** 【F10】を押す
- 5 以下の設定を行う

スリムタワー型の場合

【Enter】を押す

省スペース型およびミニタワー型の場合

「Yes」を選択し、【Enter】を押す

以上で完了です。

 ダチェック
 ダーに応じて、「PART2 システム設定、スリムタワー型の場合)」「Security の設定」の「Password Check (P.201)」「PART3 システム設定(省スペー ス型の場合)」「Securityの設定」の「Network Boot Setting (P.222)の設 定も行ってください。(省スペース型でPS/2接続のキーボード/マウスを使用 している場合、工場出荷時の状態では電源が切れている状態から電源を入れ るとキーボード/マウスがロックされます)

> スタンバイ状態および休止状態からリモートパワーオンで復帰する場合 は、次の「スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオンの設 定」へ進んでください。

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオンの設定

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオン機能を利用す るには、以下の設定を行ってください。なお、設定の際は管理者 (Administrator権限を持ったユーザ)が行ってください。

スリムタワー型、省スペース型、Mate R スリムタワー型の場合

- **1** 「スタート」ボタン 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック

- 3 「システム」をクリック
- 4 「ハードウェア」タブをクリック
- 5 「デバイス マネージャ」ボタンをクリック
- 6 「ネットワークアダプタ」をダブルクリック
- 7 以下のアダプタを選択し、ダブルクリック

#### スリムタワー型の場合 Intel(R)82540EM Based Network Connection

省スペース型の場合 Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter

Mate R スリムタワー型の場合 Intel(R)PRO/100 VE Network Connection

- 8 「電源の管理」タブをクリック
- 9 次の3つの項目にチェックを付ける
  - ・「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオ フにできるようにする」
  - 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できる ようにする」
  - 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンパイ状態を解 除できるようにする」
- 10 省スペース型のみ、「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を 行う
  - プロパティの「Link-up Wakeup」を選択し、値を「Disable」に設 定する
  - ・プロパティの「PME Enable」を選択し、値を「Enable」に設定する
  - プロパティの Wakeup Frame 」を選択し、値を Disable 」に設定 する
- **11** 「OK」ボタンをクリック

- 12 「デバイスマネージャ」を閉じる
- **13** 「OK」ボタンをクリック

以上で完了です。

 チェック!! 省スペース型でPS/2接続のキーボード/マウスを使用している場合、工場出 荷時の状態ではスタンバイまたは休止状態からの復帰後にキーボード/マウ スがロックされます。必要に応じて「PART3 システム設定(省スペース型の 場合)」「Securityの設定」の「Network Boot Setting (P.222)の設定を行っ てください。

ミニタワー型の場合

- ・スタンバイ状態からのリモートパワーオンの設定
- **1** 「スタート」ボタン 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリック
- **3** 「システム」をクリック
- 4 「ハードウェア」タブをクリック
- 5 「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 6 「ネットワークアダプタ」をダブルクリック
- 7 以下のアダプタを選択し、ダブルクリック Intel(R) 82540EM Based Network Connection
- 8 「電源の管理」タブをクリック
- 9 次の3つの項目にチェックを付ける
  - ・「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオ フにできるようにする」
  - 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できる ようにする」
  - 「管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンパイ状態を解 除できるようにする」

- **10** 「OK」ボタンをクリック
- 11 「デバイスマネージャ」を閉じる
- **12** 「OK」ボタンをクリック

以上で完了です。

- ・ 休止状態からのリモートパワーオンの設定
- チェック / ミニタワー型では、休止状態からのリモートパワーオンを有効にすると、同時に電源が切れている状態からのリモートパワーオンも有効になります。どちらか一方のみを有効にすることはできません。
  - 1 電源を入れる
  - 2 「NEC」のロゴ画面で、「Press <F2> to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら【F2】を押す
  - 3 メニューバーの「Advanced」「Advanced Chipset Control」「Wake On LAN/PME」を「Enabled」に設定する
  - **4** 【F10】を押す
  - 5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す

以上で完了です。

## リモートパワ-オン機能の設定(Windows 2000の場合)

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については次の表の通 りです。

リモートパワーオン	スリムタワー型	省スペース型	ミニタワー型	Mate Rスリムタワー型
電源が切れている状態から電				
源を入れる				×
スタンバイ状態から復帰する				
休止状態から復帰する				

- ジチェック? ・前回のシステム終了(電源を切る、スタンバイ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、リモートパワーオンを行うことはできません。一度電源スイッチを押してWindows 2000を起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。
  - ・ スリムタワー型、Mate R スリムタワー型でLANボードを選択した場合、 これらの選択したLANボードではリモートパワーオン機能は使用できません。これらのLANボードが属するネットワークセグメントにはマジック パケット(リモートパワーオンのための特殊なパケット)を送信しないようにしてください。

電源が切れている状態からのリモートパワーオンの設定

電源が切れている状態からのリモートパワーオン機能を利用するには、 以下の設定を行ってください。

◆ チェック ?? ミニタワー型では、電源が切れている状態からのリモートパワーオンを有効 にすると、同時に休止状態からのリモートパワーオンも有効になります。どち らか一方のみを有効にすることはできません。

## 1 電源を入れる

- 2 「NEC」のロゴ画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す
- 3 以下の設定を行う

## スリムタワー型の場合

メニューバーの「Advanced」「Power Management Setup」「Resume On PME#」を「Enabled」に設定する

#### 省スペース型の場合

メニューバーの「Advanced」「On PME」を「Power On」に 設定する

#### ミニタワー型の場合

メニューバーの「Advanced」「Advanced Chipset Control」「Wake On LAN/PME」を「Enabled」に設定する

- **4** 【F10】を押す
- 5 以下の設定を行う

スリムタワー型の場合

【Enter】を押す

省スペース型およびミニタワー型の場合

「Yes」を選択し、【Enter】を押す

以上で完了です。

 ジチェック? 必要に応じて、「PART2 システム設定、スリムタワー型の場合)」「Security の設定」の「Password Check (P.201)」「PART3 システム設定(省スペー ス型の場合)」「Securityの設定」の「Network Boot Setting (P.222)の設 定も行ってください。(省スペース型でPS/2接続のキーボード/マウスを使用 している場合、工場出荷時の状態では電源が切れている状態から電源を入れ るとキーボード/マウスがロックされます)

> スタンバイ状態および休止状態からリモートパワーオンで復帰する場合 は、次の「スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオンの設 定」へ進んでください。

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオンの設定

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオン機能を利用す るには、以下の設定を行ってください。なお、設定の際はAdministrator権 限を持ったユーザが行ってください。

◆チェック
?
 本機能を利用するためには、Service Packがインストールされている必要
があります。Service Packを削除した場合は、本機能は利用できません。ま
た、Service Packを再追加することはできませんので、『活用ガイド 再セッ
トアップ編』をご覧になり、再セットアップを行ってください。

スリムタワー型、省スペース型、Mate R スリムタワー型の場合

- 1 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- **3** 「ハードウェア」タブをクリック
- 4 「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 5 「ネットワークアダプタ」をダブルクリック
- 6 以下のアダプタを選択し、ダブルクリック

スリムタワー型の場合 Intel(R)82540EM Based Network Connection

省スペース型の場合 Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter

Mate R スリムタワー型の場合 Intel(R)PRO/100 VE Network Connection

- 7 「電源の管理」タブをクリック
- 8 以下の2つのチェックボックスにチェックを入れる
  - 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」
  - 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオ フにできるようにする」
- 9 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う

スリムタワー型、Mate R スリムタワー型の場合 プロパティの Enable PME 」を選択し、値を No Action 」に設 定する 省スペース型の場合

プロパティの「Wakeup Frame」を選択し、値を「Disable」に設 定する

プロパティの「PME Enable」を選択し、値を「Enable」に設定 する

プロパティの「Link-up Wakeup」を選択し、値を「Disable」に 設定する

- **10** 「OK」ボタンをクリック
- 11 「デバイスマネージャ」を閉じる
- **12** 「OK」ボタンをクリック

以上で完了です。

 チェック!! 省スペース型でPS/2接続のキーボード/マウスを使用している場合、工場出 荷時の状態ではスタンバイおよび休止状態からの復帰後にキーボード/マウ スがロックされます。必要に応じて「PART3 システム設定(省スペース型の 場合)」「Securityの設定」の「Network Boot Setting (P.222)の設定を行っ てください。

#### ミニタワー型の場合

- ・スタンバイ状態からのリモートパワーオンの設定
- 1 「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリック
- 2 「システム」をダブルクリック
- 3 「ハードウェア」タブをクリック
- 4 「デバイスマネージャ」ボタンをクリック
- 5 「ネットワークアダプタ」をダブルクリック
- 6 以下のアダプタを選択し、ダブルクリック Intel(R) 82540EM Based Network Connection

#### 7 「電源の管理」タブをクリック

- 8 次の2つのチェックボックスにチェックを入れる
  - 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」
  - 「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオ フにできるようにする」
- 9 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う
  - プロパティの Enable PME 」を選択し、値を No Action 」に設定 する
- **10** 「OK」ボタンをクリック
- 11 「デバイスマネージャ」を閉じる
- **12** 「OK」ボタンをクリック

以上で完了です。

- ・休止状態からのリモートパワーオンの設定
- チェック パ ミニタワー型では、休止状態からのリモートパワーオンを有効にすると、同時に電源が切れている状態からのリモートパワーオンも有効になります。どちらか一方のみを有効にすることはできません。
  - 1 電源を入れる
  - 2 「NEC」のロゴ画面で、「Press F12 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら【F2】を押す
  - 3 メニューバーの「Advanced」「Advanced Chipset Control」「Wake On LAN/PME」を「Enabled」に設定する
  - **4**【F10】を押す
  - 5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す

以上で完了です。

## リモートパワーオン機能の設定(Windows Meの場合)

本機におけるLANによるリモートパワーオン機能については、次の表の 通りです。

リモートパワーオン	省スペース型	Mate R スリムタワー型
電源が切れている状態から電源を入れる		×
スタンバイ状態から復帰する		
休止状態から復帰する		

◆チェック // ・前回のシステム終了(電源を切る、スタンバイ状態にする、休止状態にする)が正常に行われなかった場合、リモートパワーオンを行うことはできません。一度電源スイッチを押してWindows Meを起動させ、再度、正常な方法でシステム終了を行ってください。

 Mate R スリムタワー型でLANボードを選択した場合、選択したLANボードではリモートパワーオン機能は使用できません。LANボードが属する ネットワークセグメントにはマジックパケット(リモートパワーオンのための特殊なパケット)を送信しないようにしてください。

電源が切れている状態からのリモートパワーオンの設定

省スペース型で、電源が切れている状態からリモートパワーオン機能を 利用するには、以下の設定を行ってください。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴ画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す
- 3 メニューバーの「Advanced」「On PME」を「Power On」に 設定する
- **4** 【F10】を押す
- 5 「Yes」を選択し、【Enter】を押す

以上で完了です。

> スタンバイ状態および休止状態からリモートパワーオンで復帰する場合 は、次の「スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオンの設 定」へ進んでください。

スタンバイ状態および休止状態からのリモートパワーオンの設定

スタンバイ状態および休止状態からリモートパワーオン機能を利用する には、以下の設定を行ってください。

- 1 Windows Meを起動する
- 2 「スタート ボタン 「設定」「コントロールパネル をクリック
- 3 「システム」をダブルクリック
- 4 「デバイスマネージャ」タブの「ネットワークアダプタ」をダブル クリック
- 5 以下のアダプタを選択し、「プロパティ」ボタンをクリック

省スペース型の場合

<sup>r</sup>Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter J

Mate R スリムタワー型の場合

Intel(R)PRO/100 VE Network Connection J

- 6 「電源の管理」タブをクリック
- 7 「節電のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフに できるようにする」のチェックボックスをオンにする
- 8 「コンピュータのスタンバイ解除の管理をこのデバイスで行う」のチェックボックスをオンにする
- **9** 「OK」ボタンをクリック

- **10** 「OK」ボタンをクリック
- 11 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリック
- 12 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から以下のアダプタを選択し、「プロパティ」ボタンを クリック

省スペース型の場合

<sup>r</sup>Accton EN1207D Series PCI Fast Ethernet Adapter J

Mate R スリムタワー型の場合

- <sup>r</sup>Intel(R)PRO/100 VE Network Connection J
- 13 「詳細設定」タブをクリックし、以下の設定を行う

#### 省スペース型の場合

- 「プロパティ」の一覧から「PME Enable」を選択し、「値」を 「Enable」に設定する
- 「プロパティ」の一覧から「Wakeup Frame」を選択し、「値」を 「Disable」に設定する
- 「プロパティ」の一覧から「Link-up Wakeup」を選択し、「値」を 「Disable」に設定する

Mate R スリムタワー型の場合

- 「プロパティ」の一覧から「Enable PME」を選択し、「値」を「No Action」に設定する
- **14** 「OK」ボタンをクリック
- 15 「OK」ボタンをクリック
- 16 Windows Meを再起動する

以上で完了です。

**ジ**チェック!! 省スペース型でPS/2接続のキーボード/マウスを使用している場合、工場出 荷時の状態ではスタンバイまたは休止状態からの復帰後にキーボード/マウ スがロックされます。必要に応じて「PART3 システム設定(省スペース型の 場合)」「Securityの設定」の「Network Boot Setting (P.222)の設定を行っ てください。

## FAX モデムボード

FAXモデムボードが標準で内蔵されているモデルでは、データ通信機能 などを利用できます。また市販の電話機を接続するためのコネクタがつ いています。ATコマンドについては、『ATコマンド』(ここをクリック)を ご覧ください。

## FAX モデムボードについて

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にインストールされている次のデータ通信ソフトウェアを使用する ことにより、パソコン通信などのデータ通信を行うことができます。

・ハイパーターミナル

その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しないことがあります。

FAX通信機能

FAXアプリケーションを使用することにより、本機のデータをダイレクトにFAXに送信できます。また、本機でFAXを受信でき、効率的にFAX送受信をサポートします。

最高56,000bpsまでの各種通信

FAXモデムは、米国CONEXANT SYSTEMS社等提唱のK56flex、および V.90を採用しています。K56flex、およびV.90では、受信時最高56,000bps、 送信時最高33.600bpsのデータ通信が可能です。

**電話回線を利用して、最高**56,000bpsの全二重データ通信と最高 14,400bpsの半二重FAX通信ができます。

K56flexおよびITU-T V.90の最大受信速度56,000bpsは、理論値であり、 加入電話回線での通信速度とは異なります。

## FAX モデムボードを使用するときの注意

#### 適用電話回線について

回線は、電話回線(以降、加入電話回線と呼びます)総合デジタル通信網 (ISDN)ファクシミリ通信網、専用回線に区別することができます。FAX モデムボードは、加入電話回線に適合するように設計され、端末機器の設 計についての認証を受けています。「技術基準等適合認定について(P.8) 加入電話回線以外と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体等を 破損することがあります。

コードレスホンや親子電話、構内回線など、加入電話回線以外の回線をご 使用のときは、正常なデータの送受信ができないことがあります。 FAXモデムボードは、ファクシミリ通信網には対応していません。

送信レベルについての注意

加入電話回線を使用するときは、送信レベルは工場出荷時の設定から変 更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない ときは送信レベルの調整が必要となることがあります。送信レベルの調 整は、認定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられています ので、送信レベルの調整については、NEC 121コンタクトセンターにお 問い合わせください。

NEC 121コンタクトセンターの電話番号等については、添付の『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

通信するときの注意

- 本体にアース線を接続していないときや、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくいことがあります。
- ・FAXモデムボードに接続できる電話機などは2線式のみです。電話機などの種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。 また、接続する電話機などによっては、FAXモデムボードが正常に通信できないことがあります。正常に通信できないときは、次のいずれかの 方法で正常に通信できるようになります。
  - 接続する電話機などにアース接続用の端子があるときは、アース線をつなぐ。
  - 電話機などに別の電話を接続するためのコネクタがあるときは、接続の順番を変える(加入電話回線 = = 電話機 = = 本機のようにする)。
     接続については、電話機などのマニュアルをご確認ください。
  - ・モデムによる通信の際は、電話機などを取り外す。
- 次のような接続を行っているときは、モデムによる通信の前に電話機 などを使用していないことを確認してください。
  - ・FAXモデムボードの電話機用モジュラーコネクタに電話機などを 接続しているとき
  - 市販の分岐コネクタを使用して電話機などと本機とを加入電話回線に接続しているとき
  - パソコン本体と電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機など(コードレスホン、親子電話)が離れているとき

また、モデムで通信中は電話機などを操作しないようにしてください。 電話機などを操作すると、通信が妨害され、切断されることがあります。

- ・電話機用モジュラーコネクタには、他のモデムを接続しないでください。他の外付けモデムなどが、電話機用モジュラーコネクタに接続されているときは取り外してください。
- ・FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダ イヤル信号に合わせた調整が必要です。加入電話回線がトーン式かパ ルス式かわからないときは電話装置メーカや保守業者、第1種通信事業 者(NTTなど)に確認してください。
- データ通信を行うとき、フロー制御はハードウェア(RTS/CTS)工場
   出荷時の設定)に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。
- ・通信中は、電話機用モジュラーコネクタに接続した電話機の受話器を 外さないようにしてください。受話器が外れると、受話器から通信中の 音が聞こえ、通信が中断されることがあります。
- キャッチホンサービスを利用しているときは、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。キャッチホン!!のサービスを利用すれば、モデムによる通信が切れることはありません。キャッチホン!!についてはNTTにご相談ください。
- ・ FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXのときは、相手からの 音声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。
- ・電話局の交換機の種類によっては、14,400bpsでFAXの通信ができないことがあります。この場合は通信速度を9,600bps以下にしてください。
- 海外と直接接続したときは、伝送路の特性のため正常に通信できない
   ことがあります。
- ・ 回線の状態によっては希望の通信速度で通信できないことがあります。

COMポートの設定について

FAXモデムボードが標準で搭載されているモデルのモデムのポート番号は、変更できません。工場出荷時の状態のままご使用ください。

## セキュリティ/マネジメント機能

本機は、システム管理者が効率よく本機をセキュリティ/マネジメントす るための機能を備えています。

## セキュリティ/マネジメント機能の概要

システム管理者が、効率よくパソコンをセキュリティ/マネジメントする ためには、次のような手段・機能を利用することが効率的であるといわれ ています。

- 機密データの漏洩、改ざん防止、コンピュータウィルスの侵入を防ぐため、外部からデータを取り込むフロッピーディスクドライブを使用できないようにする(ロックする)、(1/〇ロック)
- ・メモリやPCIボードなどパソコンのハードウェア構成を変更させない ようにする。(筐体ロック)
- ・システム管理者向けと一般ユーザ向けの利用環境を設定し、使用できる機能を制限する。(CyberAccess)
- システム管理者のパソコンから管理するパソコンの電源、システムを 遠隔操作できる。(リモートパワーオン/オフ機能)
- ・ ソフトウェアのバージョンアップのために、必要なパソコンのハードウェア構成情報(メモリ容量、ハードディスクの空き容量など)、ソフトウェア構成情報を管理する。(Intel® LANDesk® Client Manager 6 (with NEC Extensions))
- ハードウェアに異常が発生したことを一般ユーザやシステム管理者に 通知する。(Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6(with NEC Extensions))

本機には、このような手段・機能を利用するために、次のような機能を備 えています。

## セキュリティ機能

#### [ 習会] ( 皆会) ( 詩一) 指紋認証の利用

参照「PART3 システム設定(省スペース型の場合)」の「Securityの設定(P.220) 別売の指紋認証ユニット(シリアル)(PK-FP002M)を利用することで、本 体の起動時やパスワードの入力を要求されるような場合、かわりに指紋 を照合することで、ユーザーの不正使用やデータの漏洩を防止します。ま た、パスワードを忘れる、パスワードを解読されるといったことを未然に 防ぎます。なお、スリムタワー型およびミニタワー型ではBIOSレベルの 認証(BIOS LOCK)はできません。

参照 指紋認証ユニット(シリアル) PK-FP002M )に添付のマニュアル

ユーザ/スーパーバイザパスワード

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。 BIOSセットアップメニューでそれぞれのパスワードを設定し、 「Password On Boot」を「Enabled」に設定してください。

- ・ 省スペース型を下記の状態で、管理者側のパソコンからリモートパワーオン機能で本機を起動するには、BIOSセットアップメニューの「Security」の「Network Boot Setting」の「BIOS LOCK」を「Disabled」にしなければなりません。
  - スーパバイザパスワード、ユーザパスワードが設定され、BIOSセット アップメニューの「Security」の「Password On Boot」が「Enabled」 に設定されている場合
  - ・本機に指紋認証ユニットが接続され、指紋認証ユニットのBIOS LOCK が設定されている場合
  - パスワードやパスワードの解除の方法を忘れたときのために、事前に各 BIOSの「Securityの設定」および「ハードウェア拡張ガイド」「PART6 付 録」の「ストラップスイッチの設定」を印刷しておくことをおすすめしま す。

1/0**ロック** 

1/Oロックは、外部とのデータ交換の手段である1/Q(フロッピーディス クドライブ、シリアルポート、パラレルポート、USBポートなど)を利用で きないようにする機能です。この機能を利用することで、部外者のデータ アクセスを防止したり、システムに影響を及ぼすアプリケーションをイ ンストールすることを防止することができます。

- ・「PART2 システム設定(スリムタワー型の場合)」Peripheral Setupの 設定」の「I/Oロック(P.199)
  - 「PART3 システム設定(省スペース型の場合)」「Advancedの設定」の
     「I/Oロック(P.216)
  - 「PART4 システム設定(ミニタワー型の場合)」「Peripheral Configurationの設定」の「I/Oロック(P.239)
  - 「PART5 システム設定(Mate R スリムタワー型の場合)」Integrated
     Peripheralsの設定」の「I/Oロック(P.265)
- ③ 省 (当 ) ハードディスクパスワード機能

本機で使用するハードディスクドライブにパスワードを設定することに より、本機以外のパーソナルコンピュータでハードディスクドライブの 不正使用を防止することができます。万一、ハードディスクドライブが盗 難にあって、他のパーソナルコンピュータに設置された場合でも、パス ワードが必要となるため、重要なデータの漏洩を防ぐことができます。 また、IDE-RAIDボードを搭載したモデルでは利用できません。

筐体ロック

筐体ロックを使用することで、本体カバーをロックし、本体のハードウェ ア構成の変更や内蔵機器の盗難防止、パスワードの解除防止に役立てる ことができます。また、ロック付き盗難防止ケーブルを使用することで、 本体の開閉や盗難防止にも役立てることができます。

スリムタワー型の場合

キーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応しており、以下 の別売のオプションを利用することができます。

セキュリティケーブル2(PK-SC/CA02)

#### 省スペース型の場合

1つは南京錠とワイヤーまたはチェーンを利用することができます。も う1つはキーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応してお り、以下の別売のオプションを利用することができます。

・ セキュリティケーブル2(PK-SC/CA02)



ミニタワー型、Mate R スリムタワー型の場合 筐体ロックはキーケーブルロック等のセキュリティワイヤーに対応し ています。「スリムタワー型の場合」をご覧ください。

#### ③会 (新生) シーフカバーオープン検知機能

カバーセンサにより、ルーフカバーの開閉を検知します。開閉が検知され た場合は、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions) により通知されます。メモリ、ハードディスクドライブが盗難されていな いか、スーパバイザパスワード・ユーザパスワードが解除されていない か、データの改ざん、コンピュータウイルスの侵入がないか調査してくだ さい。

- <sup>\*</sup>「Intel LANDesk Client Manager 6( with NEC Extensions )」
   <sup>®</sup>活
   用ガイド ソフトウェア編『アプリケーションの概要と削除/追加」
  - ・スリムタワー型 「PART2 システム設定(スリムタワー型の場合)」 「Hardware Monitor Setupの設定(P.200)
  - ・ 省スペース型 「PART3 システム設定(省スペース型の場合)」 Security
     の設定(P.220)
  - ・ ミニタワー型「PART4 システム設定(ミニタワー型の場合)」Security
     の設定(P.246)

ケーブルストッパ

キーボードなどのケーブルが抜けるのを防止したり、ケーブル接続した 機器の盗難を防止します。

参照/『ハードウェア拡張ガイド』

ウイルス検出・駆除

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うには「Norton AntiVirus」を使用します。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Norton AntiVirus」

クライアントポリシー管理

本機に添付されているCyberAccessを使用することで、使用できるアプ リケーションやシステムに影響を与える動作を制限することができま す。また、別売のCyberAccess Ver3.1により、管理者PCから一括して設 定、変更することができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「CyberAccess」

## マネジメント機能

リモートパワーオン機能(Remote Power On 機能)

LAN(ローカルエリアネットワーク)経由で、離れたところにあるパソコンの電源を入れる機能です。

本体およびLAN ボードがリモートパワーオン機能に対応しているシス テムでは、本体の電源が切れているときも、リモートパワーオン用の専用 コントローラは通電されています。管理パソコンはIntel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)などからのリモートパワー オンのコマンド指示により、パワーオンを指示する特殊なパケットを離 れたところにあるパソコンに送信します。そのパケットを離れたところ にあるパソコン(本機)の専用コントローラが受信すると、専用コント ローラはパワーオン動作を開始します。これにより離れたところにある 管理パソコンから、LAN 接続された本機の電源を入れることができま す。リモートパワーオン機能を利用するためには、次のソフトウェア、設 定、またはNECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」からモ ジュールのダウンロード()が必要になります。

http://nec8.com/

#### スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型の場合

・管理パソコン

別売の「DMITOOL Ver8.2 (pcAnywhere™ 9.2 EX コンプリート 版付)」など

- ・本機
  - Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6(with NEC Extentions) (標準添付)
  - ・リモートパワーオンの設定

Mate R スリムタワー型の場合

・管理パソコン 別売の「ESMPRO(R)/ClientManager」など

・本機

- ・別売の ESMPRO(R)/ClientManager 」など
- ・リモートパワーオンの設定

 ◆チェック! 本機に添付の「Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extentions)」を使用する場合、管理パソコンには「DMITOOL Ver8.2 (pcAnywhere™ 9.2 EX コンプリート版付)」が必要となり、次のモジュー ルが必要となります。 次のアドレスから「サポート情報」「ダウンロード(ビジネスPC)」「カテゴ リ検索」の順にクリックし、「カテゴリ」に「運用管理関連」を指定して、ダウン ロードしてください。

http://nec8.com/

- 「DMITOOL Ver8.x(コンプリート版付)用Mate向けアップデートモジュール(2002秋~)」
- 参照・「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」『活 用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」
  - ・ リモートパワーオンの設定「LAN(ローカルエリアネットワーク)ボード「リモートパワーオン機能の設定(Windows XPおよびWindows XP Homeの場合)(P.158)「リモートパワーオン機能の設定(Windows 2000の場合)(P.163)「リモートパワーオン機能の設定(Windows Me の場合)(P.168)「PART2 システム設定(スリムタワー型の場合)」 「Power Management Setupの設定(P.194)「PART3 システム設 定(省スペース型の場合)」「Advancedの設定(P.213)「PART4 システム設定(ミニタワー型の場合)」「Advanced Chipset Controlの設定」 (P.241)

ネットワークブート機能(PXE搭載)

OSのセットアップ、BIOSフラッシュ(BIOS ROMの書き換え)、BIOS設 定変更の操作を管理者側のパソコンから複数のクライアントPCに対し て一括でリモート操作することができます。PXE(Preboot eXecution Environment)に準拠した運用管理ソフトウェアが必要です。

- - 参照「PART2 システム設定(スリムタワー型の場合)」Advanced Chipset Setupの設定(P.192)
#### リモートコントロール/ファイル配信

本機のデータやシステムファイルなどのバックアップ、ファイル転送、ア プリケーションのインストール、アプリケーションの実行などの操作 ()を離れたところにあるシステム管理者のマシンから、実施すること ができます。Windows 2000の場合は、本機およびシステム管理者のマシ ンにそれぞれpcAnywhere(Symantec社製)が必要です。Windows Meの 場合、本機添付のpcAnywhere<sup>™</sup> 9.2 EX(Mate R スリムタワー型を除 く)とシステム管理者のマシンにpcAnywhere(Symantec社製)が必要です。 アプリケーションによっては、できないものがあります。

クライアントモニタリング

Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6(with NEC Extensions)により、 離れたところにあるパソコンから本機の構成情報を知ることができま す。Mate R スリムタワー型で利用する場合は、別売のESMPRO(R)/ ClientManagerが必要です。

参照
『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の
「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

#### 資産管理

本機のメモリ容量、PCIスロットの使用状況などのハードウェア構成 およびインストールされているソフトウェアについての情報が得られ ます。また、離れたところにあるマシンから、本機の情報を知ることが できます。

[郄스] OFF state Alert II機能

本機の電源が切れている状態での筐体の開閉、CPU/LANケーブル抜け 等の異常を検出し、LANで接続された管理者側パソコンに通知します。ま た、オペレーティングシステムがハングアップした場合、LANで接続され た管理者側パソコンに通知し、管理者側パソコンからリモートで電源を 切ったり、再起動させることができます。なお、この機能を使用する場合、 管理者側パソコンに別売のDMITOOL Ver8.2(pcAnywhere™ 9.2 EX コンプリート版付)、およびNECの企業向けパソコン関連総合サイト 「NEC 8番街」のサイトからダウンロード()、インストールする必要が あります。

OFF state Alert IIに対応したLANを選択した場合に利用できます。 MA17X/Bでは利用できません。

http://nec8.com/

「サポート情報」「ダウンロード(ビジネスPC)」「カテゴリ検索」の 順にクリックし、「カテゴリ」に「運用管理関連」を指定して、以下を参照 してください。

「DMITOOL Ver8.x(コンプリート版付)用Mate向けアップデートモ ジュール(2002秋~)」

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

#### 信頼性機能

翻窗影 StandbyDisk

- XP 2000 ハードディスクドライズ プライマリマスタ )の内容を増設ハードディス クドライズ プライマリスレーブ )に自動的にバックアップします。ハー ドディスクドライブの障害発生時に増設ハードディスクドライブに最終 バックアップしたときの状態に復元できます。増設ハードディスクドラ イズ StandbyDiskあり )を搭載したモデルでご利用になれます。
  - 参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「StandbyDisk」
- 중방수 R지지 Standby Disk Solo
- (Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(スタンパイ・エリア)として同パーティション内に確保し、自動的に使用領域をバックアップします。稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンパイ・エリアからシステムを起動しシステムを復旧することが可能です。 ハードディスクドライブ(StandbyDisk Soloあり)を搭載したモデルでご利用になれます。
  - 参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「StandbyDisk Solo」

- XP 2000 2つのハードディスクドライブに同じ内容のデータをリアルタイムで書き込みます。常に同じデータを2つのハードディスクドライブに保持することによってデータを保護しますので、一方のハードディスクドライブには、他方のハードディスクドライブで作業を継続することができます。IDE-RAIDボードを搭載したモデルでご利用になれます。また、ハードディスクパスワード機能は利用できません。
  - 参照「ハードディスクドライブ(IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合)」 (P.122) Mate/Mate R 電子マニュアル「FastCheckモニタリングユー ティリティ」について」

一日本 (新生) パードウェアモニタ

ハードウェア(筐体内温度、電圧、CPUファン)の状態を監視して異常が発生した場合、アラームで利用者に知らせます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」

#### (砂油) (省本) (ジョー) ハードディスクドライブ障害時のバックアップ機能

ハードディスクドライブの異常を監視します(SMART機能)。標準装備されているハードディスクドライブは、S.M.A.R.T(Self Monitoring, Analysis and Reporting Technology )に対応しています。また、「Masty Data Backup/F」との連携によってバックアップをとることができます。

参照 『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の 「Masty Data Backup」



# システム設定(スリムタワー型の場合)

この章では、スリムタワー型のBIOSセットアップメニューについて説明 します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の 使用環境を設定することができます。

#### この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

#### この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	186
Main <b>の設定</b>	188
Advanced CMOS Setup <b>の設定</b>	190
Advanced Chipset Setup <b>の設定</b>	192
Power Management Setup <b>の設定</b>	194
Peripheral Setup <b>の設定</b>	197
Hardware Monitor Setup <b>の設定</b>	200
Security <b>の設定</b>	201
Boot <b>の設定</b>	205

## BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

#### BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と 表示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。



ディスプレイ特性により、「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押すタイミングが計れない場合があります。この場合は、本体の電源を入れた直後、BIOSセットアップメニューが表示されるまで、【F2】を数回押してください。

メモ

#### BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 】 】 】 】で設定項目および設定項目内を選択します。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

#### BIOSセットアップメニューの終了

#### メニューバーの<sup>F</sup>Exit 」の選択項目

選択項目	説明
Exit Saving Changes	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Discarding Changes	変更した設定を保存せずに終了します。
Load Default Settings	すべての選択項目を工場出荷時の設定値に
	戻します。(【F9】を押す方法と同じ)

#### 工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 3 【F9】を押す

「Load Default Settings」と表示されます。

**4** 【Enter】を押す 工場出荷時の設定値を読み込みます。

#### 5 【F10】を押す

「Save current settings and exit」と表示されます。

#### 6 【Enter 】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。



#### Mainの設定

日時の設定や、ハードディスクのようなIDE機器の設定など、BIOSの基本的な項目を設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

System Time() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

System Date() 日付を「月/日/年/曜日(表示のみ)」で入力します。

Primary IDE Master 現在マザーボードのIDEインタフェースに接続されているIDEデバイ ス(工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ)が表示され ます。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を押すと設定画面となりま す。

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

Primary IDE Slave

プライマリマスタの設定と同様です。本機では、増設ハードディスクド ライブが搭載されたモデルなどでは、増設ハードディスクドライブの 設定画面となります。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Secondary IDE Master

プライマリマスタの設定と同様です。工場出荷時に内蔵されている CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブの設定画面となります。

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

Secondary IDE Slave

プライマリマスタの設定と同様です。本機では、5インチベイに増設されるIDEデバイスの設定画面になります。

▼チェック// 本項目の設定は変更しないでください。

Floppy Drive A()

フロッピーディスクドライブAのモードを選択します。「Not Installed」にするとフロッピーディスクドライブが使用できなくなり ます。(1/〇ロック)

選択項目	選択内容
Floppy Drive A	Not Installed
	1.2MB 5 1/4
	720KB 3 1/2
	1.44MB 3 1/2
	2.88MB 3 1/2

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Processor Type

搭載されているCPUの内容を表示します。

Processor Speed

搭載されているCPUの速さ(クロック数)を表示します。

**Total Memory** 

搭載されているメモリの総容量を表示します。

Cache Size

搭載されているCPUの内部キャッシュの容量を表示します。

BIOS Version BIOS**のリビジョン番号を表示します。** 

## Advanced CMOS Setupの設定

#### Advanced CMOS Setupの設定

「Advanced」「Advanced CMOS Setup」では、BIOS**固有の詳細な機能** について設定します。

	選択項目	選択内容	説明
E	vent Log		この項目にカーソルを合わせて【Enter】
			を押すと、サブメニューの設定画面に
			なります。
	View DMI	(表示項目です)	【Enter】を押すと、DMIイベントログ
	event log		情報(履歴)が表示されます。
	Clear all	No	DMIイベントログの消去を設定します。
	DMI event	Yes	「Yes」に設定し設定を保存して終了
	logs		すると、DMIイベントログを消去します。
			再起動後は「No」になります。
	Event	Disabled	「Enabled」でイベントログを記録し
	logging	Enabled	ます。
	Mark DMI	No	DMIイベントログの既読を設定します。
	events as	Yes	「Yes」に設定すると、それまでの
	read		DMIイベントログが既読状態になりま
			す。「Yes」に設定後は「No」に戻り
			ます。
Q	uick Boot	Disabled	コンピュータ起動時のクイックブート
		Enabled	の使用を設定します。「Enabled」の
			場合、一部のテストをスキップするので、
			本機の起動時間が短縮されます。
S	ilent Boot	Disabled	起動時に自己診断画面を表示するか
		Enabled	を設定します。「Disabled」にすると
			NECのロゴを表示せずに自己診断画
			面を表示します。

選択項目	選択内容	説明
BootUp Num-	Off	コンピュータ起動時にNum Lockす
Lock	On	るかを設定します。「 On 」の場合、接
	Auto	続されているキーボードの種類に関
		わらず、起動時にNum Lockされます。
		「Off」の場合、接続されているキーボー
		ドの種類に関わらず、起動時にNum
		Lockされません。なお、Windows XP、
		Windows XP Home、Windows
		2000では、Windows上での設定が
		優先されます。
APIC Interrupt	Disabled	APIC機能の有効/無効を設定します。
Mode	Enabled	本項目の設定は変更しないでください。
ASF Function	Disabled	ASF機能の有効/無効を設定します。
	Enabled	本項目の設定は変更しないでください。

## Advanced Chipset Setupの設定

#### Advanced Chipset Setupの設定

「Advanced」「Advanced Chipset Setup」では、チップセット固有の詳 細な機能について設定します。

選択項目	選択内容	説明
USB Controller	Disabled	USBコントローラーを設定します。「2
	2 USB Ports	USB Ports」では背面のUSBコネ
	4 USB Ports	クタ1およびUSBコネクタ2が利用可
		能になります。「4 USB Ports」で
		はすべてのUSBコネクタが利用可能
		になります。「Disabled」ではUSB
		機器が使用できません(I/Oロック)。
USB 2.0	Disabled	USB2.0コントローラーの有効/無効
Controller	Enabled	を設定します。
Support		
USB Legacy	Disabled	USB接続のキーボードおよびマウス
Support	Keyboard+Mouse	のレガシー機能の有効/無効を設定し
	All Device	ます。
On-Chip IDE	Disabled	内蔵用のIDEアダプタを使用するか
	Primary	を設定します。「Primary」ではセカ
	Secondary	ンダリマスタ/スレーブ接続のIDEデ
	Both	バイスが、「 Secondary 」ではプライ
		マリマスタ/スレーブ接続のIDEデバ
		イスが、「Disabled」ではすべての
		IDEデバイスが使用できなくなります
		(1/0ロック)。
AC'97 Audio	Auto	AC'97 Audio機能の有効/無効を設
	Disabled	定します。

選択項目	選択内容	説明
AC'97	Auto	AC'97 Modem機能の有効/無効を
Modem	Disabled	設定します。
Onboard LAN	Disabled	内蔵LAN機能の有効/無効を設定し
	Enabled	ます。
Network Boot	Disabled	ネットワークブート機能の有効/無効
Agent	Enabled	を設定します。

## Power Management Setupの設定

#### Power Management Setupの設定

「Advanced」「Power Management Setup」では、省電力の設定を行う ための設定項目について説明します。

ACPI対応のオペレーティングシステム(Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000、Windows 98 SE(ACPIモード))をご利用の場合、 ()マークがついている設定項目は無効になります。特に「Suspend Time Out (Minute)」、「Power Button Function」は、ACPI対応の各オ ペレーティングシステムの電源管理の項目で設定してください。APM対 応のオペレーティングシステム(Windows 98 SE(APMモード))をご利 用の場合は、各項目の内容になります。

#### メモ

電源管理の設定 Windowsのヘルプ

選択項目	選択内容	説明
ACPI Standby	S1/POS	ACPIモードのスリープ状態を設定し
State	S3/STR	ます。本項目の設定は変更しないでく
		ださい。
Power	Disabled	BIOSによる省電力機能(電源管理が
Management/	Enabled	APMモード )の使用を設定します。 本
APM()		項目の設定は変更しないでください。

選択項目	選択内容	説明
Suspend Time	Disabled 1	本機の省電力機能のタイムアウト時
Out(Minute)	2、4、8、10、	間を分単位で設定します。本機への
( )	20、30、40、	操作をしない状態で設定した時間が
	50、60	経過すると、スタンバイ状態になります。
		「Disabled」の場合スタンバイしま
		せん。本項目の設定は変更しないでく
		ださい。なお、Windows 98 SE(APM
		モード)で本機をスタンバイ状態にす
		る場合は、「スタート」ボタン 「コン
		トロールパネル」「電源の管理」の「シ
		ステムスタンバイ」で設定してください。
Power Button	On/Off	詳細については「「Power Button
Function()	Suspend	Function」について」(P.196)を
		ご覧ください。
Restore on	Power Off	AC電源( AC100V )が失われ、電源
AC/Power	Power On	を再投入したときの復旧状態を設定
Loss	Last State	します。「Power Off」はAC電源投
		入時に電源は入らないように、「 Power
		On」はAC電源投入時に電源が入る
		ように、「Last State」はAC電源が
		失われたときの状態に設定します。
Resume On	Disabled	FAXモデムのリング機能で電源オン、
Ring()	Enabled	スタンバイから復帰するかを設定します。
Resume On	Disabled	PCIデバイス(LANボード等)によっ
PME#	Enabled	て電源を操作します。リモートパワー
		オン機能を利用するには、本項目を
		「Enabled」に設定します。
Resume On	Disabled	内蔵時計(RTC:リアルタイムクロック)
RTC Alarm	Enabled	による、電源オン、スタンバイからの
( )		復帰を設定します。
RTC Alarm	15 [Every Day、	内蔵時計により電源を入れる日を設
Date()	1~31]	定します。

2 システム設定(スリムタワー型の場合)

選択項目	選択内容	説明
RTC Alarm	12[00~23]	内蔵時計により電源を入れる時間(1
Hour()		時間単位 )を設定します。
RTC Alarm Minute	30 [00~59]	内蔵時計により電源を入れる分(1分
( )		単位 )を設定します。
RTC Alarm Second	30 [00~59]	内蔵時計により電源を入れる秒(1秒
( )		単位 )を設定します。

Power Button Function」について

「Power Button Function」は、本体前面にある電源スイッチをパワーボ タンまたはスリープボタンとして利用できるようにする機能です。工場 出荷時の設定は、「On/Off」に設定されています。

- 「On/Off」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによって電源を 入れる/切ることができます。
- 「Suspend」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによってスタンパイ/スタンパイから復帰することができます。

「Power Button Function」の設定を「On/Off (工場出荷時)から 「Suspend」に変更した場合、または「コンピュータの電源ボタンを押した とき」の設定を「スタンバイ」に変更した場合の電源を切る操作は、次のようになります。

正しく電源を切る方法

正しく電源を切る方法については、各オペレーティングシステムの 「PART1 本体の構成各部」 電源 」の「電源の入れ方/切り方(電源の手動 操作)」をご覧ください。

強制的に電源を切る方法

ソフトウェアなどのエラーでWindowsが操作できなくなってしまった 場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A 』 電源を切ろ うとしたが...」をご覧ください。

## Peripheral Setupの設定

#### Peripheral Setupの設定

「Advanced」「Peripheral Setup」では、周辺機器の機能について設定し ます。

選択項目	選択内容	説明
Plug and Play	No	プラグアンドプレイ対応のOSかどう
Aware O/S	Yes	かを設定します。
Clear	Νο	PCIボードなどのプラグ&プレイ機器
NVRAM	Yes	の設定値の初期化を設定します。
		「Yes」で初期化します。ただし、再起
		動時には「No」に設定されます。
Primary	Internal VGA	プライマリのグラフィックカードの設
Graphics	AGP/Int-VGA	定をします。次の順序で検索します。
Adapter	AGP/PCI	「Internal VGA」:本体内蔵グラフィック
	PCI/AGP	「AGP/Int-VGA」:AGPスロット挿
	PCI/Int-VGA	入のグラフィックボード 本体内蔵グ
		ラフィック
		「AGP/PCI」:AGPスロット PCIス
		ロット挿入のグラフィックボード
		「PCI/AGP」:PCIスロット AGPス
		ロット挿入のグラフィックボード
		「PCI/Int-VGA」:PCIスロット挿入
		のグラフィックボード 本体内蔵グラ
		フィック
OnBoard	Auto	内蔵フロッピーディスクコントローラ
FDC	Disabled	を設定します。「Disabled」を設定
	Enabled	するとフロッピーディスクコントロー
		ラが使用できなくなります(1/0ロック)。

選択項目	選択内容	説明
OnBoard	Auto Disabled	シリアルポートA( COMポート、シリア
Serial PortA	3F8/COM1、	ルコネクタ )の設定をします。「Auto」
	2F8/COM2、	の場合は空きリソースが自動的に割り
	3 E 8 / C O M 3 、	当てられます。「Disabled」に設定
	2E8/COM4	すると、他のデバイスにリソースを開
		放し、PnP対応OSがシリアルポート
		を使用できないようにします(1/0ロッ
		ク)。
OnBoard	Auto、Disabled、	シリアルポートBを設定します。シリア
Serial PortB	3F8/COM1、	ルポートAと同じ内容です。
	2 F 8 / C O M 2 、	
	3 E 8 / C O M 3 、	
	2E8/COM4	
OnBoard	Auto , Disabled,	パラレルボート(プリンタポート、パラ
Parallel Port	378、278、	レルコネクタ)の設定をします。「Auto」
	3BC	の場合は空きリソースが自動的に割り
		当てられます。「Disabled」に設定
		すると、他のデバイスにリソースを開
		放し、PnP対応OSがパラレルボート
		を使用できないようにします(1/0ロッ
Parallel Port	Normal, BI-Dir	ハラレルホートの動作モードを設定し
Mode		ます。こ利用のフリンダのモードにつ
	EPP+ECP	いてはフリンタのマニュアルをこ覧く
	1.0	
EPP Version	1.9	Farallel Port Mode@EPP Version
	1.7	を設定します。' Parallel Port Mode」
Derellel Dert	5	场口に設定り能となりまり。
	5 7	ハラレルハート C 使用 9 る I K Q を設定
	'	しより。 UIDUAIU Palallel PO[[] が「っての 「っての 「っロへ の担合
		ル・3 / 0」、2 / 0」、3 Dし」の場合
		に収止り能となりまり。

選択項目	選択内容	説明
Parallel Port	0	パラレルポートで使用するDMAチャ
DMA Channel	1	ネルを設定します。以下の場合に設
	3	定可能となります。
		・「OnBoard Parallel Port」の設
		定が「 3 7 8 」、「 2 7 8 」、「 3 BC 」の
		場合
		・「Parallel Port Mode」の設定が
		「ECP」、「EPP+ECP」の場合

メ] モ] I/O**ロック** 

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューの「Advanced」 「Peripheral Setup」またば「Advanced Chipset Setup」で、以下のI/O を「Disabled」に設定することでロックを有効にすることができます。対 象となるインターフェイスは、フロッピーディスクドライブ(OnBoard FDC)、シリアルポート(OnBoard Serial Port)、パラレルポート (OnBoard Parallel Port)、USBポート(USB Controller)です。

## Hardware Monitor Setupの設定

#### Hardware Monitor Setupの設定

「Advanced」「Hardware Monitor Setup」では、CPU警告温度の設定や、 CPUをシャットダウンする温度の設定など、パソコンの動作条件につい て設定します。

選択項目	選択内容	説明
Cover Open	Disabled	「Enabled」を選択すると、本体のカバー
Check	Enabled	が取り外された状態では起動できな
		くなります( ルーフカバーオープン検
		知機能 )。なお、メッセージを解除する
		場合は、「Disabled」に設定して再起
		動してください。
CPU VID	(表示項目です)	CPUやFANなどのシステムの状態を
+ 2.5V		表示します。
Vccp		
+ 3.3V		
+ 5.0V		
+12.0V		
HVCC(+3.3VSB)		
System		
Temperature		
CPU		
Temperature		
CPU Fan Speed		
Power Fan		
Speed		

## Securityの設定

#### Securityの設定

Securityでは、スーパバイザパスワードおよびユーザパスワードの設定 をします。パスワードに使用できる文字は半角英数字のみで、6文字以内 でなければなりません。また、大文字/小文字の区別はありません。() マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変 更可能な項目です。

- ◆チェック? ・スーパパイザパスワード/ユーザパスワード、BIOS LOCK、ハードディス クパスワードを設定する場合は、パスワードやパスワードの解除の方法を 忘れたときのために、事前にこの「Securityの設定」および<sup>®</sup>ハードウェア 拡張ガイド』「PART6 付録」の「ストラップスイッチの設定」を印刷して おくことをおすすめします。
  - ・ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、および無効にしておいてください。
  - 参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

選択項目	選択内容	説明
Password	Setup	パスワードを入力する場面を設定しま
Check()	Always	す。「Setup」ではBIOSセットアップ
		メニュー起動時に、「Always」ではシ
		ステム起動時とBIOSセットアップメ
		ニュー起動時にパスワードの入力を
		要求します。
Set Supervisor	(パスワード入力)	スーパバイザパスワードの設定を行
Password		います。設定した場合、BIOSセットアッ
		プメニュー起動時にスーパバイザパ
		スワードを入力する必要があります。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

選択項目		選択内容	説明
Set User		(パスワード入力)	ユーザパスワードの設定を行います。
Password(	)		スーパバイザパスワードが設定され
			ていないときは設定できません。

#### ハードディスクパスワードについて

	選択項目	選択内容	説明
S	et Master		この項目にカーソルを合わせて【Enter】
Н	DDs Security		を押すと、サブメニューの設定画面に
P	assword		なります。
	Set Pri-Master	(入力項目です)	ハードディスクドライブ( プライマリマ
	HDD Password		スタ )へ、ハードディスクマスタパスワー
			ドを設定します。
	Set Sec-	(入力項目です)	増設ハードディスクドライブ( プライマ
	Master HDD		リスレーブ )へ、ハードディスクマスタ
	Password		パスワードを設定します。増設ハードディ
			スクドライブを搭載したモデルの場合
			に表示されます。
S	et User		この項目にカーソルを合わせて【Enter】
Н	DDs Security		を押すと、サブメニューの設定画面に
P	assword		なります。
	Set Pri-Master	(入力項目です)	ハードディスクドライブ( プライマリマ
	HDD Password		スタ )へ、ハードディスクユーザパスワー
			ドを設定します。
	Set Sec-	(入力項目です)	増設ハードディスクドライブ( プライマ
	Master HDD		リスレーブ )へ、ハードディスクユーザ
	Password		パスワードを設定します。増設ハードディ
			スクドライブを搭載したモデルの場合
			に表示されます。



参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

メモ

- ・ハードディスクマスタパスワード(HDD Master Password)
   ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワードを解除するためのパスワードです。ハードディスクマスタパスワードの解除方法については、後述の「パスワードの解除(P.204)をご覧ください。
- - ・ハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)
     ハードディスクユーザパスワードは、本機とハードディスクドライブの認証を行うためのパスワードです。ハードディスクユーザパスワードを設定することにより、本機以外でハードディスクドライブの不正使用を防止できます。
- ジチェック // ハードディスクユーザパスワードの解除方法については、後述の「パスワード の解除 (P.204)をご覧ください。

#### ⚠注意

設定したパスワードを忘れないように控えておくことをおすすめします。 パスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは、 当社でも取り出せなくなります。また、パスワードを忘れたために使用で きなくなったハードディスクドライブを交換する場合は有償になります。ハー ドディスクドライブのパスワードは忘れないように十分に注意してください。

#### パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードの場合

スーパバイザ/ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューを起動して「Security」の「Set Supervisor Password」または「Set User Password」にパスワードを入れて、新しいパスワードに何も入れずに 【Enter】を押すと解除されます。なお、スーパバイザ/ユーザパスワー ドを忘れてしまった場合のパスワードの解除方法についてば「ハード ウェア拡張ガイド」「PART6 付録」の「ストラップスイッチの設定」を ご覧ください。

◆チェック! 無断でパスワードが解除されることを防ぐために、筐体ロックを使用することをおすすめします。(P.176)

ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードの場合 ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードでは、BIOS セットアップメニューを起動して「Security」の「Set Master HDDs Security Password」または「Set User HDDs Security Password」に パスワードを入れ、新しいパスワードに何も入れずに【Enter】を押すと 解除されます。

## Boot の設定

#### 起動順位の設定

起動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を起動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

#### ХŦ

各設定内容で起動する装置は次の通りです。

- Disabled ..... 使用しない
- IDE-0~3 ...... 工場出荷時に内蔵されているハードディスク
   ドライブ

IDE-0:Primary Master(ハードディスクドライブ)

- IDE-1、IDE-2、IDE-3は設定しないでください。
- ・ Floppy ...... 工場出荷時に内蔵されているフロッピーディ スクドライブ
- ・ CD/DVD ...... 工場出荷時に内蔵されているCD-ROMドライ ブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブ
- ・BBS-x(Network) … 工場出荷時に内蔵されているLANボード
- ・BBS-x(RAID)...... 工場出荷時に内蔵されているIDE-RAIDボード

選択項目	選択内容	説明
1st	Disabled	本機を起動するデバイスの順番を決
	IDE-0	めます。設定したデバイスの上から順
	Floppy	番に起動されます。
	CD/DVD	
	BBS-0(Network)	
2nd	Disabled	
	IDE-0	
	Floppy	
	CD/DVD	
	BBS-0(Network)	
3rd	Disabled	
	IDE-0	
	Floppy	
	CD/DVD	
	BBS-0(Network)	

- チェック // ・使用環境にあわない起動順序に変更すると正常に動作しなくなる場合が ありますので、変更には十分注意してください。
  - ・ 使用環境によっては、上記内容の項目が増えることがあります。



## システム設定(省スペース型の場合)

この章では、省スペース型のBIOSセットアップメニューについて説明します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

#### この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

#### この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	208
Main <b>の設定</b>	210
Advanced <b>の設定</b>	213
Security <b>の設定</b>	220
Power <b>の設定</b>	226
Boot <b>の設定</b>	230

## BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

#### BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot. () と表示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。

> メニューを日本語に設定した場合は、「F2:BIOSセットアップメニューを 起動します、F12:ネットワークブートします。」と表示されます。

	PhoenixBI	OS Set	up Utility			]	
Main Advanced	Security F	ower	Boot	Exit			メニューバー
System Time :	[hh:r	nm:ss]			Item Specific Help	]-	
System Date :	(mm	/dd/yy	/yy]		<tab>, <shift-tab>, or</shift-tab></tab>		
Language : Legacy DisketteA : Legacy DisketteB : Primary Master Primary Slave Secondary Master Secondary Slave	[Eng [1.44 [Disa [× × [Non [× × [Non	ish(U /1.25 M bled] × × × e] × × ×	S)] MB31/2] × ×] × ×]		<enter> selects field</enter>		パラメータ
<ul> <li>Keyboard Features Boot-time Diagnostic So System Memory Extended Memory BIOS Revision</li> </ul>	creen [Disa 640K × ×   × ×	bled] B KB × × ×	× × ×				
F1 Help Select Esc Exit Selec	t Item - , t Menu En	+ Cl er Sele	hange Valu ect ▶ Sub-N	ies 1enu	F9 Setup Defaults F10 Save and Exit		キーステータスパー

ディスプレイ特性により、「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押すタイミングが計れない場合があります。この場合は、本体の電源を入れた直後、キーボード上のNumLockランプが点灯するタイミングで【F2】を2~3回押してください。

メモ

BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 Ⅰ Ⅰ Ⅰ 】で設定項目および設定項目内を選択します。
- ・「Date」Time の設定ではカーソル移動は【Tab】で行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

#### BIOSセットアップメニューの終了

選択項目	説明
Exit Saving Changes	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Discarding Changes	変更した設定を保存せずに終了します。
Load Setup Defaults	すべての選択項目を工場出荷時の設定値に
	戻します。(【F9】を押す方法と同じ)
Discard Changes	変更前の値に戻します。
Save Changes	変更した値を保存します。

#### メニューバーの<sup>F</sup>Exit 」の選択項目

#### 工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。

#### 3 【F9】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

- **4** 「Yes」を選択し、【Enter】を押す 工場出荷時の設定値を読み込みます。
- **5 【**F10】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

6 「Yes」を選択し、【Enter】を押す
 設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。



#### Mainの設定

()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したとき に変更可能な項目です。

System Time() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

System Date**( )** 日付を「月/日/年」で入力します。

Language( )

BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選択できます。工場出荷時は「English(US)」に設定されています。

Legacy Diskette A

フロッピーディスクドライブのモードを選択します。

「Disabled」にするとフロッピーディスクドライブが使用できなくな ります。(I/Oロック)

設定項目	設定内容		
Legacy Diskette A	Disabled		
	360 Kb	5 1/4"	
	1.2 MB	5 1/4"	
	720 Kb	3 1/2"	
	1.44/1.25 MB	3 1/2"	
	2.88 MB	3 1/2"	

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Legacy Diskette B

「Legacy Diskette A」の設定と同じです。工場出荷時は「Disabled」に 設定されています。本項目が表示されない機種もあります。 **Primary Master** 

現在マザーボードのIDEインタフェースに接続されているIDEデバイ ス(工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ)が表示され ます。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を押すと設定画面となりま す。

▼チェックク 本項目の設定は変更しないでください。

Primary Slave

プライマリマスタの設定と同様です。増設ハードディスクドライブが 搭載されたモデルなどでは、増設したハードディスクドライブの設定 画面になります。

▼チェック// 本項目の設定は変更しないでください。

Secondary Master

プライマリマスタの設定と同様です。工場出荷時に内蔵されている CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブの設定画面となります。

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

Secondary Slave プライマリマスタの設定と同様です。 5インチベイに増設されるIDEデバイスの設定画面になります。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

Keyboard Features

キーボード機能を設定します。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を 押すとサブメニュー設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
NumLock	Auto /On/Off	起動時にNum Lockを有 効にするかどうかを設定し ます。

設定項目	設定内容	説明
Key Click	Disabled /Enabled	キークリック音を使用する
		かどうかを設定します。
Keyboard auto-	30/sec.26.7/sec.21.8/sec.	キーリピート間隔を設定し
repeat rate	18.5/sec、13.3/sec、10/sec、	ます。
	6/sec、2/sec	
Keyboard auto-	1/4sec、1/2sec、3/4sec	キーリピートが開始される
repeat delay	1sec	までの待ち時間を設定し
		ます。
Legacy USB	Disabled/ Enabled	USBレガシー機能を設定
Support		します。
USB Packet	8 / 6 4	USBデバイスを認識する
Size		際の最初のデータパケット
		サイズを設定します。

Boot-time Diagnostic Screen

起動時に自己診断画面を表示するかを設定します。「Enabled」にする とNECのロゴを表示せずに自己診断画面を表示します。工場出荷時は 「Disabled」です。

> System Memory 搭載されているシステムメモリ容量を表示します。

Extended Memory 搭載されている拡張メモリ(メインRAM )を表示します。

BIOS Revision 搭載されているBIOSのリビジョンを表示します。

# 3システム設定(省スペース型の場合)

## Advancedの設定

#### Advancedの設定

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

Plug & Play O/S

プラグ&プレイ対応のオペレーティングシステムを使用している場合は、「Yes」を選択します。工場出荷時は「Yes」に設定されています。

APIC interrupt routing

▼チェック // 本項目の設定は変更しないでください。

**Reset Configuration Data** 

PCIボードなどのプラグ&プレイ機器の設定値のみを初期化したい場合には、「Yes」を選択します。工場出荷時ば No」に設定されています。 ただし、「Yes」に設定した後、再度BIOSセットアップメニューを起動 すると「No」に戻ります。

**PCI** Configuration

各PCIデバイスの割込み番号(IRQ)を設定します。この項目にカーソル をあわせ【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 1	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 1で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 2	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 2で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 3	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 3で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。

設定項目	設定内容	説明
PCI IRQ line 4	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 4で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 5	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 5で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 6	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 6で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 7	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 7で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。
PCI IRQ line 8	Disabled/ Auto Select /3/	PCI IRQ line 8で使用す
	4/5/7/9/10/11/12/14/15	るIRQ番号を設定します。

PCI Configurationの設定項目とPCIスロットは、次のように対応して います。

設定項目	スロット
PCI IRQ line 1	PCIスロット1 <b>注意</b>
PCI IRQ line 2	PCIスロット2 <b>注意</b>
PCI IRQ line 3	PCIスロット3
PCI IRQ line 4	-
PCI IRQ line 5	-
PCI IRQ line 6	-
PCI IRQ line 7	-
PCI IRQ line 8	-

注意 LANボードを搭載したモデルの場合は、PCIスロット1にLAN ボードが入ります。FAXモデムボードを搭載したモデルの場合 は、PCIスロット1は空きになり、PCIスロット2にFAXモデムボード が入ります。

Cache Memory

▼チェック! 本項目の設定は変更しないでください。

#### I/O Device Configuration

入出力機器の設定を行います。この項目にカーソルをあわせ【Enter 】を 押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
Serial port A	Disabled	シリアルポートAが使用できなく
(シリアルコネク		なり( I/Oロック )、割り込みが開
タまたはシリア		放されます。
ルコネクタ1)	Enabled	1/0ベースアドレスと割り込みが
		設定できます。
	Auto	1/0ベースアドレスと割り込みを
		自動的に設定します。
Base I/O	3F8 /2F8/3E8/2E8	シリアルポートAの1/0ベースア
Address		ドレスを設定します。
Interrupt	IRQ3/IRQ4	シリアルポートAの割込み番号を
		設定します。
Parallel port	Disabled	パラレルポートが使用できなくな
(パラレルコネクタ)		リ(1/0ロック)、割り込みが開放
		されます。
	Enabled	パラレルポートのモード、1/0ベー
		スアドレス、割込み番号を設定で
		きます。
	Auto	自動的にパラレルポートを設定し
		ます。
Mode	Output only/	モードを設定します。ご利用のプ
	Bi-directional /	リンタのモードについては、プリ
	ECP	ンタのマニュアルをご覧ください。
Base I/O	378/278/3BC	オプションを使用してパラレルポー
Address		トにI/Oアドレスを設定します。
Interrupt	IRQ5/IRQ7	パラレルポートに割込み番号を
		設定します。
DMA Channel	DMA 1/ DMA 3	パラレルポートがECPモードの
		ときに使用するDMAチャネルを
		設定します。「Mode」で「ECP」
		を選択した場合に表示されます。

設定項目	設定内容	説明
Floppy Disk	Disabled /	フロッピーディスクコントローラ
Controller	Enabled /Auto	の使用を設定します。「 Disabled 」
		ではフロッピーディスクコントロー
		ラが使用できなくなります( 1/0ロッ
		ク)。
Base I/O	Primary /	フロッピーディスクコントローラ
Address	Secondary	のI/Oベースアドレスを設定します。

メ モ 1/0**ロック** 

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューのI/Oを 「Disabled」に設定することでロックを有効にすることができます。対象 となるインターフェイスは、フロッピーディスクドライブA、フロッピー ディスクドライブB、シリアルポートA、パラレルポートです。

Large Disk Access Mode

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

Local Bus IDE adapter

内蔵用のIDEアダプタを使用するかを設定します。工場出荷時は 「Both」に設定されています。「Primary」ではセカンダリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「Secondary」ではプライマリマスタ/スレー プ接続のIDEデバイスが、「Disabled」ではすべてのIDEデバイスが使 用できなくなります(I/Oロック)。

Advanced Video Control 使用するビデオの設定をします。

設定項目	設定内容	説明
Default Primary	PCI/ AGP	使用するグラフィックカードの
Video Adapter		設定をします。「AGP」では本
		体内蔵のグラフィックカードを、
		「PCI」ではPCIスロットに挿
		入された別売のグラフィックカー
		ドを優先して使用します。
設定項目	設定内容	説明
----------	-----------	----------------
Graphics	64Mb/32Mb	本体内蔵のグラフィックカード
Aperture		が使用するグラフィックアパー
		チャーサイズを設定します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

QuickBoot Mode

「Enabled」に設定した場合、本機起動時の一部のテストをスキップし ます。システム起動時間が短縮されます。工場出荷時ば Enabled 」に設 定されています。

Sound

サウンドのリソースを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Sound	Disabled	サウンドを切り離します。
	Enabled	サウンドが使用できます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

DMI Event Logging

起動時に起きたイベントログを参照できます。この項目にカーソルを あわせて【Enter】を押すとサブメニューの設定画面となります。

設定項目	設定内容	説明
View DMI	(設定項目はありません)	【Enter】を押すとDMIイ
Event Log	,	ベントログを表示します。
Clear All DMI	No /Yes	「Yes」を選択すると、再
Event Logs		起動後すべてのDMIイベ
_		ントログをクリアします。
Event Logging	Enabled /Disabled	「Enabled」ではDMIイベ
		ントログを記録します。
Mark DMI	Yes/No	【Enter】を押し、「Yes」
Events As		を選択すると表示されて
Read		いるログは既読状態となり
		ます。

#### メモ

DMI(Desktop Management Interface)とは、システム管理を行うため に各PCの管理を容易に行うためのハードウェア/ソフトウェアのインタ フェースの標準什様のことです。

Restore On AC/Power Loss

AC電源(AC100V)が失われ、再投入されたとき、どの状態に復旧する かを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Restore On	Power Off	AC投入時に電源は入りま
AC/Power		せん。
Loss	Last state	AC電源が失われたときの
		状態に戻します。電源が入っ
		ている状態で、AC電源が
		切れた場合は、電源が入り
		ます。電源が切れている状
		態でAC電源が切れた場合
		は、電源は入りません。
	Power On	AC投入時に電源が入りま
		す。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

On PME()

PCIデバイス(LANボード等)によって電源を操作します。リモートパ ワーオン機能を利用するには、本項目を「Power On」に設定します。工 場出荷時ば Stav Off に設定されています。

#### メモ

PME(PCI Power Management Event )とは、管理者のパソコンからク ライアントPC(本機)をリモートパワーオン機能で起動することです。

参照 リモートパワーオン機能 「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マ ネジメント機能(P.174)「PART1 本体の構成各部」の「LAN(ローカルエ リアネットワーク ボード JUモートパワーオン機能の設定 Windows XP およびWindows XP Homeの場合)(P.158)「リモートパワーオン機能の 設定(Windows 2000の場合)(P.163)「リモートパワーオン機能の設定 (Windows Meの場合)(P.168)

Summary screen

「Enabled」に設定すると起動時にシステム設定状況を表示します。工 場出荷時は「Disabled」に設定されています。

# Securityの設定

### Securityの設定

セキュリティに関する各種設定を行います。 項目の右側に( )マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

 ✓チェック パスワード/ユーザパスワード、BIOS LOCK、ハードディスク パスワードを設定する場合は、パスワードやパスワードの解除の方法を忘れ たときのために、事前にこの「Securityの設定」および。ハードウェア拡張ガ イド』PART5 付録」の「ストラップスイッチの設定」を印刷しておくことを おすすめします。

Supervisor Password Is

スーパバイザパスワードの設定状態を表示します。工場出荷時は 「Clear」です。

設定項目	設定内容	説明
Supervisor	(設定項目は	「Set」が表示された場合、スー
Password Is	ありません)	パバイザパスワードが設定され
		ています。
		「Clear」が表示された場合、スー
		パバイザパスワードが設定され
		ていません。

Set Supervisor Password

#### スーパバイザパスワードを設定します。

設定項目	設定内容	説明
Set Supervisor	(パスワード	項目にカーソルをあわせて
Password	を設定します)	【Enter】を押すとスーパバイ
		ザパスワードの設定画面になり
		ます。

User Password Is スーパバイザパスワードと同じ表示です。 Set User Password ()

スーパバイザパスワードと同じ設定です。

♥チェック ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワード を解除、および無効にしておいてください。

参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

#### メモ

スーパバイザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制 限するための機能です。

スーパバイザパスワードの設定を行うとBIOSセットアップメニュー起 動時、パスワードの入力画面となり設定されたスーパバイザパスワード を入力しない限りBIOSセットアップメニューの起動はできません。

ユーザパスワードとはBIOSセットアップメニューの使用者を制限し、 BIOSセットアップメニューで設定可能な項目も制限するための機能 です。

Security Mode

セキュリティモードを設定します。「Password」と「FingerPrint」が設定できます。工場出荷時は「Password」です。

・「Password」 …… スーパバイザパスワード設定時に設定します。

・「FingerPrint」 ... 指紋認証ユニット使用時に設定します。

Password On Boot

起動時にバスワード入力を行うかの設定をします。「Security Mode」 が Password の場合に表示されます。リモートパワーオン機能を利用 するときは、「Network Boot Setting 」の「BIOS LOCK」を「Disabled」 に設定します。工場出荷時は「Disabled」です。

Fixed disk boot sector

ハードディスク起動セクタを書き込み禁止にするかの設定をします。 「Write Protect」にすると起動セクタをウィルスから保護します。工場 出荷時は「Normal」です。

Diskette Access

下記の設定の後、「Supervisor」に設定するとスーパバイザ以外フロッ ピーディスクドライブにアクセスできなくなります。工場出荷時は 「Supervisor」です。

- ・ スーパバイザ/ ユーザパスワードを設定
- ・「Password On Boot」を「Enabled」に設定

Network Boot Setting

この項目にカーソルをあわせ、【Enter】を押すと、サブメニュー設定画 面となります。

設定項目	設定内容	説明
Keyboard/	Disabled/ Enabled	「Enabled」を選択すると、
Mouse Lock		リモート起動時にキーボー
		ド/マウスをロックします。
		なお、USB接続のキーボー
		ド/マウスを使用している
		場合、USB接続のキーボー
		ド/マウスのロックは、OS
		起動後は無効になります。
BIOS LOCK	Enabled/ Disabled	「Disabled」を選択すると、
		「Password On Boot」
		で「Enabled」、または
		「Security Mode」で
		「FingerPrint」が設定さ
		れていてもリモート起動時
		にパスワード入力を要求し
		ません。この項目は、パス
		ワードを設定して
		「Password On Boot」
		を「Enabled」に設定した
		場合、または指紋認証ユニッ
		トを接続した場合に表示さ
		れます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

- ジチェック // ここでのリモート起動時とは、管理者側のパソコンからクライアントPC(本
  機)をリモートパワーオン機能により起動することを指します。
  - 参照 リモートパワーオン機能 「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マ ネジメント機能(P.174)

Virus check reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」「Daily」「Weekly」「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時は「Disabled」に設定されています。 System backup reminder

起動時に警告メッセージを表示します。表示するタイミングは 「Disabled」、「Daily」、「Weekly」、「Monthly」の中から選択します。工場 出荷時ば「Disabled」に設定されています。二度と同じものを作れない ような大切なデータがある場合には、定期的にバックアップをとれる よう、設定を変更することをおすすめします。

Cover Open Check

「Enabled」を選択すると、本体のカバーが取り外された状態では起動 できなくなります(ルーフカバーオープン検知機能)。なお、メッセージ を解除する場合は、「Disabled」に設定して再起動してください。工場出 荷時は「Disabled」に設定されています。

Assign HDD Password

ハードディスクドライブ(プライマリマスタ、プライマリスレーブ)に パスワードを設定します。ハードディスクパスワードには、ハードディ スクマスタパスワード(HDD Master Password)とハードディスク ユーザパスワード(HDD User Password)の2つがあります。【Enter】 を押すとハードディスクマスタパスワードの設定画面が表示され、 ハードディスクマスタパスワードを設定すると、ハードディスクユー ザパスワードの設定画面が表示されます。次にプライマリマスタまた はプライマリスレーブの設定を【+I-]で行います。なお、プライマリ マスタまたはプライマリスレーブの設定を変更されないよう、スーパ バイザパスワードを設定してください。

- **ジ**チェック!! ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワード は解除、および無効にしておいてください。
  - 参照 / NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』
    - ・ハードディスクマスタパスワード(HDD Master Password)
      ハードディスクマスタパスワードは、ハードディスクユーザパスワードを解除するためのパスワードです。ハードディスクマスタパスワードの解除方法については、後述の「パスワードの解除」の「ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードの場合(P.225)をご覧ください。
    - ・ハードディスクユーザパスワード(HDD User Password)
      ハードディスクユーザパスワードは、本機とハードディスクドライブの認証を行うためのパスワードです。ハードディスクユーザパスワードを設定することにより、本機以外でハードディスクドライブの不正使用を防止できます。

#### ⚠注意

設定したパスワードを忘れないように控えておくことをおすすめします。 パスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは、 当社でも取り出せなくなります。また、パスワードを忘れたために使用で きなくなったハードディスクドライブを交換する場合は有償になります。 ハードディスクドライブのパスワードは忘れないように十分に注意して ください。

設定項目	設定内容	説明
Primary	Enabled/ Disabled	ハードディスクドライブ( プラ
Master HDD		イマリマスタ )へ、ハードディ
Password		スクパスワードを設定します。
Primary Slave	Enabled/ Disabled	増設ハードディスクドライブ( プ
HDD		ライマリスレーブ )へ、ハード
Password		ディスクパスワードを設定し
		ます。増設ハードディスクドラ
		イブを搭載したモデルの場合
		に表示されます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

本機、プライマリマスタにインストールされたWindows)を起動する場 合、「Primary Master HDD Password」を「Enabled」にしても、設定した ハードディスクマスタパスワードやハードディスクユーザパスワードを 入力する必要はありません。

### パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードの場合

スーパバイザ/ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューを起動して「Security」の「Set Supervisor Password」または「Set User Password」にパスワードを入れて、新しいパスワードに何も入れずに 【Enter】を押すと解除されます。なお、スーパバイザ/ユーザパスワー ドを忘れてしまった場合のパスワードの解除方法については『ハード ウェア拡張ガイド』PART6 付録」の「ストラップスイッチの設定」を ご覧ください。

ジチェック!! 無断でパスワードが解除されることを防ぐために、筐体ロックを使用することをおすすめします。(P.176)

ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードの場合 ハードディスクマスタ/ハードディスクユーザパスワードでは、BIOS セットアップメニューを起動して「Security」の「Assign HDD Password」にハードディスクマスタパスワードを入れ、新しいパス ワードに何も入れずに[Enter]を押すと解除されます。

# Powerの設定

### Power**の設定**

省電力の設定を行うための設定項目について説明します。

 ()マークがついている設定項目はユーザパスワードでBIOSセット アップメニューを起動したときに変更可能な項目です。
 ACPI対応のオペレーティングシステム(Windows XP、Windows 2000、 Windows Me、Windows 98 SE(ACPIモード))をご利用の場合、()マー クがついている設定項目は無効になります。特に「Power Savings」、 「Auto Suspend Timeout」「Hard Disk Timeout」「System Switch」 は、ACPI対応のオペレーティングシステムの電源管理の項目で設定して ください。APM対応のオペレーティングシステム(Windows NT 4.0、 Windows 98 SE(APMモード))をご利用の場合は、各項目の内容になり ます。

参照 電源管理の設定 Windowsのヘルプ

Power Savings( )

パワーマネジメントモードを選択します。モードを選択することに よって本機のパワーマネジメント設定を変更します。

設定項目	設定内容	説明
Power	Disabled	パワーマネジメント機能を
Savings		停止します。
	Customized	Auto Suspend Timeout
		およびHard Disk Timeout
		をユーザが選択できます。
	Maximum Power Savings	消費電力を最小限におさ
		えることができます。この
		ときのタイムアウト時間は
		以下の通りです。
		Auto Suspend Timeout: 5 Minutes.
		Hard Disk Timeout: 1 Minute
	Maximum Performance	電力をより多く消費します
		が、性能は最大限に発揮し
		ます。このときのタイムア
		ウト時間は以下の通りです。
		Auto Suspend Timeout: 60 Minutes
		Hard Disk Timeout: 15 Minutes

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

 ✓チェック? 「Customized 」、「Maximum Power Savings 」で「Hard Disk Timeout」 を10分未満に設定した場合、設定した時間になってもハードディスクドライ ブの電源が切れないこともありますのでご注意ください。

> Auto Suspend Timeout()) 本機が自動的にサスペンド状態またはスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定します。工場出荷時は Off」に設定されています。

Windows 98 SE(APMモード)の場合、本項目の設定は変更しないでください。なお、本機を自動的にスタンパイ状態にする場合は、「スタート」ボタン「設定」「コントロールパネル」「電源の管理」の「システムスタンパイ」で設定してください。

Hard Disk Timeout( )

ハードディスクドライブの電源が切れるまでの時間を設定します。工 場出荷時は Disabled Jです。

 ジチェック? 10分未満に設定した場合、設定した時間になってもハードディスクの電源が 切れないこともありますのでご注意ください。また「Hard Disk Timeout」 の時間を設定しても、Windowsの電源管理の設定と「Hard Disk Timeout」 の設定で時間の短い方が優先されます。

System Switch ( )

「System Switch」は、本体前面にある電源スイッチをパワーボタンまたはスリープボタンとして利用できるようにする機能です。工場出荷時の設定は、「Power Button」に設定されています。

- 「Power Button」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによって電源を入れる/切ることができます。
- 「Sleep Button」に設定した場合は、電源スイッチを押すことによっ てサスペンド/レジュームまたはスタンバイ/スタンバイから復帰 することができます。

「System Switch 」の設定を「Power Button (工場出荷時)から「Sleep Button」に変更した場合の電源を切る操作は、次のようになります。

正しく電源を切る方法

正しく電源を切る方法については、各オペレーティングシステムの 「PART1 本体の構成各部」「電源」の「電源の入れ方/切り方(電源の手 動操作)」をご覧ください。

強制的に電源を切る方法

ソフトウェアなどのエラーでWindowsが操作できなくなってしまっ た場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」電源 を切ろうとしたが…」をご覧ください。

Resume On Modem Ring( )

「On」に設定すると、モデムが呼出し信号を受信したときに、本機をス タンバイ状態から復帰します。工場出荷時は、「Off」に設定されていま す。なお、本項目は、本機でWindows NT 4.0をご利用の場合は使用で きません。

Resume On Time( ( )

「On 」に設定すると、レジューム時刻設定時間(Resume Time)で本機 をレジュームまたはスタンバイ状態から復帰します。工場出荷時は 「Off」に設定されています。 Resume Time( ) レジュームする時刻を設定します。

ACPI Assist

▼チェック / 本項目の設定は変更しないでください。

# Boot の設定

### 起動順位の設定

記動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を記動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

#### 起動順位(次の表が表示されます)

設定内容	説明		
+Removable Devices	本機を起動するデバイスの順番を決		
ATAPI CD-ROM Drive	めます。設定したデバイスの上から		
+Hard Drive	順番に起動されます。		
Network Boot			

記動するデバイスを変更するには【 】 】を使用して変更したいデバ イスにカーソルを合わせます。【+】を押すとリストの上側に移動し、 【-】を押すとリストの下側に移動します。 複数のデバイスが存在する「Hard Drive」Removable Devices」につ いてはさらにその中で起動する順位を設定することができます。



- ♥ チェック// ・使用環境にあわない起動順序に変更すると正常に動作しなくなる場合が ありますので、変更には十分注意してください。
  - 使用環境によっては、上記内容の項目が増えることがあります。

#### Removable Devices

取り外し可能なデバイスのうち、内蔵フロッピーディスクドライブの 検索する順番を設定します。本機は、フロッピーディスクドライブが1 台なので設定を変更する必要はありません。

#### Hard Drive

ハードディスクドライブの検索する順番を設定します。 本機は、オペレーティングシステムを検出するまで、表示されたリスト の上から順に検索を続けます。



# システム設定(ミニタワー型の場合)

この章では、ミニタワー型のBIOSセットアップメニューについて説明します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

### この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

### この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	232
Mainの設定	234
PCI Configurationの設定	236
Peripheral Configurationの設定	238
Memory Configurationの設定	240
Advanced Chipset Controlの設定	241
Securityの設定	243
Serverの設定	246
Boot <b>の設定</b>	248

# BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

### BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot. () と表示されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。

> メニューを日本語に設定した場合は、「F2:BIOSセットアップメニューを 起動します、F12:ネットワークプートします。」と表示されます。

	Pho	enixBIOS Setur	o Utility				
Main Advand	ed Securit	y Server	Boot	Exit			]メニューバー
System Time :		[16:19:01]			Item Specific Help	-	
System Date :		[08/26/2002]			<tab>, <shift-tab>, or</shift-tab></tab>		
Diskette A :		[1.44/1.25 MB	B 3 1/2"]		<enter> selects field</enter>		
Primary Master		* * * * * *					
Primary Slave		× × × × × ×					
Secondary Maste	r	× × × × × ×					
Secondary Slave		None					パラメータ
Processor Setting	10						
Language :	<b>J</b> 3	[English (US	5)]				
			/.				
						_	
F1 Help	Select Item	-/+ Cha	inge Value	es	F9 Setup Defaults		キーフテータフバー
Esc Exit	Select Menu	Enter Selec	t Sub-M	enu	F10 Save and Exit	_	

ディスプレイ特性により、「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押すタイミングが計れない場合があります。この場合は、本体の電源を入れた直後、キーボード上のNumLockランプが点灯するタイミングで【F2】を2~3回押してください。

メモ

#### BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 】 】 】 】で設定項目および設定項目内を選択します。
- ・「Date」Time 」の設定ではカーソル移動は【Tab 】で行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。

### BIOSセットアップメニューの終了

選択項目	説明
Exit Saving Changes	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Discarding Changes	変更した設定を保存せずに終了します。
Load Setup Defaults	すべての選択項目を工場出荷時の設定値に
	戻します。(【F9】を押す方法と同じ)
Load Custom Defaults	ユーザが作成した設定内容に戻します。
Save Custom Defaults	ユーザが作成した設定を保存します。
Discard Changes	変更前の値に戻します。
Save Changes	変更した設定を保存します。

### メニューバーの<sup>Exit</sup> Jの選択項目

### 工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。

## 3 【F9】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

# 4 【Enter】を押す

工場出荷時の設定値を読み込みます。

### 5 【F10】を押す

「Setup Confirmation」のダイアログボックスが表示されます。

### 6 【Enter **陸押す**

設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。



### Mainの設定

日時の設定や、ハードディスクのようなIDE機器の設定など、BIOSの基本的な項目を設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

System Time() 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

System Date() 日付を「月/日/年」で入力します。

Diskette A

フロッピーディスクドライブAのモードを選択します。「Disabled」に するとフロッピーディスクドライブが使用できなくなります。(I/O ロック)

設定項目	設定内容
Diskette A	Disabled
	360 Kb 51/4"
	1.2 MB 5 1/4"
	720 Kb 31/2"
	1.44/1.25MB 3 1/2"
	2.88 MB 3 1/2"

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Primary Master

現在マザーボードのIDEインタフェースに接続されているIDEデバイ ス(工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ)が表示され ます。 **Primary Slave** 

プライマリマスタの設定と同様です。本機では、増設ハードディスクド ライブが搭載されたモデルなどが表示されます。

Secondary Master

プライマリマスタの設定と同様です。工場出荷時に内蔵されている CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはDVD-RAM/R/RWドラ イブが表示されます。

Secondary Slave

プライマリマスタの設定と同様です。本機では、5インチベイに増設されるIDEデバイスが表示されます。

**Processor Settings** 

搭載されているCPUの内容を表示します。

選択項目	選択内容	説明
Hyper-Threading	Disabled	搭載しているCPUのHyper-
Technology	Enabled	Threading機能を利用できるように
		設定します。MA30Y/Mの場合に表
		示されます。Windows XPモデルで
		は「Enabled」に、その他は「Disabled」
		に設定されています。Windows XP
		モデル以外の場合は、本項目の設定
		は変更しないでください。また、
		Windows XPモデルで設定を変更
		する場合は、システムを再セットアッ
		プする必要があります。『活用ガイド
		再セットアップ編』をご覧になり、再セッ
		トアップしてください。
Processor POST	(表示項目です)	搭載されているCPUの速さ(クロッ
speed setting		ク数 )を表示します。
Processor	(表示項目です)	搭載されているCPUの種類を表示し
Туре		ます。
Processor L2	(表示項目です)	搭載されているCPUのセカンドキャッ
Cache Size		シュの容量を表示します。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Language()

BIOSで使用する言語を設定します。日本語または英語を選択できます。工場出荷時は「English(US)」に設定されています。

# PCI Configurationの設定

### PCI Configurationの設定

「Advanced」「PCI Configuration」では、本体内蔵のPCI機器の機能に ついて設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワー ドで起動したときに変更可能な項目です。

	選択項目	選択内容	説明
0	n board		この項目にカーソルを合わせて【Enter】
L	AN device		を押すと、サブメニューの設定画面に
(	)		なります。
	LAN	Disabled	本体内蔵LAN機能の有効/無効を設
	Controller	Enabled	定します。
	Option	Enabled	本体内蔵LAN機能の初期化の有効/
	ROM Scan	Disabled	無効を設定します。IDE-RAIDボード
			を搭載したモデルは「Disabled」、そ
			の他は「Enabled」に設定されてい
			ます。
0	n board		この項目にカーソルを合わせて【Enter】
υ	SB device		を押すと、サブメニューの設定画面に
(	)		なります。
	USB	Disabled	本体内蔵USBコネクタの有効/無効
	Controller	Enabled	を設定します。
	USB2.0	Disabled	USB2.0の有効/無効を設定します。
	Controller	Enabled	

選択項目	選択内容	説明
PCI Slot 1	Enabled	PCIスロット1に挿入する機器に搭載
Option ROM	Disabled	されているオプションROMの初期化
		の有効/無効を設定します。 PCIスロッ
		ト1にIDE-RAIDボードを搭載したモ
		デルの場合、設定を変更しないでくだ
		さい。
PCI Slot 2	Enabled	PCIスロット2に挿入する機器に搭載
Option ROM	Disabled	されているオプションROMの初期化
		の有効/無効を設定します。
PCI Slot 3	Enabled	PCIスロット3に挿入する機器に搭載
Option ROM	Disabled	されているオプションROMの初期化
		の有効/無効を設定します。
PCI Slot 4	Enabled	PCIスロット4に挿入する機器に搭載
Option ROM	Disabled	されているオプションROMの初期化
		の有効/無効を設定します。
PCI Slot 5	Enabled	PCIスロット5に挿入する機器に搭載
Option ROM	Disabled	されているオプションROMの初期化
		の有効/無効を設定します。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

# Peripheral Configurationの設定

### Peripheral Configurationの設定

「Advanced」「Peripheral Configuration」では、周辺機器の機能について設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

選択項目	選択内容	説 明
Serial Port 1	Disabled	シリアルポート1( COMポート、シリア
I/O Address	3F8	ルコネクタ)の設定をします。
	2F8	「Disabled」に設定すると他のデバ
	3E8	イスにリソースを開放し、PnP対応
	2E8	OSがシリアルポートを使用できない
		ようにします(1/0ロック)。
Serial Port 1	3	シリアルポート1( COMポート、シリア
Interrupt	4	ルコネクタ )で使用するIRQの設定を
		します。
Serial Port 2	Disabled	シリアルポート2( COMポート、シリア
I/O Address	3F8	ルコネクタ)の設定をします。
	2F8	「Disabled」に設定すると他のデバ
	3E8	イスにリソースを開放し、PnP対応
	2E8	OSがシリアルポートを使用できない
		ようにします(1/0ロック)。
Serial Port 2	3	シリアルポート2( COMポート、シリア
Interrupt	4	ルコネクタ )で使用するIRQの設定を
		します。
Parallel Port	Disabled	パラレルポート( プリンタポート、パラ
I/O Address	378	レルコネクタ)の設定をします。
	278	「Disabled」に設定すると他のデバ
		イスにリソースを開放し、PnP対応
		OSがパラレルポートを使用できない
		ようにします(1/0ロック)。

選択項目	選択内容	説明
Parallel Port	Output only	パラレルポートの動作モードを設定し
Mode	<b>Bi-directional</b>	ます。ご利用のプリンタのモードにつ
	EPP	いてはプリンタのマニュアルをご覧く
	ECP	ださい。
Parallel Port	5	パラレルポートで使用するIRQを設定
Interrupt	7	します。
Parallel Port	1	パラレルポートで使用するDMAチャ
DMA channel	3	ネルを設定します。「Parallel Port
		Mode」の設定が「ECP」の場合に設
		定可能となります。
Legacy USB	Disabled	USB接続のキーボードおよびマウス
Support	Enabled	のレガシー機能の有効/無効を設定し
		ます。
Mouse Port	Disabled	PS/2接続のマウスの有効/無効を設
	Enabled	定します。
Audio	Disabled	内蔵サウンド機能の有効/無効を設定
	Enabled	します。
IDE Controller	Disabled	内蔵用のIDEアダプタを使用するか
	Primary	を設定します。「Primary」ではセカ
	Secondary	ンダリマスタ/スレープ接続のIDEデ
	Both	バイスが、「 Secondary 」ではプライ
		マリマスタ/スレーブ接続のIDEデバ
		イスが、「Disabled」ではすべての
		IDEデバイスが使用できなくなります
		(1/0ロック)。

4. システム設定(ミニタワー型の場合)

網かけの部分は、工場出荷明

は、工場出荷時の設定値です。

### メ モ I/O**ロック**

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューの「Advanced」 「PCI Configuration」または「Peripheral Configuration」でI/Oを 「Disabled」に設定することでロックを有効にすることができます。対象

となるインターフェイスは、フロッピーディスクドライブ、シリアルポート1(「Serial Port 1 I/O Address」) シリアルポート2(「Serial Port 2 I/ O Address」) パラレルポート(「Parallel Port I/O Address」) USBコ ネクタ(「USB Controller」)です。

# Memory Configurationの設定

### Memory Configurationの設定

「Advanced」「Memory Configuration」では、メモリの機能について設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

選択項目	選択内容	説明
Memory size	(表示項目です)	搭載されているメモリの総容量を表示します。

# Advanced Chipset Control**の設定**

### Advanced Chipset Controlの設定

「Advanced」「Advanced Chipset Control」では、チップセット固有の 詳細な機能について設定します。()マークが付いている設定項目は、 ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

ACPI**対応のオペレーティングシステム(**Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000 )をご利用の場合、()マークの付いた項目は無効 になります。

選択項目	選択内容	説明
Graphics	256Mb	本体AGPボード挿入のグラフィックカー
Aperture	128Mb	ドが使用するグラフィックアパーチャー
	64Mb	サイズを設定します。
	32Mb	
Wake On	Disabled	シリアルポートに接続したデバイスで
Ring()	Enabled	電源オン、スタンバイから復帰するか
		を設定します。
Wake On	Disabled	本体内蔵LANのWake On LAN機
LAN/PME	Enabled	能およびPCIデバイス( LANボードな
( )		ど)によって電源オン、スタンバイから
		復帰するかを設定します。リモートパ
		ワーオン機能を利用するには、本項目
		を「Enabled」に設定します。
Reset	Νο	PCIボードなどのプラグ&プレイ機器
Cofiguration	Yes	の設定値のみを初期化したい場合には、
Data		「Yes」を選択します。工場出荷時は
		「No」に設定されています。ただし、
		「Yes」に設定した後、再度BIOSセッ
		トアップメニューを起動すると「No」
		に戻ります。

網かけの部分

は、工場出荷時の設定値です。

選択項目	選択内容	説明
NumLock	On	コンピュータ起動時にNum Lockす
	Off	るかを設定します。「On」の場合、接
		続されているキーボードの種類に関
		わらず、起動時にNum Lockされます。
		「Off」の場合、接続されているキーボー
		ドの種類に関わらず、起動時にNum
		Lockされません。
Boot-time	Disabled	起動時に自己診断画面を表示するか
Diagnostic	Enabled	を設定します。「Enabled」にすると
Screen		NECのロゴを表示せずに自己診断画
		面を表示します。
ACPI Suspend	S 3	ACPIモードのスリープ状態を設定し
Туре	S1	ます。本項目の設定は変更しないでく
		ださい。

# Securityの設定

### Securityの設定

Securityでは、スーパバイザパスワードおよびユーザパスワードの設定 をします。パスワードに使用できる文字は半角英数字のみで、8文字以内 でなければなりません。また、大文字/小文字の区別はありません。() マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変 更可能な項目です。

- - ・ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、および無効にしておいてください。
  - 参照 NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

選択項目	選択内容	説明
User	(設定項目はあ	「Set」が表示された場合、ユーザパス
Password is	りません)	ワードが設定されています。「 Clear 」
		が表示された場合、ユーザパスワード
		が設定されていません。
Supervisor	(設定項目はあ	ユーザパスワードと同じ内容です。
Password is	りません)	
Set User	(パスワードを	項目にカーソルをあわせて【Enter】
Password( )	設定します)	を押すとユーザパスワードの設定画
		面になります。スーパバイザパスワー
		ドが設定されていないときは設定で
		きません。

# 項目の右側に()マークが付いている設定項目は、パスワードを設定したときに表示される項目です。

選択項目	選択内容	説明
Set Supervisor	(パスワードを	ユーザパスワードと同じ内容です。
Password	設定します)	
Password on	Disabled	起動時にパスワード入力を行うかの
boot( )	Enabled	設定をします。
Fixed disk	Normal	ハードディスク起動セクタを書き込み
boot sector	Write Protect	禁止にするかの設定をします。「Write
		Protect」にすると起動セクタをウィ
		ルスから保護します。
Secure Mode	Disabled	キーボードによってセキュアモードに
Hotkey()	Enabled	移行する設定をします。
Ctrl + Alt +	L[A~Zまたは	セキュアモードに移行するキー割り当
( )	0~9の任意の	てを設定します。【Ctrl】+【Alt】+【(任
	1文字]	意のキー )】を押すとセキュリティモー
		ドに移行します。
Secure Mode	Disabled	システム起動時にセキュアモードに移
Boot()	Enabled	行するかを設定します。
Power Switch	Disabled	電源スイッチの機能の有効/無効を
	Enabled	設定します。「Enabled」に設定すると、
		OSの起動後は電源スイッチで電源を
		OFFできなくなります( 強制シャット
		ダウン(電源ボタンを4秒以上押して
		強制的にシャットダウンさせる機能)
		も含む)。
Floppy Write	Write Protect	フロッピーディスク起動セクタを書き
Protect	Normal	込み禁止にするかを設定をします。
		「Write Protect」にすると起動セク
		タをウィルスから保護します。
Chassis	Disabled	筐体の開閉監視を設定します( ルーフ
Intrusion	Enabled	カバーオープン検知)。メッセージを
		解除する場合は、「Reset chassis
		intrusion」を「Yes」にして再起動
		してください。

選択項目	選択内容	説明
Reset chassis	Νο	筐体の開閉監視の初期化を設定します。
intrusion	Yes	【Enter】を押し、「Yes」で初期化し
		ます。再起動時には「No」に設定され
		ます。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

メモ セキュアモード

セキュアモード(Secure Mode)は、ユーザパスワードを持つ利用者以外 からのアクセスを制限するモードです。セキュアモードを解除するまで キーボード、マウスは機能しません。セキュアモードの状態にある本機を 通常の状態に戻すには、キーボードからユーザパスワードを入力してく ださい。なお、「Legacy USB Support」の項目を「Disabled」に設定した場 合およびOS起動後はロックされません。

ジチェック!! ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、および無効にしておいてください。

参照 NEC のお問い合わせ先 『NEC PC あんしんサポートガイド』

### パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューを起動 して「Security」の「Set Supervisor Password」にパスワードを入れて、 新しいパスワードに何も入れずに【Enter】を押すと解除されます。なお、 スーパバイザ/ユーザパスワードを忘れてしまった場合のパスワードの 解除方法については『ハードウェア拡張ガイド』PART6 付録」の「スト ラップスイッチの設定」をご覧ください。

● チェック! 無断でパスワードが解除されることを防ぐために、筐体ロックを使用することをおすすめします。(P.176)

# Serverの設定

### Serverの設定

サーバの機能について設定します。()マークが付いている設定項目は、 ユーザバスワードで起動したときに変更可能な項目です。

選択項目	選択内容	説明
System		この項目にカーソルを合わせて【Enter】
Managemen	t	を押すと、サブメニューの設定画面に
		なります。
Board Part	# (表示項目です)	ボード型番を表示します。
Board Seria	#	ボードシリアルナンバーを表示します。
System Par	#	製品型番を表示します。
System Seria	#	製品シリアルナンバーを表示します。
Chassis Par	#	本項目は表示されません。
Chassis Seria	#	本項目は表示されません。
BIOS Versi	on	本機のBIOSのリビジョンナンバーを
		表示します。
AC-LINK	Stay Off	AC電源(AC100V)が失われ、電源
	Last State	を再投入したときの復旧状態を設定
	Power On	します。「Stay Off」はAC電源投入
		時に電源は入らないように、「Power
		On」はAC電源投入時に電源が入る
		ように、「Last State」はAC電源が
		失われたときの状態に設定します。
Temparatur	e Disabled	温度センサーを使用する設定をします。
Sensor	Enabled	
Upper Limit	50	温度センサーが感知する上限温度を
		設定します。「Temparature Sensor」
		で「Enabled」を選択した場合に表
		示されます。本項目の設定は変更し
		ないでください。

選択項目	選択内容	説明
Lower Limit	5	温度センサーが感知する下限温度を
		設定します。「Temparature Sensor」
		で「Enabled」を選択した場合に表
		示されます。本項目の設定は変更し
		ないでください。
Post Error	Disabled	自己診断機能の実行中にエラーが発
Pause	Enabled	生した際に自己診断の終わりで自己
		診断をいったん停止するかどうかを
		設定します。



### 起動順位の設定

### 起動するデバイスを優先順に従ってリスト表示します。本機を起動する デバイス(ブートデバイスともいいます)を設定します。

設定内容	説明
+Removable Devices	本機を起動するデバイスの順番を決めます。
CD-ROM Drive	設定したデバイスの上から順番に起動されま
+Hard Disk	す。
IBA GE Slot xxxx	
Vxxxx	



- ✓ チェック // ・使用環境にあわない起動順序に変更すると正常に動作しなくなる場合が ありますので、変更には十分注意してください。
  - 使用環境によっては、上記内容の項目が増えることがあります。



# システム設定(Mate R スリムタワー型の場合)

この章では、Mate R スリムタワー型のBIOSセットアップメニューについて説明します。BIOSセットアップメニューは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

### この章の読み方

次ページの「BIOSセットアップメニューについて」を読んだ後に、目的に あわせて該当するページをお読みください。

### この章の内容

BIOSセットアップメニューについて	250
Main <b>の設定</b>	253
Advanced BIOS Featuresの設定	255
Advanced Chipset Featuresの設定	260
Integrated Peripheralsの設定	261
Power Management Setupの設定	266
PnP/PCI Configurationsの設定	271
Securityの設定	273
PC Healthの設定	275

# BIOSセットアップメニューについて

本機には、使用環境を設定するためにBIOSセットアップメニューが内蔵 されています。

### BIOSセットアップメニューの起動と初期画面

1 電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to enter SETUP, F12 to Network Boot.」と表示 されたら、【F2】を押す 以下の画面が表示されます。



チェック? ディスプレイ特性により、「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2]を押すタイミングが計れない場合があります。この場合は、本体の電源を入れた直後、BIOSセットアップメニューが表示されるまで【F2]を数回押してください。

#### メモ

#### BIOSセットアップメニューの基本操作

- ・【 】 】 】 】で設定項目および設定項目内を選択します。
- ・「Date」Time 」の設定ではカーソル移動は【Tab 】で行います。
- ・【Enter】で設定項目を表示します。
- ・【+】-】で設定項目を移動します。

### BIOSセットアップメニューの終了

### メニューバーの<sup>F</sup>Exit 」の選択項目

選択項目	説明
Save & Exit Setup	変更した内容を保存してから終了します。
	(【F10】を押す終了方法と同じ)
Exit Without Saving	変更した内容を保存せずに終了します。
Discard Changes	変更前の値に戻します。
Save Changes	変更した値を保存します。

### 工場出荷時の設定値に戻す

工場出荷時の設定値に戻す方法について説明します。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」ロゴの画面で、「Press F2 to enter SETUP, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す BIOSセットアップメニューが表示されます。
- 3 【F9 】を押す

「load Default Setting (Y/N )」と表示されます。

- 4 【Y】を押し、【Enter】を押す
  工場出荷時の設定値を読み込みます。
- 5 以下の手順を行う

Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000の場合 手順6へ進む

Windows Me**の場合** 

メニューバーの「Advanced」「Integrated Peripherals」の 「USB 2.0 Controller Support」を「Disabled」にする

6 【F10】を押す

「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)」と表示されます。

## 7 【Y】を押し、【Enter】を押す

設定値が保存され、BIOSセットアップメニューが終了します。

以上で作業は終了です。
# Main**の設定**

#### Mainの設定

日時の設定や、ハードディスクののようなIDE機器の設定など、BIOSの 基本的な項目を設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザ パスワードで起動したときに変更可能な項目です。

Date (mm:dd:yy) ) 日付を「曜日(表示のみ)/月/日/年」で入力します。

Time(hh:mm:ss)) 現在の時刻を「時:分:秒」で入力します。

IDE Primary Master 現在マザーボードのIDEインタフェースに接続されているIDEデバイ ス(工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ)が表示され ます。この項目にカーソルをあわせ【Enter】を押すと設定画面となりま す。

▼チェック// 本項目の設定は変更しないでください。

**IDE Primary Slave** 

プライマリマスタの設定と同様です。本機では、増設ハードディスクド ライブなどを接続して利用することはできません。

▼チェック! 本項目の設定は変更しないでください。

IDE Secondary Master

プライマリマスタの設定と同様です。工場出荷時に内蔵されている CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブの設定画面となります。

▼チェック!/ 本項目の設定は変更しないでください。

**IDE Secondary Slave** 

プライマリマスタの設定と同様です。本機では、CD-ROMドライブな どを接続して利用することはできません。

▼チェック! 本項目の設定は変更しないでください。

Drive A( )

フロッピーディスクドライブAのモードを選択します。「None」にする とフロッピーディスクドライブが使用できなくなります。(I/Oロック)

選択項目	選択内容
Drive A	None
	360K, 5.25 in.
	1.2M, 5.25 in.
	720K, 3.5 in.
	1.44M, 3.5 in.
	2.88M, 3.5 in.

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

Floppy 3 Mode Support

フロッピーディスクドライブを3モード(720KB、1.2MB、1.44MB)対応にするドライブを選択します。

選択項目	説 明
Disabled	フロッピーディスクを3モード対応にしない。
Drive A	Aドライブのフロップピーディスクを3モー
	ド対応にする。
Drive B	Bドライブのフロップピーディスクを3モー
	ド対応にする。本項目を選択しないでくだ
	さい。
Both	AドライブとBドライブのフロップピーディ
	スクを3モード対応にする。

網かけの部分は、工場出荷時の設定値です。

**BIOS** Version

搭載されているBIOSのリビジョンを表示します。

Base Memory **基本メモリの容量を表示します。** 

Extended Memory 搭載されている拡張メモリの容量を表示します。

Total Memory 搭載されているメモリの総容量を表示します。

## Advanced BIOS Featuresの設定

#### Advanced BIOS Featuresの設定

「Advanced」「Advanced BIOS Features」では、BIOS固有の詳細な機能について設定します。()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで起動したときに変更可能な項目です。

#### ×E

各設定内容で起動する装置は次の通りです。

- Floppy ..... 工場出荷時に内蔵されているフロッピーディスク
   ドライブ
- ・LS120 ...... スーパーディスクドライブ等のATAPIリムーバ ブルメディアデバイス
- Hard Disk-0~3 工場出荷時に内蔵されているハードディスクドライブ
   Hard Disk-0:Primary Master(ハードディスクドライブ)
   Hard Disk-1、Hard Disk-2、Hard Disk-3は設定しないでください。
- ・ CDROM ...... 工場出荷時に内蔵されているCD-ROMドライブ またはCD-R/RWドライブ
- ・ ZIP100 ...... ZIPドライブ等のATAPIリムーバブルメディアデバイス
- LAN ...... 工場出荷時に内蔵されているLANボード
- ・ Disabled ..... 使用しない

選択項目	選択内容	説明
CPU L1 & L2	Disabled	CPUの内部キャッシュ(L1)
Cache	Enabled	および外部キャッシュ(L2)
		を有効/無効を設定します。
Quick Power	Disabled	コンピュータ起動時のクイッ
On Self Test	Enabled	クブートの使用を設定しま
		す。「Enabled」の場合、
		一部のテストをスキップす
		るので、本機の起動時間が
		短縮されます。

網かけの部分

選択項目	選択内容	説明
Hard Disk	1.Pri.M( HD name )	起動するハードディスクの
Boot Priority	2.Bootable Add-in Cards	優先順位を設定します。
		<sup>r</sup> Bootable Add-in Cards J
		は、外付けのSCSIボード
		などからの起動になります。
First Boot	Floppy	デバイスの優先順位を指
Device	LS120	定します。起動順位は
	Hard Disk	First Boot Deviceに指
	CDROM name	定したディスク装置から順
	ZIP100	番に起動されます。
	Legacy Lan	
	Onboard Lan	
	Lan(PCI1)	
	Lan( PCI2 )	
	Lan(PCI3)	
	Disabled	
Second Boot	Floppy	デバイスの優先順位を指
Device	LS120	定します。起動順位は
	Hard Disk	Second Boot Device
	CDROM name	に指定したディスク装置か
	ZIP100	ら順番に起動されます。
	Legacy Lan	
	Onboard Lan	
	Lan(PCI1)	
	Lan( PCI2 )	
	Lan( PCI3 )	
	Disabled	

選択項目	選択内容	説 明
Third Boot	Floppy	デバイスの優先順位を指
Device	LS120	定します。起動順位は
	Hard Disk	Third Boot Deviceに指
	CDROM name	定したディスク装置から順
	ZIP100	番に起動されます。
	Legacy Lan	
	Onboard Lan	
	Lan(PCI1)	
	Lan( PCI2 )	
	Lan(PCI3)	
	Disabled	
Boot Other	Disabled	「First Boot Device」
Device	Enabled	から「Third Boot Device」
		で設定された機器で起動
		できない場合、他のデバイ
		スから起動します。
Boot Up	Off	コンピュータ起動時にNum
NumLock	On	Lockするかを設定します。
Status		「On」の場合、接続されて
		いるキーボードの種類に関
		わらず、起動時にNum
		Lockされます。「Off」の場
		合、接続されているキーボー
		ドの種類に関わらず、起動
		時にNum Lockされません。
		Windows XP、Windows XP
		Home、Windows 2000では、
		Windows上での設定が
		優先されます。
ATA 66/100	Disabled	ハードディスクドライブを
Msg	Enabled	Ultra ATA 66/100モー
		ドで使用している確認のメッ
		セージの表示/非表示を設
		定します。
Typematic	Disabled	キーリピート間隔の有効/
Rate Setting	Enabled	無効を設定します。

網かけの部分

選択項目	選択内容	説明
Typematic	6 、8、10、12、15、20、	キーボードのキーを押しつ
Rate	24、30	づけた場合に、1秒間に入
(Chars/Sec)		力される文字数を設定しま
		す。「Typematic Rate
		Setting」で「Enabled」
		を選択した場合に設定可能
		になります。
Typematic	250、500、750、1000	キーボードのキーを押しつづ
Delay( Msec )		けた場合に、何秒後にリピー
		ト入力が実行されるかを設定
		します。「Typematic
		Rate Setting」で <sup>r</sup> Enabled」
		を選択した場合に設定可能
		になります。
APIC Mode	Disabled	APIC機能の有効/無効を
	Enabled	設定します。本項目の設定
		は変更しないでください。
HDD	Disabled	ハードディスクドライブに対し
S.M.A.R.T	Enabled	てSMART(Self-
Capability		Monitoring, Analysis,
		And Reporting Technology)
		機能を設定します。
		「Enabled」の場合、ハー
		ドディスクドライブの状態
		を監視して、異常を検知し
		ます。 SMART機能に対応
		したハードディスクドライ
		ブが必要です。
Full Screen	Disabled	「Disabled」に設定する
LOGO Show	Enabled	と起動時にBIOSチェック
		情報を表示します。
		「Enabled」にすると
		NECのロゴ画面が表示さ
		れます。
DMI Event	Disabled	「Enabled」でDMIイベン
Log	Enabled	トログを記録します。

選択項目	選択内容	説明
Clear All DMI	No	DMIイベントログの消去を
Event Log	Yes	設定します。消去する
		(「Yes」)に設定し設定を
		保存して終了すると、DMI
		イベントログを消去します。
		再起動後は消去しない
		(「No」)になります。
View DMI	(表示項目です)	【Enter】を押すと、DMIイ
Event Log		ベントログ情報(履歴)が
		表示されます。
Mark DMI	(表示項目です)	【Enter】を押すと、"Mark
Events as		DMI Event Log (Y/N)?"
Read		と表示されます。「Y」を選
		択すると表示されている
		ログは既読状態となります。

網かけの部分

### Advanced Chipset Featuresの設定

#### Advanced Chipset Featuresの設定

「Advanced」「Advanced Chipset Features」では、チップセット固有の 詳細な機能について設定します。

選択項目	選択内容	説明
System BIOS	Disabled	システムBIOS ROMをキャッ
Cacheable	Enabled	シュメモリにコピーして使用す
		るかどうかを設定します。
Video BIOS	Disabled	ビデオRAMをキャッシュメモ
Cacheable	Enabled	リにコピーして使用するかどう
		かを設定します。
Delayed	Disabled	ISAバスアクセス中にPCI
Transaction	Enabled	バスを解放するかどうかを
		設定します。
Delay Prior	4 Min、8 Min、16 Min、	本項目の設定は変更しな
to Thermal	32 Min	いでください。
On-Chip VGA	Enabled	内蔵ビデオアダプタの使
	Disabled	用を設定します。本項目の
		設定は変更しないでくださ
		61.
On-Chip Frame	1 M B	ビデオアダプタで使用するメ
Buffer Size	8 M B	インメモリサイズを設定します。

網かけの部分

### Integrated Peripheralsの設定

#### Integrated Peripheralsの設定

「Advanced」「Integrated Peripherals」では、周辺機器の機能について 設定します。

選択項目	選択内容	説明
IDE DMA	Disabled	IDE機器のDMA転送モー
transfer access	Enabled	ドの有効/無効を設定します。
IDE Primary	Auto /Mode 0/Mode 1/	Primary Masterに接続
Master PIO	Mode 2/Mode 3/Mode 4	したIDE機器(ハードディ
		スクドライブ )のPIOモード
		を設定します。
IDE Primary	Auto /Mode 0/Mode 1/	Primary Slaveに接続し
Slave PIO	Mode 2/Mode 3/Mode 4	たIDE機器のPIOモードを
		設定します。
IDE Primary	Disabled	Primary Masterに接続
Master	Auto	したIDE機器( ハードディス
UDMA		クドライブ )のUDMAモー
		ドの有効/無効を設定します。
IDE Primary	Disabled	Primary Slaveに接続し
Slave UDMA	Auto	たIDE機器のUDMAモー
		ドの有効/無効を設定します。
IDE	Auto /Mode 0/Mode 1/	Secondary Masterla
Secondary	Mode 2/Mode 3/Mode 4	接続した10E機器(CD-
Master PIO		ROMドライブまたはCD-
		R/RWドライブ )のPIOモー
		ドを設定します。
IDE	Auto /Mode 0/Mode 1/	Secondary Slaveに接
Secondary	Mode 2/Mode 3/Mode 4	続したIDE機器のPIOモー
Slave PIO		ドを設定します。

網かけの部分

選択項目	選択内容	説 明
IDE Secondary	Disabled	Secondary MasterIC
Master UDMA	Auto	接続したIDE機器(CD-
		ROMドライブまたはCD-
		R/RWドライブ )のUDMA
		モードの有効/無効を設定
		します。
IDE Secondary	Disabled	Secondary Slaveに接
Slave UDMA	Auto	続したIDE機器のUDMA
		モードの有効/無効を設定
		します。
USB 2.0	Enabled	USB2.0コントローラー
Controller Support	Disabled	の有効/無効を設定します。
		Windows XP、Windows
		XP Home、Windows 2000
		では「Enabled」、Windows
		Meでは「Disabled」に設定
		されています。
USB	USB 1	USBコントローラーを設定
Controller	USB 1 & USB 2	します。「USB 1」では本体
	Disabled	背面のUSBコネクタのみが
		使用可能になります。「USB
		1 & USB 2」ではすべて
		のUSBコネクタが利用可能
		になります。「 Disabled 」で
		はUSB機器が使用できませ
		ん( 1/0ロック )。
Legacy USB	Disabled	USB接続のキーボードの
Keyboard	Enabled	レガシー機能の有効/無効
support		を設定します。
Legacy USB	Disabled	USB接続のマウスのレガ
Mouse support	Enabled	シー機能の有効/無効を設
		定します。
AC97 Audio	Auto	AC97 Audio機能の有効
	Disabled	/無効を設定します。
AC97 Modem	Auto	AC97 Modem機能の有
	Disabled	効/無効を設定します。

選択項目	選択内容	説 明
Init Display	PCI Slot	内蔵ビデオアダプタとPCI
First	Onboard	スロットにグラフィックボー
		ドに装着した場合、どちら
		を優先して使用するかを
		設定します。「PCI Slot」
		ではPCIスロットに装着し
		たグラフィックボード、
		「Onboard」では内蔵ビ
		デオアダプタを優先して使
		用します。
IDE HDD	Disabled	IDE HDDのブロックモー
Block Mode	Enabled	ドの有効/無効を設定します。
Onboard LAN	Disabled	内蔵のLAN機能の有効/
Control	Enabled	無効を設定します。
Onboard Lan	Disabled	ネットワークブート機能の
Boot ROM	Enabled	有効/無効を設定します。
Onboard	Disabled、3F8/IRQ4、	シリアルポートAのI/Oポー
Serial Port 1	2F8/IRQ3、3E8/IRQ4、	トアドレスとIRQを設定し
	2E8/IRQ3、Auto	ます。
Onboard	Disabled $\$ 3F8/IRQ4 $\$	シリアルポートBのI/Oポー
Serial Port 2	2F8/IRQ3、3E8/IRQ4、	トアドレスとIRQを設定し
	2E8/IRQ3、Auto	ます。本項目の設定は変更
		しないでください。
UART Mode	IrDA	<sup>r</sup> Onboard Serial Port
Select	ASKIR	2」の設定が「Disabled」
	Normal	以外の場合、設定可能です。
		本項の設定は変更しない
		でください。
RxD, TxD Active	Hi, Hi	「UART Mode Select」
	Hi, Lo	の設定が「Normal」以外
	Lo, Hi	の場合、設定可能です。本
	Lo, Lo	項目の設定は変更しない
IR Transmision	Disabled	でください。
Delay	Enabled	
UR2 Duplex	Full	
Mode	Half	

網かけの部分

選択項目	選択内容	説明
Use IR Pins	RxD2, TxD2	「UART Mode Select」
	IR-Rx2Tx2	の設定が「Normal」以外
		の場合、設定可能です。本
		項目の設定は変更しない
		でください。
Onboard	Disabled、378/IRQ7、	パラレルポートの1/0ポー
Parallel Port	278/IRQ5、3BC/IRQ7	トアドレスとIRQを設定し
		ます。
Parallel Port	SPP	パラレルポートの動作モー
Mode	EPP	ドを設定します。
	ECP	「SPP」: Standard
	ECP+EPP	Parallel Portを指定します。
	Normal	「EPP」:Enhanced
		Parallel Portを指定します。
		「ECP」:Extended
		Capabilities Parallel
		Portを指定します。
		「ECP+EPP」:ECPと
		EPPの両方のモードを指
		定します。
		「Normal」:一方向のみ通
		常の速度での転送を指定
		します。
EPP Mode	EPP1.9	パラレルポートのEPPモー
Select	EPP1.7	ドを設定します。「Parallel
		Port Mode」の設定が
		「EPP」「ECP+EPP」の
		場合に設定可能です。
ECP Mode	1	パラレルポートで使用する
Use DMA	3	DMAチャネルを設定しま
		す。「Parallel Port Mode」
		の設定が「ECP」
		「ECP+EPP」の場合に設
		定可能です。

選択項目	選択内容	説明
AC-Power	Off	停 電 な ど で A C 電 源
Lost	On	(AC100V)が失われ、電
	Former-Sts	源が復旧したときに、どの
		状態に復旧するかを設定
		します。
		「Off」:電源復旧時に電源
		が入らないようにします。
		「On」:電源復旧時に電源
		が入るようにします。
		「Former-Sts」:AC電源
		が失われたときの状態に
		戻します。電源が入ってい
		る状態でAC電源が切れた
		場合は、電源が入ります。
		電源が切れている状態で
		AC電源が切れた場合は、
		電源は入りません。

メ モ I/O**ロック** 

I/Oロックは、外部とのデータ交換の手段であるI/Oを使用しないように する(ロックする)機能です。BIOSセットアップメニューの「Advanced」 「Integrated Peripherals」でI/Oを「Disabled」に設定することでロッ クを有効にすることができます。対象となるインターフェイスは、フロッ ピーディスクドライブ、シリアルポート(Onboard Serial Port 1)パラ レルポート(Onboard Parallel Port )、USBポート(USB Contoller )です。

### Power Management Setupの設定

#### Power Management Setupの設定

「Advanced」「Power Management Setup」では、チップセット固有の 詳細な機能について設定します。

省電力の設定を行うための設定項目について説明します。

ACPI**対応のオペレーティングシステム(**Windows XP、Windows XP Home、Windows 2000、Windows Me)をご利用の場合、()マークがつ いている設定項目は無効になります。特に「HDD Power Down」、 「Suspend Mode」、「Soft-Off by PWR-BTTN」は、ACPI対応の各オペレー ティングシステムの電源管理の項目で設定してください。

メモ

電源管理の設定 Windowsのヘルプ

選択項目	選択内容	説明
ACPI Suspend	S1(POS)	ACPIモードのスリープ状態
Туре	S3(STR)	を設定します。
	S1& S3	
Run VGABIOS if	Auto Yes No	本項目の設定は変更しな
S3 Resume		いでください。
Video Off	Blank Screen	ディスプレイの画面をオフ
Method()	V/H SYNC+Blank	にする方法を設定します。
	DPMS	「Blank Screen」:映像
		信号のないとき、画面をオ
		フにします。
		「V/H SYNC+Blank」:
		VGAからディスプレイへの
		素直同期/水平同期信号を
		停止し、なおかつ画面をオ
		フにします。
		「DPMS」:DPMSモード
		にします。
Video Off In	No	ディスプレイをサスペンド
Suspend()	Yes	させるかどうかを設定しま
		す。本項目の設定は変更し
		ないでください。
Suspend	Stop Grant	本項目の設定は変更しな
Type()	PwrOn Suspend	いでください。
MODEM Use	NA、3、4、5、7、9、10、	FAXモデムに割り当てる
IRQ()	11	IRQを設定します。

網かけの部分

選択項目	選択内容	説 明
Suspend	Disabled 1 Min 2 Min	本機の省電力機能のタイ
Mode()	4 Min、8 Min、12 Min、	ムアウト時間を分単位で設
	20 Min、30 Min、40Min、	定します。本機への操作を
	1 Hour	しない状態で設定した時
		間が経過すると、スタンバ
		イ状態になります。
		「Disabled」の場合スタ
		ンバイしません。本項目の
		設定は変更しないでくださ
		61.
HDD Power	Disabled 1 Min~15 Min	ハードディスクの電源が自
Down()		動的に切れるまでの時間
		を設定する(1 Min~15
		Min ), しない( Disabled )
		を設定します。なお、10分
		未満に設定した場合、設定
		した時間になってもハード
		ディスクドライブの電源が
		切れないこともありますの
		でご注意ください。
Soft-Off by	Instant-Off	本項目の設定は変更しな
PWR-BTTN()	Delay 4 Sec	いでください。
CPU THRM-	87.5%、75.0%、62.5%、	CPUの温度を抑制するた
Throttling	50.0% \37.5% 25.0%	めにクロックスピードを設
	12.5%	定します。本項目の設定は
		変更しないでください。
Resume on	Disabled	PCIデバイス(LANボード
PME	Enabled	等)によって電源を操作し
		ます。リモートパワーオン
		機能を利用するには、本項
		目を「Enabled」に設定し
		ます。

選択項目	選択内容	説明
Power On by	Disabled	FAXモデムのリング機能
Ring()	Enabled	で電源オン、スタンバイか
		ら復帰するかを設定します。
USB KB	Disabled	S3(スタンバイ状態)から
Wake-Up	Enabled	USB接続のキーボードに
From S3		よる復帰/復帰しないを設
		定します。
PS2 KB	Disabled	S3(スタンバイ状態)から
Wake Up	Enabled	PS/2接続のキーボードに
from S3		よる復帰/復帰しないを設
		定します。
PS2 Mouse	Disabled	S3(スタンバイ状態)から
Wake Up	Enabled	PS/2接続のマウスによる
from S3		復帰/復帰しないを設定し
		ます。
Resume by	Disabled	内蔵時計(RTC:リアルタイ
Alarm()	Enabled	ムクロック)による、電源オ
		フ、スタンバイからの復帰
		を設定します。
Date( of Month )	[0~31]	内蔵時計によって電源を
Alarm()		入れる日を設定します。
Time( hh:mm:ss )	[0~23]:[00~59]:[00	内蔵時計によって電源を
Alarm()	~ 59]	入れる時間( 1時間単位 )、
		分(1分単位)、秒(1秒単位)
		を設定します。

網かけの部分

選択項目	選択内容	説明
Primary IDE 0	Disabled	Primary Masterに接続
	Enabled	されたIDE機器からのスタ
		ンバイからの復帰を設定し
		ます。
Primary IDE 1	Disabled	Primary Slaveに接続さ
	Enabled	れたIDE機器からのスタン
		バイからの復帰を設定します。
Secondary	Disabled	Secondary Masteric
IDE 0	Enabled	接続されたIDE機器から
		のスタンバイからの復帰を
		設定します。
Secondary	Disabled	Secondary Slaveに接
IDE 1	Enabled	続されたIDE機器からのス
		タンバイからの復帰を設定
		します。
FDD,COM,LPT	Disabled	フロッピーディスクドライブ、
Port	Enabled	シリアルポート、パラレル
		ポートに接続された機器に
		よるスタンバイからの復帰
		を設定します。
PCI PIRQ[A-D]#	Disabled	PCIボードに接続された機
	Enabled	器によるスタンバイからの
		復帰を設定します。

## PnP/PCI Configurationsの設定

#### PnP/PCI Configurationsの設定

Plug & PlayおよびPCIバスに取り付けられたボードについて設定します。

選択項目	選択内容	説明
PNP OS	No	プラグアンドプレイ対応
Installed	Yes	OSを利用している場合は、
		「Yes」を選択してください。
Reset	Disabled	「Enabled」を選択すると、
Configuration	Enabled	システム設定値の初期化
Data		を行います。ただし、再起
		動時には「Disabled」に
		戻ります。
Resources	Auto(ESCD)	プラグアンドプレイ対応デ
Controlled By	Manual	バイスへのリソースの設定
		方法を選択します。

網かけの部分

選択項目	選択内容	説明
IRQ Resources	3	この項目にカーソルを合
		わせて【Enter】を押すと、
		サブメニューの設定画面
		になります。「Resources
		Controlled By」で
		「Manual」を選択した場
		合に設定可能になります。
IRQ-3 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ3の設定を行います。
IRQ-4 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ4の設定を行います。
IRQ-5 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ5の設定を行います。
IRQ-7 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ7の設定を行います。
IRQ-9 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ9の設定を行います。
IRQ-10 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ10の設定を行います。
IRQ-11 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ11の設定を行います。
IRQ-12 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ12の設定を行います。
IRQ-14 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ14の設定を行います。
IRQ-15 assigned to	PCI Device /Reserved	IRQ15の設定を行います。
PCI/VGA	Disabled	本項目の設定は変更しな
Palette Snoop	Enabled	いでください。

### Security**の設定**

#### Securityの設定

Securityでは、スーパパイザパスワードおよびユーザパスワードの設定をします。パスワードに使用できる文字は半角英数字のみで、8文字以内でなければなりません。また、大文字/小文字の区別はありません。

- - ・ご購入元、またはNECに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除、および無効にしておいてください。
  - 参照 / NECのお問い合わせ先 『NEC PCあんしんサポートガイド』

項目の右側に()マークが付いている設定項目は、ユーザパスワードで 起動したときに変更可能な項目です。

選択項目	選択内容	説明
Set Supervisor	(パスワード入力)	スーパバイザパスワードの
Password		設定を行います。設定した
		場合、BIOSセットアップメ
		ニュー起動時にスーパバ
		イザパスワードを入力する
		必要があります。
Set User	(パスワード入力)	ユーザパスワードの設定
Password()		を行います。

◆チェック // スーパパイザパスワードを設定する前にユーザパスワードを設定してしまった場合は、ユーザパスワードを解除した後、スーパパイザパスワードを再設定してください。

選択項目	選択内容	説明
Security	Setup	パスワードを入力する場面
Option	System	を設定します。「Setup」
		ではBIOSセットアップメ
		ニュー起動時に、「System」
		ではシステム起動時と
		BIOSセットアップメニュー
		起動時にパスワードの入
		力を要求します。

#### パスワードの解除

スーパバイザ/ユーザパスワードは、BIOSセットアップメニューを起動 して Security of Set Supervisor Password statute Set User Password」にパスワードを入れて、新しいパスワードに何も入れずに 【Enter 】を押すと解除されます。なお、スーパバイザ/ユーザパスワードを 忘れてしまった場合のパスワードの解除方法についてばパードウェア 拡張ガイド』PART6 付録」の「ストラップスイッチの設定」をご覧くだ さい。

## PC Healthの設定

#### PC Healthの設定

CPU警告温度の設定や、CPUをシャットダウンする温度の設定など、パ ソコンの動作条件について設定します。

選択項目	選択内容	説明
Case Open	Disabled	「Enabled」を選択すると、
Warning	Enabled	本体のカバーが取り外さ
	Clear	れた状態では起動できな
		くなります( ルーフカバー
		オープン検知機能)。なお、
		メッセージを解除する場合
		は、「Clear」に設定して再
		起動してください。
CPU Warning	Disabled、50 /122 F、	CPU警告温度を設定しま
Temperature	53 /127 F、56 /133 F、	す。
	60 /140 F、63 /145 F、	
	66 /151 F、70 /158 F	

選択項目	選択内容	説明
Current	(Auto Detect)	CPUやFANなどのシステ
System Temp.		ムの状態を表示します。
Current CPU1		
Temperature		
Current		
SYSFAN1 Speed		
Current		
CPUFAN1 Speed		
CPU Vcore		
1.5V		
3.3V		
+5V		
+12V		
-12V		
-5V		
VBAT(V)		
5VSB(V)		
Shutdown	Disabled	システムをシャットダウン
Temperature	60 /140 F	する温度を設定します。
	65 /149 F	CPUの温度が設定値を越
	70 /158 F	えた場合、システムはシャッ
	75 /167 F	トダウンします。





この章の読み方

順番に読んでいく必要はありません。目的にあわせて該当するページを お読みください。

#### この章の内容

機能一覧	278
割り込みレベル・DMAチャネル	290
本機のお手入れ	295



型番の読み方

型番の表示場所や確認方法については、『はじめにお読みください』をご 覧ください。

#### 仕様一覧

#### スリムタワー型本体機能仕様

#### 表中の は、ご購入時に選択したモデル構成により異なります。

機種名				MA30V/B	MA25V/B	MA20V/B	MA17X/B
CPU	СР	U種別		インテル <sup>®</sup> Pentiu	m® 4プロセッサ		インテル <sup>®</sup>
							Celeron®
							プロセッサ
	クロ	ック周波数		3.06GHz	2.53GHz	2A GHz	1.70GHz
	内蔵	キャッシュメモリ	1次	12Kµ命令実行トレ	vースキャッシュ/8K	Bデータキャッシュ	注
			2次	512KB			128KB
	シス	テムバス		533MHz(メモリ/	(ス:266MHz)	400 MHz(メモリ)	バス:266MHz)
メモリ	BIO	S ROM( Flas	h ROM )	512KB、プラグ&:	プレイ対応		
	メイ	ンRAM		最大1GB DIMM	スロット×2		
表示機能	グラ	フィックアクセラレ	/ータ				
		GeForce4 N	1 X 4 4 0	nVIDIA®社製GeF	orce4 <sup>™</sup> MX440	搭載(AGPスロット・	4x)、ビデオRAMは
		を選択した場合	≙	64MB(DDR SDRAM)、デュアルディスプレイ機能対応			
		GeForce4 N	1 X 4 4 0	インテル® Extreme Graphics(Intel®845G Chipsetに内蔵)、ビデオ			
	を選択しない場合		場合	RAMはメインRAM	Aと共用して使用( >	、インRAMから32~	~64MB占有、表示
				領域として使用されるのは一部)			
	グラ	フィック表示		640×480ド	ット 最大1,677万	色	
				800×600ド	ット 最大1,677万	色	
				1,024×768ドット 最大1,677万色			
				1,280×1,024ド	ット 最大1,677万	色	
				1,600×1,200ド	ット 最大1,677万	色	
				(使用するディスプ	レイにより表示解像服	度は異なります)	
サウンド機	能			ADI社製AD1881	Aを搭載 PCM録音	再生機能内蔵(ステし	レオ、量子化8ビット/
				16ビット、サンプリングレート 8~48KHz)、全二重対応(モノラル、量子化8ビッ			
				ト時 )、内蔵モノラルスピーカ装備、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI)			
補助記憶	フロ	ッピーディスク	ドライブ	3.5型フロッピーデ	ィスクドライブ(3モ	ード対応 )×1	
装置	ハー	ドディスクドラ	イブ	Ultra ATA-1003	d応、SMART機能対	村応	
		出荷時ソフトウェ	ェア占有量	『活用ガイド ソフ	トウェア編』「アプリ	ケーションの概要と降	削除/追加」の「ソフ
				トウェア占有量につ	いて」をご覧ください	۱.	

機種名					MA3	0V/B	MA25V/B	MA20V/B	MA17X/B
補助記憶	光テ	ィスク関連	1				•	1	
装置		CD-ROM	<b>ルドラ</b>	イブ	内蔵	最大24倍	速		
		CD-R/R	WF:	ライブ	内蔵	読み込み:	CD-ROMは最大24	音速	
						書き込み:	CD-Rは最大24倍速	、CD-RWは10倍道	束
		CD-R/RWドライブ with			内蔵	読み込み:	CD-ROMは最大24(	音速、DVD-ROMI	よ最大8倍速
		DVD-RO	Μドラ	イブ		書き込み:	CD-Rは最大16倍速	、CD-RWは10倍道	束
インタ	ディ	スプレイ							
フェース		GeForce4 アナログ		アナログ	3. ED	-sub 15t	ン(利用できません	)	
		M X 4 4	0を	RGB					
		選択した	昜合	DVI	LFH:	コネクタ( フ	'ナログインタフェー	ス利用時は、添付	のLFH-アナログ分岐
					ケーフ	ブル(デュア	ルディスプレイ機能	用 )を使ってアナ□	]グRGBコネクタに接
					続。D	Ⅵ利用時は	、別売のLFH-デジタ	ル分岐ケーブル(ラ	デュアルディスプレイ機
					能用)	を利用し、ロ	) VIコネクタに接続)		
		GeForc	e 4	アナログ	アナロ	IグRGBセ	パレート信号出力(	75 アナログイン	'タフェース )、ミニD-
		MX4403	を選	RGB	sub1	5ピン			
		択しないは	昜合						
	シリ	アル			最大1	15,200b	ps、D-sub9ピン		
	パラ	シリレ			D-su	b25ピン			
	US	B			4(本)	本前面×2、	本体背面×2)、USB	2.0/1.1対応	
	ספן	ンド関連						12 H2	
		ЛЛ	< 1	ッ人刀		7ル、ニー:	シャック、人力イン	E-997710K	、ヘカレベル最大
			= /	(), ) +	1001	nvrms、ケ ナラーン			그
			21	ノハハ	ステレ	マット	マック、ハリイノヒー	JAIUK (A)	Jレベル取入2 VIIIIS、
		ш +	A 34	にまくらせ	772	-600 + = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	ちゃわ 出力しべしき	=+ 5 0 0 m \/ rm o	( 6 芹 インピー ガンフ
		шл	14.6	- 小ノ山ハ	336	×3、ニーン	199、山川レバル車		(貝向インビータンス
			=1	ン出力	ステレ		マック 出力レベル最大	↓1 Vrms( 負荷イ <sup>丶</sup>	ノピーダンス47K )
	LAI	I N田モジュ・	<u></u> -	<u>/ 11/5</u> 1ネクタ	R.14	5(1000F)	3ASE-T/100BAS	F-TX/10BASE	-T) AN J & Z J
	( <b>f</b>	ガビットイー	サネ		モートパワーオン機能				
	通信	関連		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
		LANボー	·٢		RJ45	5(100BA	SE-TX/10BASE-1	「)LANコネクタ、C	OFF state Alert II
					機能				
	入力	]関連							
		PS/2 1	09‡	ーボード	キーオ	(ードは、本	本PS/2接続キーボ-	-ドコネクタに接続	、マウスはPS/2接続
					マウス	コネクタに	接続		
		テンキー	付き	PS/2	キーオ	(ードは、本	本PS/2接続キーボ-	ードコネクタとPS/	2接続マウスコネクタ
		小型キー	ボー	۲	に接続	1、マウスは	キーボードに接続		
		USB 10	9+	ーボード	キーオ	(ードは、本)	本USBコネクタに接続	続、マウスはキーボ	ードに接続
		テンキー	付きし	JSB小型	(パス	バワードハ	フ×2)、USB1.1対応	0	
		+	۲		070				
PUIAUM	티크	ਣ ]				ット(ハーン	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚		()のボードで上右这)
						(//-,			(10小一ドで口有消入
							ッコスペール - 」 7サイブッ1(IANボ	ニドア上右落) ハ	-7#47×1(IDE
						RAIDT	、 シーズス(LANA デードで占有済)IIO	1 СП В И Х Л	
AGPZD	ארי	空き 1			170	wh(GeFo	<u>、「CEAMX440</u> を躍択」	<u>」</u> 」た場合はグラフィッ・	
	211	10]				(GeFo	rce4 MX440を選択	しない場合はLow F	Profile AGP × 1 )[1]
ファイル	3.5	型ベイ[ 空	き1		170	ット(フロッ	ピーディスクドライブ	で占有済)[0]	
ベイ	内蔵	<u></u> [3.5型べ~	<u>-</u> 」 1[空	き]	220	ット(ハード	ディスクドライブで1	スロット占有済)[1]	]
				-		、(増設)	、 ードディスクドライブ	を搭載したモデル、	_ IDE-RAIDボードを搭
						載した	Eデルの場合は2スロ	ット占有済)[0]	
	専用	15型ベイ[	空き	]	170	ット( CD-I	ROM、CD-R/RWF	ライブまたはCD-	R/RW with DVD-
		-				ROM	ドライブで1スロット,	占有済)[0]	

機種名		MA30V/B MA25V/B MA20V/B MA17X/B			
カレンダ時	計	電池によるバックアップ			
セキュリ	セキュリティ機能	スーパバイザパスワード、ユーザパスワード、1/0ロック、ハードディスクパスワー			
ティ/マネ		ド機能*、筐体ロック、ルーフカバーオープン検知機能(「Intel LANDesk			
ジメント		Client Manager 6 (with NEC Extensions)」標準添付)、ケーブルス			
機能		トッパ、ウイルス検出・駆除(「Norton AntiVirus」標準添付)、クライアントポ			
		リシー管理(「CyberAccess」標準添付)			
		* IDE-RAIDボードを搭載したモデルでは利用不可			
	マネジメント機能	リモートパワーオン機能*1、ネットワークブート機能(PXE搭載)*2、リモートコ			
		ントロール/ファイル配信*3、クライアントモニタリング*1、OFF state Alert			
		Ⅱ機能*1*4			
		*1 Intel LANDesk Client Manager 6( with NEC Extensions )標準			
		添付 *2 GeForce4 MX440を選択してIDE-RAIDボードを搭載したモデ			
		ルでは利用不可 *3 別売のpcAnywhere(Symantec社製)が必要(Windows			
		2000の場合) *4 LANボード(100BASE-TX/10BASE-T対応)を選択			
		した場合に利用可能			
	信頼性機能	ハードウェアモニタ(「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC			
		Extensions)」標準添付)、StandbyDisk <sup>*1</sup> 、StandbyDisk Solo <sup>*2</sup> 、障害			
		時の自動バックアップ機能(「Masty Data Backup」標準添付)、ミラーリン			
		グ(RAID 1)機能*3			
		*1 増設ハードディスクドライブ(StandbyDiskあり)を搭載したモデルで利用			
		可能(Windows XPおよびWindows 2000の場合 ) *2 ハードディスクド			
		ライブ(StandbyDisk Soloあり)を搭載したモデルで利用可能(Windows			
		XPおよびWindows 2000の場合) *3 IDE-RAIDボード(PROMISE社			
		製FastTrak100 LP™)を搭載したモデルで利用可能(Windows XPおよ			
		びWindows 2000の場合)ただし、ハードディスクパスワード機能は利用不可			
環境条件	電源	AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアバワーオフ対応			
****	温湿度条件	10~35、20~80%(但し結露しないこと)			
消費電刀	本体標準構成時	約69W(最大174W)約51W(最大145W)約50W(最大143W)約52W(最大152W)			
	エネルギー消費効率	Q区分 0.00042 Q区分 0.00058 Q区分 0.00073 Q区分 0.00086			
外形寸法	本体	345(H)×325(D)×88(W)mm(スタビフイザ(縦直き台)営より)			
	× 1.	345(H)×325(D)×218(W)mm(スタビライザ(縦直さ台)宮む)			
	PS/2 109+	40(H)×169(D)×456(W)mm			
	ナノキー 17 さらう 2	44(H)×179(D)×362(W)mm			
		20(11)470(D)472(M)mm			
		$39(\Pi) \times 179(D) \times 472(W)$ mm			
	「テノキー」でしょう小型	44(H)×179(U)×362(W)mm			
哲昰	<u> </u>	7.6Ka			
只里	キーボード	7.0Kg			
	PS/2 109+-ボード	約0.9Ka			
	テンキー付きPS/2	約1.2Ka			
	小型キーボード	······································			
	USB 109+-ボード	約1.2Ka			
	テンキー付きUSB小型	約1.2Kg			
	キーボード				

#### 注 最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコー ドに要する時間を不要にします。

#### 省スペース型本体機能仕様

#### 表中の は、ご購入時に選択したモデル構成により異なります。

機種名				MA14H/E		
CPU	CP	U種別		インテル <sup>®</sup> Celeron <sup>®</sup> プロセッサ		
	クロ	ック周波数	攵	1.40GHz		
	内蔵キャッシュメモリ		L メモリ	32KB/256KB		
	(1)	欠/2次)(	CPU内蔵)			
	シス	テムバス		100MHz(メモリバス:100MHz)		
メモリ	BIO	S ROM(	Flash ROM )	512KB、プラグ&プレイ対応		
	メイ	ンRAM		最大512MB DIMMスロット×2		
表示機能	グラ	フィックアク	セラレータ			
		GeForce	e2 MXを選択	n VIDIA <sup>®</sup> 社製GeForce2 MX <sup>™</sup> 搭載(AGPスロット4X)、ビデオRAMは32MB		
		した場合		(SDRAM)		
		GeForce	e2 MXを選択	Intel <sup>®</sup> 815E Chipsetに内蔵(DVMアーキテクチャ採用)、ビデオRAMはメ		
		しない場	合	インRAMと共有して使用(メインRAMから7~12MB占有、表示領域として使		
				用されるのは一部)		
	グラ	フィック表	示	640×480ドット 最大1,677万色		
				800×600ドット 最大1,677万色		
				1,024×768ドット 最大1,677万色		
				1,280×1,024ドット 最大1,677万色		
				1,600×1,200ドット 最大1,677万色 注		
				(使用するディスプレイにより表示解像度は異なります)		
サウンド機	能			YAMAHA社製YMF743搭載 PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、量子化8		
				ビット/16ビット、サンプリングレート 8~48KHz)、全二重対応(モノラル、量		
				子化8ビット時 )、内蔵モノラルスピーカ装備、MIDI音源機能( ソフトウェアMIDI )		
補助記憶	70	ッピーディ	゙スクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1		
装置	ハー	ドディスク	ドライブ	Ultra ATA-100対応、SMART機能対応		
		出荷時ソン	7トウェア占有量	『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ソフ		
				トウェア占有量について」をご覧ください。		
	光テ	イスク関連	£			
		CD-ROI	Mドライブ	内蔵 最大24倍速		
		CD-R/R	Wドライフ	内蔵 読み込み:CD-ROMは最大24倍速		
				書き込み:CD-Rは最大24倍速、CD-RWは10倍速		
		CD-R/R	W with	内蔵 読み込み:CD-ROMは最大24倍速、DVD-ROMは最大8倍速		
<i></i>	_	DVD-RO	DMドライブ	書き込み:CD-Rは最大16倍速、CD-RWは10倍速		
インタ	テイ	スプレイ				
フェース		GeForce2	アナロクRGB	ミニレ-sub 15ビン(利用できません)(DVI-アナロク変換ゲーフルを使って		
		MXを選択	5.4	UVI-Iに接続)		
		した場合	DVI	テンダルフラットハネル信号出刀(IMDS)、DVI-I29ビン(DVI-Dは利用でき		
			マナロゲロクロ	よじか)		
		GeForce2	J J L V KGB	アノロクKGDビハレート信ち西川(/5 アナロクインダノエー人)、ミニD-SUD		
		MXを選択 したい場合	DV/	13 Cノ   デジタル コニット パ カル 信号 山力( TMD C 、 DV/L D、 2 4 ピン		
	2.11	しない場合	ויט	テンツルノフットハイル信ち団/J(IMDS), UVI-U 24ビノ ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ		
	レンリ	<u> ア ノレ</u>		取入II3,2000PS、U-SUD9ビン		
	00	D		4(		

機種名				MA14H/E
インタ	サウ	ンド関連		
フェース		入力	マイク入力	モノラル、ミニジャック、入力インピーダンス10K 、入力レベル最大
				100mVrms、ゲイン20dB
			ライン入力	ステレオ、ミニジャック、入力インピーダンス10K 、入力レベル最大2Vrms、ゲ
				イン-6db
		出力	ヘッドホン出力	ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33)
			ライン出力	ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47K)
	通信	関連		
		LANボ	- <b>ド</b>	RJ45(100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ、リモートパワーオン機
				。 能
		FAXŦ	デムボード	電話回線用モジュラーコネクタ、電話機用モジュラーコネクタ
	λナ	闡連		
	/	PS/2	109キーボード	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタに接続、マウスはPS/2接続
				マウスコネクタに接続
		テンキ	-付きPS/2	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタとPS/2接続マウスコネクタ
		小型キ	ーボード	に接続.マウスはキーボードに接続
		USB '	09キーボード	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続
		テンキ・	ー付きUSB小型	(バスパワードハブ×2), USB 1, 1対応
		キーボ・	-ド	
PCIスロッ	ト「空	き1		3スロット(ハーフサイズ×2、ハーフサイズ(Low Profile PCI)×1(LANボー
				ドで占有済))[2]
				(ハーフサイズ×1、ハーフサイズ×1(FAXモデムボードで占有済)、ハー
				フサイズ(Low Profile PCI)×1)[2]
AGPZD	יאפ	空き 1		1スロット(GeForce2 MXを選択した場合はグラフィックボードで占有済)101
	-	-		(GeForce2 MXを選択しない場合はLow Profile AGP×1)[1]
ファイル	3.5	型ベイ「	空き ]	1 スロット(フロッピーディスクドライブで占有済) [0]
ベイ	内蔵	3.5型1	「「空き」	2スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済)[1]
				(増設ハードディスクドライブ搭載時は2スロット占有済)[0]
	専用	15型べ1	[空き]	1スロット(CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with
				DVD-ROMドライブで占有済)[0]
カレンダ時	計			電池によるバックアップ
セキュリ	セキ	・ユリティ	機能	スーパバイザパスワード、ユーザパスワード、1/0ロック、ハードディスクパスワー
ティ/マネ				ド機能、筐体ロック、ルーフカバーオープン検知機能 (「Intel LANDesk
ジメント				Client Manager 6 (with NEC Extensions)」標準添付)、ケーブルス
機能				トッパ、ウイルス検出・駆除(「Norton AntiVirus」標準添付)、クライアントポ
				リシー管理(「CyberAccess」標準添付)
	マネ	ジメント	機能	リモートパワーオン機能 <sup>*1</sup> 、ネットワークブート機能(PXE搭載)、リモートコントロー
				ル/ファイル配信 <sup>*2</sup> 、クライアントモニタリング <sup>*1</sup>
				*1 Intel LANDesk Client Manager 6 ( with NEC Extensions )標準
				添付 *2 別売のpcAnywhere(Symantec社製)が必要(Windows
				2000の場合)、Windows Meでは「pcAnywhere 9.2 EX」標準添付
	信頼性機能			ハードウェアモニタ(「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC
				Extensions)」標準添付)、StandbyDisk <sup>*</sup> 、障害時の自動バックアップ機能(「Masty
				Data Backup」標準添付)
				* 増設ハードディスクドライブ(StandbyDiskあり)を搭載したモデルで利用
				可能( Windows XPおよびWindows 2000の場合 )
環境条件	電源	į		AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応
	温湿	度条件		10~35 、20~80%(但し結露しないこと)
消費電力	本体	標準構成	戊時	約60W(最大約115W)
	エネ	ルギージ	肖費効率	R区分 0.00055

機種名			MA14H/E
外形寸法	本位	Z	340(H)×326(D)×86(W)mm(スタビライザ(縦置き台)含まず)
			340(H)×326(D)×198(W)mm(スタビライザ(縦置き台)含む)
	+-	-ボード	
		PS/2 109キーボード	40(H)×169(D)×456(W)mm
		テンキー付きPS/2	44(H)×179(D)×382(W)mm
		小型キーボード	
		USB 109キーボード	39(H)×179(D)×472(W)mm
		テンキー付きUSB小型	44(H)×179(D)×382(W)mm
		キーボード	
質量	本位	Ż	7.2Kg
	+-	- ボード	
		PS/2 109キーボード	約0.9Kg
		テンキー付きPS/2	約1.2Kg
		小型キーボード	
		USB 109キーボード	約1.2Kg
		テンキー付きUSB小型	約1.2Kg
		キーボード	

#### 注 GeForce2 MXを選択した場合は最大1,677万色、GeForce2 MXを選択しない場合 は最大256色

#### ミニタワー型本体機能仕様

#### 表中の は、ご購入時に選択したモデル構成により異なります。

₩種夕					MA3	0 V / M		MA25V/M		MA20V/M
	CD	山毛毛豆山				UI/M UL® Dontium®		fortautt		WIA20V/W
CPU		し性別	5		125			2 5 2 0 4 7		24 04-
		ナーシンコメ	x 	1 \%	12K		7+	2.336112	データキャッ	2A 0112
	1/2 1/2%	++>>1>		<u>・</u> 入 っ 次	512K		74	VYYIORD	) - 9 + 19	
	2.7	= 1 11 7		21	5121					400MU-(JTU/7-000MU-)
J.T.I.				DOM	5331		<:20			400MH2( XT9/(X:200MH2)
メモリ	ыо		rasi	I KUM)	5121		(1 X)		DUMANZE	1
	メ1					ECC機能対応 最大2GB DDR266 RIMM人口ット×4				
± - +# AK	ヒナ				1281		AIVI	)		
衣示懱能	105	ワイツクア	クセラ	70-9		IA®在裂	0 0 +*			NVIDIA◎社裂 O - E O MVTM###
					Gero	1140	0012		9F4X)	
		+					_		-	(AGPXUVF4X)
	107	ノイツク表	朩		6	540×480FッF	、		9	
					8	300×600FツF	、		<u> </u>	
					1,0	)24×768ドット	、最	支大1,677万1	<u> </u>	
					1,28	0×1,024ドット	、最	支大1,677万1	<u> </u>	
					1,60	0×1,200ドット	量			
	<u>.</u>				(使用	するティスフレイ	155	リ表示解像度	は異なります	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
サウンド機	能				ADI社	:製AD1885を打	<b>苔</b> 載	PCM録音冉	主機能内蔵(	ステレオ、量子化8ビット/
					16E	ット、サンフリンク	レーI	F 8~48KF	Z)、全二重X	可心( モノフル、童子化8ビッ
					ト時)、	フザー装備、MIC	DI音》		<u>フェアMIDI)</u>	
補助記憶	フロッピーディスクドライブ			* 7 1 7	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応)×1					
装置	//-	・ドティスク	ドライ		Ultra	ATA-100対応	ν, SN	MART機能対	心	
		出何時ソフ 	パワエ	ア占有量	『沽用	カイド ソフトウ	エア	「編』' アフリケ	ーションの権	戦要と削除/追加」の'ソフ
				トウェ	ア占有量につい	て」を	そご覧ください	0		
	光ァ	イスク関連	<u> </u>							
		CD-ROM	バドラ	17						
			ライブ	内蔵	読み込み:CD-F	ROM	1は最大40倍	忠		
					書き込み:CD-Rは最大40倍速、CD-RWは10倍速					
		DVD-RA	AM/F	R/RW						
		ドライフ				書き込み:CD-F	くは最	最大12倍速、C	D-RWI38	音速、DVD-Rは
						最大2倍速、DV	/D-R	RWは最大1倍	速、DVD-R/	AMは最大2倍速
インタ	ティ	スプレイ								
フェース		アナログ	RGB		アナロ	IグRGBセバレ-	-ト信	5号出力(75	アナログイ	
					ンタフ	'エース )、ミニD・	-sub	15ビン		
									<u></u>	
		DVI			テシタ	<i>いフラッ</i> トバネル	レ信も	号出刀(IMD	S), DVI-D	テシタルフラットバネル
					24E.	2				信亏出刀(IMDS)、
	<u> </u>									DVI-1 29E9
	29	アル			= + /	15 0 0 0 1		1018		
	コネクタ1		最大1	15,200bps	D-su					
			最大115,200bps、D-sub9ピン							
			D-sul	b25ビジ						
	US	B			3(本1	体前面×1、本体	背面	×2), USB2.	0/1.1 对心	
	כידין	シト関連	-				-	<u> </u>		
			71	ク人刀		フル、ミニジャ	ック、	、ヘカインビ	-タンス1	UΚ 、人刀レベル最大
			-		100r	mvrms、ケイン:	2 0 d	D		
			71	ン人刀	ステレ	·オ、ミニシャック	(、人)	カインヒータン	/ X 1 0 K 、	ヘ刀レベル最大2Vrms、
				الدرار، حالي	ケイン	-6db			<u> </u>	
		出力	수까	ホン出力	ステレ	オ、ミニジャック、	出力	レベル最大50	UmVrms(1	夏何インヒータンス33K)
			ライ	ン出力	ステレ	<b>・オ、ミニジャック</b>	、出ナ	カレベル最大1	Vrms(負荷	īインビーダンス47K )

機種名		MA30Y/M MA25V/M MA20V/M
インタ	LAN用モジュラーコネクタ	RJ45(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ、リ
77-7		モートパワーオン機能
	入力関連	
	PS/2 109キーボード	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタに接続、マウスはPS/2接続
		マウスコネクタに接続
	テンキー付き PS/2	キーボードは、本体PS/2接続キーボードコネクタとPS/2接続マウスコネクタ
	小型キーボード	に接続、マウスはキーボードに接続
	USB 109キーボード	キーボードは、本体USBコネクタに接続、マウスはキーボードに接続
	テンキー付きUSB小型	(バスパワードハブ×2)、USB1.1対応
	キーボード	
PCIスロッ	ト[ 空き ]	5スロット(フルサイズ×3、ハーフサイズ×2)[5]
		(フルサイズ×3、ハーフサイズ×1、ハーフサイズ×1(IDE-RAIDボー
		ドで占有済))[4]
AGPスロ	ット[ 空き ]	1スロット( グラフィックカードで占有済 )[ 0 ]
ファイル	3.5型ベイ[空き]	2スロット(フロッピーディスクドライブで1スロット占有済)[1]
ベイ	内蔵3.5型ベイ[空き]	3スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済)[2]
		(増設ハードディスクドライブを搭載したモデルおよびIDE-RAIDボー
		ドを搭載したモデルでは2スロット占有済)[1]
	5型ベイ[空き]	2スロット(CD-ROM、CD-R/RWドライブまたはDVD-RAM/R/RWドライブ
		で1スロット占有済 )[ 1 ]
カレンダ時	計	電池によるバックアップ
ティ/マネ	セキュリティ機能	スーパバイザパスワード、ユーザパスワード、1/0ロック、筐体ロック、ルーフカバー
ジメント		オープン検知機能(「Intel LANDesk Client Manager 6 (with NEC
機能		Extensions )」標準添付 )、ケーブルストッパ、ウイルス検出・駆除(「Norton
		AntiVirus」標準添付)、クライアントポリシー管理(「CyberAccess」標準
		添付 )
	マネジメント機能	リモートパワーオン機能*1、ネットワークブート機能(PXE搭載)*2、リモートコ
		ントロール/ファイル配信 <sup>*3</sup> 、クライアントモニタリング <sup>*1</sup>
		*1 Intel LANDesk Client Manager 6( with NEC Extensions )標準添
		付 *2 MA30Y/M、MA25V/MでIDE-RAIDボードを搭載したモデルでは、ネッ
		トワークプート機能を利用できません。MA20V/MでIDE-RAIDボードを搭載し
		たモデルでは、BIOS設定する必要があります。 *3 別売のpcAnywhere(Symantec
	6	社製 )が必要(Windows 2000の場合 )
	信頼性機能	ハードウェアモニタ('Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC
		Extensions)」標準添付)、StandbyDisk <sup>*</sup> 、障害時の目動ハックアッフ機能
		('Masty Data Backup」標準添付)、ミフーリング(RAID 1)機能**
		▲1 増設ハートナイスクトライノ(StandbyDiskのリ)を搭載したモナルで利用 式代(Mindawa VDA トズ)Mindawa 0000の場合)
		り 能(WINDOWS XP のよいWINDOWS 2000の場合)
		"2 IDE-RAIDが一F(FROMISE社製Fastilakioo LF")を活戦したモー
理培冬州	雪酒	
城坑亦什	<u>电心</u> 但湿度多性	$10 \sim 35$ 20 ~ 80% (伯」結露したいこと)
消費雷力	太休檀準構成時	約95W(最大約325W)   約82W(最大約292W)   約80W(最大約286W)
//jg-@/j	エネルギー消費効率	Q区分 0.00086 Q区分 0.00104 Q区分 0.00131
外形寸法		448(H)x455(D)x176(W)mm(ゴム足以外の突起物含まず)
	キーボード	
	PS/2 109+-ボード	40(H)×169(D)×456(W)mm
	テンキー付きPS/2	44(H)×179(D)×382(W)mm
	小型キーボード	
	USB 109キーボード	39(H)×179(D)×472(W)mm
	テンキー付きUSB小型	44(H)×179(D)×382(W)mm
	キーボード	

機種名			MA30Y/M	MA25V/M	MA20V/M
質量	本体	ī	約14.5Kg		
	+-	・ボード			
		PS/2 109キーボード	約0.9Kg		
		テンキー付きPS/2	約1.2Kg		
		小型キーボード			
		USB 109キーボード	約1.2Kg		
		テンキー付きUSB小型	約1.2Kg		
		キーボード			

- 注1 Windows XP Professional モデルの場合は、Hyper-Threading機能が利用でき ます。
- 注2 最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコー ドに要する時間を不要にします。

#### Mate R スリムタワー型本体機能仕様

#### 表中の は、ご購入時に選択したモデル構成により異なります。

144.75.5					
機種名	0.0.1.15.04		MA20V/R	MA17X/R	
CPU		L.	インテル® Pentium® 4ノロセッサ	インテル® Celeron® ノロセッサ	
	クロック周波変		2 A GHZ	1.70GHz	
	内蔵キャッシュ		12Km命令実行トレースキャッシュ181	〈Bテータキャッシュ 注	
		2次	512KB	128KB	
	システムバス		400MHz(メモリバス:266MHz)		
メモリ	BIOS ROM(	Flash ROM )	512KB、ブラグ&ブレイ対応		
	メインRAM		最大512MB DDR266 DIMMスロット×2		
	ビデオRAM		メインRAMと共有して使用(メインRAMから32~64MB占有、表示領域とし		
			て使用されるのは一部)		
表示機能	グラフィックア	クセラレータ	インテル <sup>®</sup> Extreme Graphics(Intel	<sup>®</sup> 845GL Chipsetに内蔵)	
	グラフィック表	示	640×480ドット 最大1,677万	色	
			800×600ドット 最大1,677万	色	
			1,024×768ドット 最大1,677万	色	
			1,280×1,024ドット 最大1,677万	色	
			1,600×1,200ドット 最大1,677万	色	
			(使用するディスプレイにより表示解像)	度は異なります)	
サウンド機	能		SIGMATEL <sup>®</sup> 社製STAC9750を搭	載、PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、	
			量子化8ビット/16ビット、サンプリング	レート8~48KHz)、全二重対応、ソフト	
			ウェアサウンド機能、ブザー装備、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI)		
補助記憶	フロッピーディ	゙スクドライブ	3.5型フロッピーディスクドライブ(3モ・	ード対応 )×1	
装置	ハードディスク	ドライブ	Ultra ATA-100対応、SMART機能対	す応	
	出荷時ソフ	7トウェア占有量	『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリ	ケーションの概要と削除/追加」の「ソフ	
			トウェア占有量について」をご覧ください	۱.	
	光ディスク関連				
	CD-ROI	Mドライブ	内蔵 最大40倍速		
	CD-R/R	Wドライブ	内蔵 読み込み:CD-ROMは最大40倍	速	
			書き込み:CD-Rは最大40倍速、CD-RWは10倍速		
インタ	ディスプレイ		アナログRGBセパレート信号出力(7	5 アナログインタフェース )、ミニD-	
フェース			sub15ピン		
	シリアル		最大115,200bps、D-sub9ピン		
	パラレル		D-sub25ピン		
	USB		4(本体前面×2、本体背面×2)、USB2	2.0/1.1対応	
	サウンド関連				
	入力	マイク入力	モノラル、ミニジャック、入力インヒ	ニーダンス10K 、入力レベル最大	
			100mVrms、ゲイン20db		
		ライン入力	ステレオ、ミニジャック、入力インピーダ	ンス10K 、入力レベル最大2Vrms、	
			ゲイン-6db		
	出力	ライン出力	ステレオ、ミニジャック、出力レベル最大	1 Vrms(負荷インピーダンス47K )	
	LAN用モジュ	ラーコネクタ	RJ45(100BASE-TX/10BASE-T	)LANコネクタ、リモートパワーオン機能	
	通信関連				
	LAN用ボード (ギガビットイーサネット対応) FAXモデムボード		RJ45(1000BASE-T/100BASE-	「X/10BASE-T)LANコネクタ	
			電話回線用モジュラーコネクタ、電話機	用モジュラーコネクタ	
	入力関連		キーボードは、本体PS/2接続キーボー	・ドコネクタに接続、マウスはPS/2接続	
			マウスコネクタに接続		
PCIスロッ	小[ 空き ]		2スロット( ハーフサイズ( Low Profile	PCI)×2)[2]	
			(ハーフサイズ(Low Profile	PCI)×1、ハーフサイズ(Low Profile	
			PCI)×1(FAXモデムボードで	で占有済))[1]	
			(ハーフサイズ( Low Profile	PCI)×1、ハーフサイズ(Low Profile	
			PCI )× 1( LANボード( ギガビ	ットイーサネット対応 )で占有済 ))[ 1 ]	

機種名		MA20V/R	MA17X/R		
ファイル	3.5型ベイ[空き]	1 スロット( フロッピーディスクドライブで占有済 )[ 0 ]			
ベイ	内蔵3.5型ベイ[空き]	1スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済)[0]			
	5型ベイ[空き]	1スロット(CD-ROMドライブまたはC	D-R/RWドライブで1スロット占有済)		
		[0]			
カレンダ時	<b>注言十</b>	電池によるバックアップ			
セキュリ	セキュリティ機能	スーパバイザパスワード、ユーザパスワ	ード、1/0ロック、筐体ロック、ウイルス検		
ティ/マネ		出・駆除(「Norton AntiVirus」	標準添付)、クライアントポリシー管理		
ジメント		(「CyberAccess」標準添付)			
機能	マネジメント機能	リモートパワーオン機能*1、ネットワークブート機能(PXE搭載)、リモートコント			
		ロール/ファイル配信 <sup>*2</sup> 、クライアントモニタリング <sup>*1</sup>			
		*1 別売のESMPRO/ClientManagerなどが必要 *2 別売のpcAnywhere			
		(Symantec社製)が必要(Windows 2000、Windows Meの場合)			
	信頼性機能	StandbyDisk Solo*			
		* ハードディスクドライブ(StandbyDisk	Soloあり)を搭載したモデルで利用可能		
環境条件	電源	AC100V±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーオフ対応			
	温湿度条件	10~35 、20~80%(但し結露しな	いこと)		
消費電力	本体標準構成時	約51W(最大約160W)	約54W(最大約169W)		
	エネルギー消費効率	Q区分 0.00075	Q区分 0.00082		
外形寸法	本体	323(H)×358(D)×115(W)mm(	ゴム足以外の突起物含まず)		
	キーボード	40(H)×169(D)×456(W)mm			
質量	本体	8.1Kg			
	キーボード	約0.9Kg			

#### 注 最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコー ドに要する時間を不要にします。

#### LAN**ボード機能仕様**

ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時:1000Mbps
	100BASE-TX使用時:100Mbps
	10BASE-T使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時:UTPカテゴリ5、エンハンスドカテゴリ5、カテゴリ6
	100BASE-TX使用時:UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時:UTPカテゴリ3,4,5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/	100BASE-TX:最大約200m/ステーション間
ネットワーク経路長 注	10BASE-T:最大約500m/ステーション間
	最大100m/セグメント

#### 注 リピーターの台数など、条件によって異なります。
ATコマンドについては、『ATコマンド』(ここをクリック)をご覧ください。

ATコマンド

FAXモデムボード機能仕様

### 注 回線状態によって通信速度が変わる場合があります。

	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置		
F	適用回線	加入電話回線		
	同期方式	半二重調歩同期方式		
	通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps 注		
	通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2		
x X	変調方式	QAM:14400/12000/9600/7200bps		
機能		DPSK:4800/2400bps		
110		FSK:300bps		
	送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)		
	受信レベル	-10~-40dBm		
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド( CLASS1 )		
	適用回線	加入電話回線		
	同期方式	全二重調歩同期方式		
	通信速度	送受信:33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/		
		14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps 注		
		受信のみ:56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/		
		48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/		
		40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33333/		
		32000/30667/29333/28000bps 注		
デ	通信規格	K56flex ITU-T V.90/V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21		
	変調方式	TCM:56000/54667/54000/53333/52000/50667/50000/49333/		
ί		48000/46667/46000/45333/44000/42667/42000/41333/		
デ		40000/38667/38000/37333/36000/34667/34000/33600/		
機		33333/32000/31200/30667/29333/28800/28000/26400/		
能		24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200bps		
		QAM: 9600/7200bps		
		DPSK: 4800/2400/1200bps		
		FSK: 1200/300bps		
	エラー訂正	ITU-T V.42( LAPM )MNP class4		
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5		
	送信レベル	-10~-15dBm(出荷時-15dBm)		
	受信レベル	-10~-40dBm		
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠		
	適用回線	加入電話回線		
	ダイヤル方式	パルスダイヤル(10/20PPS)		
I		トーンダイヤル(DTMF)		
C	NCU形式	AA (自動発信 / 自動着信型)		
Ū		MA (手動発信 / 自動着信型)		
機能		MM (手動発信 / 手動着信型)		
		AM (自動発信 / 手動着信型)		
	制御コマンド	HayesATコマンド準拠		
		EIA-578拡張ATコマンド(CLASS1)		

# **割り込みレベル・**DMAチャネル

#### 割り込みレベル

#### 工場出荷時の割り込みレベルの割り当ては、次の通りです。

Windows XP**の場合** 

割り込み	デバイス			
レベル	スリムタワー型	省スペース型	ミニタワー型	Mate Rスリムタワー型
IRQ00	カウンタおよびタイマ			
IRQ01	PS/2接続キーボード			
IRQ02	(空き)			
IRQ03	(空き)			SMBus Controller 4/(空き) 5
IRQ04	シリアルポートA 1			
IRQ05	(空き)	FAX/SMBus Controller/サウンド	(空き)	SMBus Controller 5/(空き) 4
IRQ06		フロッピーディ	ィスクドライブ	
IRQ07	(空き)			
IRQ08	リアルタイムクロック			
IRQ09	ACPI-Compliant System ACPI-Compliant ACPI-Compliant System/USB		iant System	
IRQ10	(空き) LAN/グラフィック (空き)		き)	
	(空き) USB			
IRQ11	(空き)	USB	SMBus Controller	(空き)
IRQ11 IRQ12	(空き)	USB PS/2接続マ	SMBus Controller ウス	(空き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13	(空き)	USB PS/2接続マ 数値演算コプ	SMBus Controller ウス ロセッサ	(空き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14	(空き)	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI	SMBus Controller ウス ロセッサ E	(空き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15	(空き)	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリIDI	SMBus Controller ウス ロセッサ E	(空き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15	(空き) RAIDコントローラ	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリID	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ	(空き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリIDI	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ 2/USB	(空き) USB/グラフィック
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16 IRQ17	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック LAN 3/サウンド	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリIDI	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ 2/USB サウ	(空き) USB/グラフィック ンド
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16 IRQ17 IRQ18	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック LAN 3/サウンド LAN	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリID	SMBus Controller ウス ロセッサ E RAIDコントローラ 2/USB サウ (空	(空き) USB/グラフィック ンド き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16 IRQ17 IRQ18 IRQ19	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック LAN 3/サウンド LAN USB	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリIDI	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ 2/USB サウ (空	(空き) USB/グラフィック ンド き) SB
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16 IRQ17 IRQ18 IRQ19 IRQ20	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック LAN 3/サウンド LAN USB (空き)	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリID	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ 2/USB サウ (空 US グラフィック	(空き) USB/グラフィック ンド き) SB LAN
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16 IRQ17 IRQ18 IRQ19 IRQ20 IRQ21	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック LAN 3/サウンド LAN USB (空き) (空き)	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリID	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ 2/USB サウ (空 US グラフィック LAN	(空き) USB/グラフィック ンド き) SB LAN (空き)
IRQ11 IRQ12 IRQ13 IRQ14 IRQ15 IRQ16 IRQ16 IRQ17 IRQ18 IRQ19 IRQ20 IRQ21 IRQ21	(空き) RAIDコントローラ 2/USB/グラフィック LAN 3/サウンド LAN USB (空き) (空き) (空き)	USB PS/2接続マ 数値演算コプ プライマリIDI セカンダリID	SMBus Controller ウス ロセッサ E E RAIDコントローラ 2/USB サウ (空 リ グラフィック LAN (空き)	(空き) USB/グラフィック ンド き) SB LAN (空き) LAN 3/FAX

- 1 別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。
- 2 IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合
- 3 **増設**LAN**ボードを選択した場合**
- 4 標準LANのみの場合
- 5 FAXモデムボードを選択した場合

Windows XP Homeの場合

割り込み	デバイス		
レベル	スリムタワー型	ミニタワー型	Mate Rスリムタワー型
IRQ00	カウンタおよびタイマ		
IRQ01	PS/2接続キーボード		
IRQ02	(空き)		
	(	<b>キ</b> \	SMBus Controller
IRQUS	( 또	2)	3/(空き) 4
IRQ04	シリアルポートA 1		
	(穴	<b>E</b> \	SMBus Controller
IKQUS	( 또	2)	4/(空き) 3
IRQ06	フロッピーディスクドライブ		
IRQ07	(空き)		
IRQ08	リアルタイムクロック		
IRQ09	ACPI-Compliant System		
IRQ10	(空き)		
IRQ11	(空き)	SMBus Controller	(空き)
IRQ12	PS	5/2接続マウス	
IRQ13	数値演算コプロセッサ		
IRQ14	プライマリIDE		
IRQ15	セカンダリIDE		
	グラフィック/		グラフィック/
IKQIO	USBコントローラ	0287767-2	USBコントローラ
IRQ17	LAN 2/サウンド		ンド
IRQ18	LAN	(空き)	
IRQ19	USBコントローラ		
IRQ20	(空き)	グラフィック	LAN
IRQ21	(空き)	LAN	(空き)
IRQ22	(空き) LAN 2/FAX		
IRQ23	US	Bコントローラ	

1 別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。

- 2 **増設**LAN**ボードを選択した場合**
- 3 **標準LANのみの場合**
- 4 FAXモデムボードを選択した場合

6付録

#### Windows 2000**の場合**

割り込み	デバイス			
レベル	スリムタワー型	省スペース型	ミニタワー型	Mate Rスリムタワー型
IRQ00	0 カウンタおよびタイマ			
IRQ01	PS/2接続キーボード			
IRQ02	割り込みコントローラ			
IRQ03	(空き)			
IRQ04	シリアルポートA 1			
IRQ05	(空き) SMBus Controller (空き) SMBus C		SMBus Controller	
IRQ06	フロッピーディスクドライブ			
IRQ07	(空き)			
IRQ08	リアルタイムクロック			
		ACPI-Compliant		ACPI-Compliant
	ACPI-Compliant	System/FAX/	ACPI-Compliant	System/FAX/
IRQUS	System	LAN/USB/	System	LAN/USB/
		サウンド		グラフィック/サウンド
IRQ10	(空き)			
	LAN/RAIDコント		RAIDコントローラ	
	ローラ 2/USB/	(	2/SMBus	(穴主)
	グラフィック/サウ	( 오려 )	Controller/USB/	(요즘)
	ンド		グラフィック/サウンド	
IRQ12				
IRQ13	数値演算コプロセッサ			
IRQ14	プライマリIDE			
IRQ15	セカンダリIDE			

1 別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。

2 IDE-RAIDボードを搭載したモデルの場合

#### Windows Me**の場合**

割り込み	デバイス		
レベル	省スペース型	Mate Rスリムタワー型	
IRQ00	カウンタおよびタイマ		
IRQ01	PS/2接続キーボード		
IRQ02	割り込みコントローラ		
IRQ03	(空き)	SMBus Controller/FAX 3/ サウンド 2	
IRQ04	シリアルポートA 1		
IRQ05	FAX/SMBus Controller/サウンド	SMBus Controller/USB 2/ グラフィック/サウンド 3 4	
IRQ06	フロッピーディスクドライブ		
IRQ07	パラレルポート 1		
IRQ08	リアルタイムクロック		
IRQ09	USB/ACPIで使用されている SCI IRQ	ACPIで使用されているSCI IRQ/ACPIで 使用されているSCI IRQ 2 3/USB 4	
IRQ10	LAN/グラフィック	LAN 2/USB 3 4/グラフィック	
IRQ11	USB	LAN/LAN 4/USB 2 3	
IRQ12	PS/2接続マウス		
IRQ13	数値演算コプロセッサ		
IRQ14	プライマリIDE		
IRQ15	セカンダリIDE		

- 1 別のI/O機器に変更する場合は、BIOSの設定を変更してください。
- 2 **増設LANボードを選択した場合**
- 3 FAXモデムボードを選択した場合
- 4 標準LANのみの場合
- PART2 システム設定、スリムタワー型の場合)」「Peripheral Setupの設定」 (P.197)「PART3 システム設定(省スペース型の場合)」「Advancedの設定」 (P.213)「PART4 システム設定(ミニタワー型の場合)」「Peripheral Configurationの設定(P.238)、「PART5 システム設定(Mate R スリムタワー 型の場合)」「Integrated Peripheralsの設定(P.261)

DMA**チャネル** 

#### 工場出荷時のDMAチャネルの割り当ては、次の通りです。

DMAチャネル	データ幅	デバイス
0	8または16ビット	(空き)
1	8または16ビット	(空き)
2	8または16ビット	フロッピーディスク
3	8または16ビット	(空き)
4		DMAコントローラ
5	16ビット	(空き)
6	16ビット	(空き)
7	16ビット	(空き)



本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。



る 付 録

- ◆チェックグ・水や中性洗剤は、絶対に本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しないでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

#### マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪 くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングして ください。ローラーだけクリーニングするときは、4~6の手順は省略して もかまいません。

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードから外す
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



3 ボール止めを取り外し、ボールを取り出す



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす
- 6 布で水分を拭き取り、風通しの良いところで充分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり 落とす

汚れが落ちないときは、柔らかい歯プラシなどで汚れを取ります (このとき、歯プラシに水やはみがき粉などを付けないでください)。



8 ボールをマウスに戻す

**9** ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定

- チェック ・ クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
  - クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにして ください。
  - 水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
  - シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの 外装をいためたり、故障の原因となったりします。
  - ローラーの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因となります。



## 活用ガイド ハードウェア編

PC98-NX シリーズ Mate スリムタワー型 省スペース型 ミニタワー型 Mate R スリムタワー型

(Windows XP Professionalインストールモデル) (Windows XP Home Editionインストールモデル) (Windows 2000 Professionalインストールモデル) (Windows Meインストールモデル)